

谷口 信行 教授

退任記念業績集

自治医科大学 医学部
臨床検査医学講座

Department of Clinical Laboratory Medicine
Jichi Medical University School of Medicine



自治医科大学
Jichi Medical University



日本超音波医学会第90回学術集会にて

谷口 信行 教授 退任記念業績集

自治医科大学 医学部
臨床検査医学講座

あいさつ

退任にあたって 自治医科大学臨床検査医学講座 教授 谷口 信行 …… 1

ご退任に寄せて

お祝い 学長 永井 良三 …… 4
谷口信行先生の退任にあたり 附属病院 病院長 佐田 尚宏 …… 5
谷口信行教授定年退職に寄せて 自治医科大学名誉教授 河合 忠 …… 6
谷口信行教授の退任に寄せて 自治医科大学名誉教授 伊東 紘一 …… 7
(済生会陸前高田診療所長)

谷口信行先生の退職に際し想うこと

自治医科大学名誉教授 茨城県西部メディカルセンター病院長 梶井 英治 …… 8

谷口信行 先生のご定年退職に寄せて

公益社団法人日本超音波医学会 理事長 椎名 毅 …… 9

谷口信行教授定年退任に寄せて

一般社団法人 日本乳腺甲状腺超音波医学会 理事長 尾本きよか …… 10

谷口教授御退任に寄せて

香川大学 名誉教授 千田 彰一 …… 11

業績一覧

A) 論文	
英文論文……………	14
邦文論文（含む症例報告）……………	26
B) 学会発表（和文，英文とも）……………	32
C) 著書，総説……………	59
D) 講演	
海外……………	65
国内……………	66

退任にあたって

この度、長きにわたりお世話になりました自治医科大学を退任することになりました。在任中は多くの皆様のご厚情により、検査医学教室とともに歩めたことに感謝しております。

振り返ってみますと、1981年に自治医科大学を卒業し、鳥取県で研修を行った後、平成2年に自治医科大学に再度お世話になりました。それから、30年以上たっておりますが、その間に医師としての基本から、現在の専門となる検査医学の手ほどきをしていただいた多くの先生方に深謝申し上げます。

母校の臨床検査医学に入局したのは伊東紘一教授にお声がけいただいたのがきっかけです。その後、検査医学の道を歩みはじめてよりずっと河合忠教授、伊東紘一教授のお引き立てにより臨床検査の勉強、研究をさせていただきました。検体検査につきましては、河合教授、櫻林郁之助教授、伊藤喜久准教授（のちの旭川大学教授）に基礎的、臨床的なご指導をいただきました。

一方卒業してずっと興味を持っていた超音波検査につきましては、まさに伊東紘一教授の背中を見ながら検査、研究に取り組ませていただきました。当時の最も進んだ超音波の研究に触れ、少しでもお役に立てたことを誇りに思っております。

そのお陰で、日本超音波医学会、日本乳腺甲状腺超音波医学会の理事として10年以上学会運営に関わりましたことは、自分自身にとって貴重な経験となりました。

自治医科大学を卒業した立場で振り返ってみますと、出身地の臨床経験の後に大学の臨床検査医学の教員として地域医療に取り組むであろう後輩に教鞭をとることができ、微力ながら社会的にもお役に立てたことは喜びです。

これで一区切りとはなりますが、今後も、超音波検査を通じて、地域医療に貢献できること、若い世代とその有用性について議論できることを楽しみにしたいと考えております。

最後にはなりますが、皆様方にお世話になりましたことに深謝申し上げます。

自治医科大学臨床検査医学講座
教授 谷口 信行

ご退任に寄せて

お祝い

学長 永井 良三



谷口信行教授の定年退任、誠におめでとうございます。谷口教授は鳥取県のご出身で、第4期生として昭和56年に本学をご卒業されました。鳥取県で9年間の義務年限を終了後、平成2年に臨床病理部のシニアレジデントとして、自治医科大学に戻られました。その後、助手、講師、助教授を歴任され、平成18年4月から、恩師伊東紘一教授の後をうけて、第三代教授に就任、15年間にわたり本学の検査医学講座と附属病院臨床検査部を指導してこられました。

谷口教授はわが国の超音波医学の第一人者でもあります。自治医科大学ではご自身の研究を大きく発展されるとともに、若手を熱心に指導され、検査医学教室からは何度も日本超音波医学会の論文賞受賞者が輩出されました。

臨床・研究だけでなく、谷口教授は教育、大学および病院の運営にも熱心でした。臨床検査運営委員会委員長を長年務められましたが、その他にも卒後指導委員会委員長、医療機器委員会委員長、病院リニューアル委員会委員をはじめとする多数の委員会に参加され、本学の運営に貢献されました。

谷口教授の仕事は多岐にわたり、守備範囲の広さにも驚かされます。超音波医学会専門医や指導医だけでなく、消化器病学会、臨床検査医学会の専門医、さらに内科学会認定医、臨床検査管理医などの資格も取得されてきました。最近、各地の県人会に出席しますと、若い卒業生から専門医取得についての質問を受けることがよくあります。新専門医制度が開始されて以来、早い時期の専門医取得は若い医師にとっての関心事となっていますが、谷口教授は義務年限終了後に数多くの資格を取得され、地道な努力を重ねてこられました。自治医科大学は総合医の育成を目指していますが、何らかの専門領域を持ちつつ総合的な診療を行うことが望ましいと考えられます。その意味で谷口教授が歩んでこられた道は、後進のモデルであり、これからも学生や若い医師の相談に乗ってあげていただければと思います。

大学の教室運営には、教育、臨床、研究、マネジメント、人材育成などが求められます。谷口教授は在任中に見事にこれを成し遂げられました。同時に、総合医としても多くの実績を重ねられました。こうした経験は高齢者社会でとても重要であり、診療だけでなく、地域社会の継続性にも貢献することができます。ほとんどの臨床医は年齢を重ねれば、いずれ地域に戻ります。その時にこそ谷口教授に育てられた力が発揮されると思います。

谷口教授のこれまでのご活躍に改めて敬意を表する共に、ご健康に留意され、さらに大きく発展されますようお祈り申し上げます。

谷口信行先生の退任にあたり

附属病院 病院長 佐田 尚宏

長年、臨床検査医学講座の教授を務められた谷口信行先生が、2022年3月で退官されると、とても残念に感じています。臨床検査は日常臨床において基本的な情報を提供する重要な分野で、2018年から実施されている新専門医制度でも基本19領域のひとつになっています。検査は精度管理が極めて重要で、当院は臨床検査医学講座と病院臨床検査部にご尽力いただき、2018年にISO15189の初回認定を受けることができました。谷口先生は大変穏やかな人柄で、病院の運営では長く医療機器委員会の委員長を務められ、毎年極めて多数の医療機器申請を的確に選別し、病院の設備更新を行っていただきました。特に2018年以降、法人全体の損益収支悪化を受けて、医療機器予算についても当初予算の20%削減など、外部環境の厳しいなか、作業も大変だったろうと拝察します。長年のご尽力に、心より感謝を申し上げます。

そして、2020年には新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のpandemicという未曾有の事態を経験することになりました。当初は、新型コロナウイルスの感染様式について不明のことが多く、多くの医療機関で院内クラスターが発生していた状況のなか、附属病院にとっては「いかに感染を予防し、医療機能を維持するか」が喫緊の課題でした。ウイルス検査に関しては、病院臨床検査部の山田俊幸先生とともに、当初はLAMP法検査をルーチン検査として確立していただき、機器を導入してPCR検査の体制を整えるとともに、土曜日の検査も早期に導入していただきました。附属病院では2020年4月から発熱・振分け外来を、5月からは入院・検査例に対する系統的ウイルス検査の実施を開始し、2021年12月現在、12,000件を超えるウイルス検査を実施しました。これらの検査で6名の陽性者が検出され、的確な感染予防対応を行うことができました。また、院内で医療者間の感染例はなく、病院に「感染を持ち込まない、拡げない。」という、感染予防の原則を実践できたのは、臨床検査医学講座、病院臨床検査部の方々の惜しみないご協力の成果で、大変有り難いことと感じています。

日本人男性の平均寿命は81.64歳と報告されていますが、65歳男性の平均余命は簡易生命表では20.05年です（2020年データ）。そのうちの健康余命は14年程度だそうです。谷口先生にも是非、これからも長くお元気でご活躍いただきたいと考えています。附属病院の教職員を代表して、谷口信行先生の長年の貢献に心より御礼を申し上げ、今後新たな環境での益々のご活躍を祈念致します。大変お世話になりました。有り難うございました。

谷口信行教授定年退職に寄せて

自治医科大学名誉教授 河合 忠

自治医科大学医学部臨床検査医学講座教授兼附属病院臨床検査部長として活動されてこられた谷口信行博士におかれては、健康に恵まれ、2022年3月を以て、めでたく定年退職を迎えられる由、心よりお慶び致します。谷口博士は自治医科大学第4期生として医学科課程を卒業し、研修医として出身地である鳥取県に戻り内科医として活躍した後、母校の臨床病理学教室（現・臨床検査医学教室）に入局し、臨床検査医学の診療、教育、研究に参画され、特に前任の伊東紘一名誉教授の薫陶を受けられ超音波医学分野において多くの業績をあげられるとともに、学内はもとより国内外において超音波検査の普及、教育に貢献されました。加えて、臨床検査部長として部教職員全員及び他の学内関係者と協力し、その近代化とISO15189国際規格による臨床検査部の認定を取得し、臨床検査部のより一層の質向上に努められました。小生は、1995年に設立されたISO/TC212b2「臨床検査及び体外診断検査システム」に同国内検討委員長、日本代表として参画し、ISO15189規格の作成、同規格による臨床検査室の国際認定システムの国内への導入を推進してきたことから、とくに自治医科大学附属病院臨床検査部の認定取得は大きな喜びでした。谷口博士におかれては、今後とも一層健康に留意され、わが大学、教室の発展にご指導を頂くとともに地域医療に貢献されるよう祈念して居ります。

なお小生は満90歳を迎え体力の低下に加え、45年前に発見された持病である両眼の緑内障が近年になって急速に進行し、重度の視力障碍のためPC操作を含め日常生活の多くの活動に難渋しており、大変ご無沙汰して参りましたことを心からお詫び致します。

谷口信行教授の退任に寄せて

自治医科大学名誉教授 伊 東 紘 一
(済生会陸前高田診療所長)

谷口信行教授は自治医科大学臨床検査医学講座の主任教授として永年自治医科大学の発展に貢献してこられました。講座の運営のみならず、教室員の教育や指導、そして附属病院臨床検査部の運営を通じて、病院の発展に寄与してこられました。また、地域社会振興財団の健康科学研究所を通じて、大学の研究面にも貢献されました。自治医科大学には日本の地域・へき地医療に貢献するという目的があり、卒業生医師たちの卒後指導委員会の委員長としても活動しました。卒後指導委員会というのは、ほかの大学には無い独特の委員会であり、日本中にいる卒業生医師を掌握し支援するという自治医科大学の最も大切な役割を担っているのです。その他にも多くの大学・大学院・附属病院・研究所等の部門の役職にも貢献していました。さらに、自治医科大学のみならず、学問の分野では日本臨床検査医学会や社団法人日本超音波医学会の運営・研究や人材育成にも携わってきました。国際的にもアジア超音波医学生物学学術会議の役職を兼務しておりました。

この様に、数えきれない役割を担ってきた谷口教授ですが、私が最初に谷口先生と出会って親しくなったのは、学生たちで行った「エコーゼミ」でした。このゼミは谷口先生たち4期生の希望で立ち上がり、毎年20名以上の学生が参加していました。全身のエコー画像の解析をすることにより、学生時代に臨床の力量を高めるという方針であり、事実彼らが卒業すると、赴任した県立病院では先輩の医師たちを指導していたのです。谷口先生は、学生の時から日本超音波医学会の会員になっており、研究生生活を開始していました。

先生は自治医科大学を卒業すると直ちに出身の鳥取県に帰り2年間の初期研修を県立中央病院で行いました。県立中央病院では研修医でありましたが、入院・外来の患者を診療するのみならず、病院中の超音波検査を担っていたそうです。そのために、3年目に僻地の診療所に派遣されると、県立中央病院の超音波検査が立ち行かなくなったと内科の部長から聞かされました。僻地の一人診療所では、興味ある患者を見つけると、学会に報告するために原稿を書き、ファックスで大学に送り、添削を督促するのです。フルペーパーを書いた時にも原稿を送って来て、校正を督促されたものでありました。先生は、義務年限内にどんな環境にあっても前向きに仕事をされていました。9年間の義務内において後期研修の1年間は自治医科大学に戻って来て超音波の研修・研究を行い、多くの業績をあげられました。義務終了後は自治医科大学に戻り、臨床検査医学の教室で助手として功績をあげられ、講師・准教授・教授とその歩みを進めました。

先生は医学と工学を合わせた領域、ME分野の研究を主たるテーマにしておられ、博士号も「音響組織特性の研究：肝組織の超音波周波数依存減衰を用いた定量的測定」でありました。ご自身、学術会議の科学研究費を多く獲得しているばかりでなく、若手の教室員に科学研究費を獲得させることも奨励しています。また、先生は学生に研究をさせ、学会で発表させ、学会誌に原著論文を書かせるなどの指導も多くしています。これは教員のあり方として理想的なことでありました。

山田俊幸教授、尾本きよか教授、紺野啓准教授、鯉淵晴美准教授、亀田徹講師その他多くの教室員をはじめ全国にいる自治医大卒業生医師の支援育成を行うばかりでなく、他大学の研究者に対しても指導力を発揮しています。工学系の研究者との共同研究も多数にのぼっております。

臨床検査医学領域では、POC (point of care) といって、検査を臨床の現場で即時に役に立てることの必要性が認識されています。谷口先生は、診察室での診療に際して、超音波検査を視診・聴診・触診の延長として直ちに行うことを提唱し、従来の概念にとらわれないで「POCUS」という新しい学問領域の創設に貢献しています。

この様に多くの仕事をしてきた谷口信行教授には、今後もさらに研究や教育の分野において精力的に活躍され、後進の育成に励まれることを期待します。

谷口信行先生の退職に際し想うこと

自治医科大学名誉教授 茨城県西部メディカルセンター病院長 梶井 英治

谷口信行先生、お疲れ様でした。

先生との出会いは、先生が自治医科大学に入学された1975年、46年前に遡ります。同県（鳥取県）の先輩としてお迎えしました。最初の印象は、好青年の一言でした。県人会内での交流は勿論のこと、しばしば先生の部屋を訪れ、食べたり飲んだりしながら、いろいろな話をしました。先生の手によるもやし入りの〇〇〇（故郷の地名）亭ラーメンは最高でした。

一足先にわたしは卒業しました。最初の地域に赴任後、1982年、後期研修に鳥取県立中央病院に帰りました。前年、谷口先生は卒業し、同病院で初期研修2年目を迎えていました。先生には機会あるごとに超音波検査をお願いいたしました。ある日の出来事を、今でも鮮明に覚えています。内科・外科の合同カンファレンスの席上、一人の胆嚢がん患者さんの術前検討の中で、谷口先生が超音波検査の結果を報告しました。そして、インオペ(inoperable)と思われる旨、説明しました。外科サイドの意見とは全く異なるものでした。先生の発言を信じた医師は、ほとんどいなかったように思います。学生時代に伊東紘一前教授に師事し、卒業時には相当な超音波診断能力を有していたことを、院内ではわたしを除き誰も知る由はありませんでした。当時、超音波検査はまだ普及の途上にあり、機械も診断技術・読影力もまだまだといった状況でした。患者さんの術後報告の場で、外科の責任者から谷口先生の指摘通りであったことが話され、先生に賞賛の言葉が贈られました。とても大きな話題となりました。院内の人たちは、先生が研修医ではあるが超音波診断における高い実力の持ち主であることを知るとともに、超音波時代の到来を実感しました。この時、谷口先生が将来、わが国の超音波分野の牽引者になる予感がしました。

その後、谷口先生は地域医療に従事し、1990年、母校に戻り、超音波の道に専心することになりました。一足先に母校に帰っていたわたしは、谷口先生の発展・飛躍を間近で見せていただきました。わたしの予感は見事に的中し、先生はわが国を代表する超音波分野のリーダーの一人になりました。

谷口先生とは、先輩と後輩という関係を超え、良き人生の仲間として、共に歩んでまいりました。谷口先生を評するならば、自分を明確に持っている人、冷静に物事を見極められる人、感情を露わにしない人、他人に干渉しない人であり、少ない言葉数なれど論理的でわかりやすい話をする人という印象です。一言で言うならば『飄々とした人』でしょうか。自己評価より他者からの評価がはるかに高い稀有な人物です。本人の自覚は無いかもしれませんが、素晴らしい教育者・研究者であり、卓越した指導者です。教室のホームページに掲載されている「自分自身が手出しせず、いかに若い先生方が仕事をしやすい環境を作るかを心掛けています。」という先生のメッセージには、先生らしさが溢れています。

このたび、自治医科大学を退職されますが、まだまだやりたいこと、やるべきことが沢山あると思います。自らの気持ちを大切にされ、挑戦を続けてください。わたしは、もう少し挑戦を続けます。

お互いに楽しく充実した日々を送っていきましょう。

谷口信行 先生のご定年退職に寄せて

公益社団法人日本超音波医学会 理事長 椎名 毅

谷口信行先生、この度、ご定年で退職を迎えられますこと、心よりお祝い申し上げます。

私は、谷口先生とは、同じ超音波医学の研究者として、長年にわたりお付き合いをさせて頂いておりますが、とりわけ日本超音波医学会の活動では、共に1991年に評議員、2002年に理事に就任して以来、かれこれ30年に渡り超音波医学の発展のために、一緒に歩んで来た感がございます。ここに、日本超音波医学会の理事長として、これまでの谷口先生のご功績の一端をご紹介します、ご功勞に感謝を申し上げたいと存じます。

日本超音波医学会は、超音波の研究者、医師・技師等の医療従事者、企業等の超音波装置開発の技術者の3者の密接な連携により、超音波医学に関する学理と技術の研究およびその進歩と普及を図って参りました。また領域横断的に様々な領域の専門家が一堂に会して議論ができる点は、領域ごとの学会にはない 本学会の特徴であり超音波医学の進歩に不可欠な要素となっております。一方で、循環器、消化器、腎泌尿器、乳腺・甲状腺、産婦人科など様々な領域に固有の問題への対処も必要となります。

谷口先生は、超音波専門医の中でも、超音波検査に関わる全ての領域を担当可能な、総合医療の専門医でおられることから、常に、総務担当理事などとして、大局的な視野で意見を示され、本学会の運営に多大な貢献をされました。

谷口先生は、日本超音波医学会において、編集委員会、用語・診断委員会、専門制度委員会、顕彰委員会、国際交流委員会、企画委員会、機器及び安全に関する委員会、男女共同参画委員会等、数々の委員会委員や委員長を担当されました。その一つとして、2014-2016年には公益法人への移行検討委員委員長を務められ、一般社団法人から2016年4月に公益社団法人化を達成する上で、多大な貢献をされました。

国際活動におきましても、アジア超音波医学学術連合会（AFSUMB）において、2010-2012年は理事長を務められ、ワークショップの開催など教育活動、造影剤の診断、弾性画像の普及に関連した安全委員会の立ち上げなど、アジアでの超音波医学会をリードするAFSUMBの運営に尽力されました。

谷口先生は、超音波医学の研究でも活躍され、本学会の論文誌には、60編以上の原著論文を掲載しております。また、学会賞としては、論文賞として、菊池賞（第8回、第18回）、伊東賞（第9回）、また業績賞として第2回松尾賞が授与されております。

また、2017年5月に、谷口大会長のもと、宇都宮で開催の第90回学術集会では、特に超音波検査の特徴を生かした、POC (point of-care) testの重要性にフォーカスしたシンポジウムなど、多くの魅力的なテーマで企画され、3500名を超える参加者を迎えて盛況に執り行われました。

谷口先生は、2002-2012年の5期10年にわたり理事、2012-2018年の3期6年にわたり副理事長を務められました。私も、4年間は副理事長として、共に執行部での学会運営に携わらせて頂きましたが、谷口先生の実直で気取らない人柄に加えて、私とは1歳違いということもあり、同期生のように気兼ねなく何でも相談させて頂き、お陰様で円滑に業務を進めることが出来ました。この場を借りて、お礼を申し上げます。

これからも、谷口先生の更なるご活躍と御健康をお祈りし、僭越ながらご退職への詞とさせていただきます。

谷口信行教授定年退任に寄せて

一般社団法人 日本乳腺甲状腺超音波医学会 理事長 尾本 きよか

このたび谷口信行教授のご定年退任、誠におめでとうございます。

谷口教授は、本学会の母体となる日本乳腺甲状腺超音波診断会議にて幹事（1998年4月～）にご就任以来、NPO法人日本乳腺甲状腺超音波診断会議では理事（2008年4月～）、事務局長および教育委員長（2010年4月～）、NPO法人日本乳腺甲状腺超音波診断医学会では編集委員長（2012年4月～）、監事（2015年5月～）、そして現在の一般社団法人日本乳腺甲状腺超音波医学会にても理事（2019年5月～）として御活躍頂いております。いつもご丁寧で温かいご指導を賜りましたこと学会員一同、感謝申し上げます。谷口教授とは個人的にも、自治医科大学の先輩であり、臨床検査医学講座では上司として研究のいろはを、学会活動では事務局や編集委員の運営方法やノウハウを直接ご指導頂き、公私にわたりいろいろな経験をさせて頂きましたことを重ねて御礼申し上げます。

第26回日本乳腺甲状腺超音波診断会議 学術集会におかれましては東日本大震災の影響で延期を余儀なくされましたが、2011年7月に栃木（自治医大）で盛会裏に開催されました。さらに特筆すべきは、東日本大震災に関連する健康障害調査の一環として、受託事業：平成24年度原子力災害影響調査等事業を2012年10月から開始し、甲状腺結節性疾患有所見率調査事業の研究部会を設立しました。そして2014年3月に「平成 25 年度 原子力災害影響調査等事業（甲状腺結節性疾患追跡調査事業）成果報告書」を作成し、当学会誌に掲載（乳腺甲状腺超音波医学Journal of breast and thyroid sonology 3(3):2014.7 p.32-35）されました。この御業績は甲状腺乳頭癌に関する貴重な疫学的調査の成果であり、その後内外より大変注目されました。

当学会は名の示す通り、乳腺領域、甲状腺領域の超音波医学の専門家集団ではありますが、谷口先生はこの2つの領域（乳腺・甲状腺）のみならず、体表領域全般、基礎・工学領域にも造詣が深く、それらの領域の陣頭指揮を執る傍ら、日本超音波医学会とはそれぞれの理事のお立場からその橋渡し役も担うなど、長きに渡り、本学会の発展にご尽力頂き、その御功績はまことに顕著であり、深く感謝の意を表します。

最後に、谷口信行先生のますますのご多幸とご活躍を心からお祈り致します。

谷口教授御退任に寄せて

香川大学 名誉教授 千田 彰一

谷口教授、健康で大学での任期を迎えられご退任とのこと、おめでとうございます。

前任の伊東紘一教授に様々ご指導を受けてきた私は、その秘蔵弟子ともいえる氏のお若い頃からご厚誼をいただいていただけに、定年を迎えられていることがなかなか信じられぬ思いがいたします。東京に転居した私には、氏が身近でまさにばりばりご活躍されているお姿をみるにつけ、現役そのものとしか思えないからです。まだまだ頼りない先輩を叱咤激励してくださる役を担い続けていただけるとの思いがしてなりません。

講演や学会で国内外にご一緒したことや、新たな研究テーマにつき議論し合ったことは勿論のこと、学会関連の事務作業でのお付き合いは強く記憶に残っています。ことに日本超音波医学会では、私が理事長拝命時、総務担当理事として全ての事項に渡る相談相手になっていたとき、多大なご助力を賜りました。伊東教授から、しっかりしているから何なりと仕事を任せていいよとのお墨付きをいただいていたところ、見かけの若武者ぶりに似合わずどんと構えた落ち着きとテキパキとこなす事務能力は天性のものとお見受けしました。何かにつけ仕事を停滞させる私の背中を押して前進モードにさせていただいたことはいかに及ばず、結論を先送りにして迷っている事項などは「例の件、こうしてはどうでしょうか」と的確に示唆を与えてくれたこと数限りありません。

我が国の超音波医学は、各臓器別に専門領域とする医師が研究者としてこれまで発展してきた経緯があります。そんな中で、乳腺をはじめ体表、消化器、循環器、血管など、広範囲な臨床領域を対象とした文字通りの総合領域超音波専門医の第一人者として氏を上げることに些かのためらいもありません。臨床的な博識のみならず、超音波工学に関する造詣の深さもとびぬけており、臨床家に必要な検査手法や安全に関する事項についても常に指導的立場で斯界をリードしてこられました。それゆえ、医師はもとより超音波検査士の諸氏にもお弟子さんが多く国内のみならず中国はじめアジア各国の研究者を何人も育成されてきました。身近に仄聞する学内の講座・部署・研究室の運営に関する評価は極めて高く、その公平性と真摯な態度は教室員の尊敬を一身に受けてこられたようです。超音波医学界での諸問題に対して、国内の医工学連携のみならず診療各領域間のバランスをうまくやりくりしてこられたのは氏の尽力に負うところ極めて大であります。その貢献はひとり日本の学会運営に留まることなくアジアから世界全体に及び、自国の然るべき権益の維持発展を前提としつつも、関連諸国のハーモニーを如何に保って前進させるかに腐心されていたのは鮮烈な思い出です。共にそして私の後を引き継ぎさらに発展させていただいたと感謝しております。

これまでのご業績に最大の賛辞と深甚なる感謝を申し上げるとともに、さらに心身ご自愛なされつつ今後も斯界のためにご活躍いただくことを切に祈念いたします。

業 績 一 覧

2021年度まで

A) 論文

英文論文

1. Kawamura, H., **Taniguchi, N.**, Itoh, K. and Kano, S.: Salivary gland echography in patients with Sjogren's syndrome. *Arthritis Rheum.* 30(4): 505-510, 1990.
2. Mori, H., Itoh, K., **Taniguchi, N.** and Yasuda, Y.: Frequency dependent attenuation in tumors of the liver. *Jpn J Med Ultrasonics* 18(2): 160-167, 1991.
3. Nakamura, M., Okabe, I., Shimoizumi, H., Yansagisawa, M., **Taniguchi, N.** and Itoh, K.: Ultrasonography of ovary, uterus and breast in premature the larche. *Acta Paediatr Jpn* 33: 645-648, 1991.
4. Nakamura, M., Matsui, A., Sasaki, N., Shinihara, N., **Taniguchi, N.**, Itoh, K.; Gallbladder change in neonatal hepatitis: markedly thickened wall and lack of contractility, *Acta Paediatr Jpn* 34: 479-482, 1992.
5. Nakamura, M., Matsui, A., **Taniguchi, N.**, Kawai, F., Sasaki, N., Itoh, K.: Portal sandwich sign inpatients with biliary atresia. *Acta Paediatr Jpn* 36: 116-118, 1994.
6. **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Nakamura, M., Obayashi, T., Kawai, F. and Mori, H.: Usefulness of color Doppler imaging to differentiate parathyroid tumor from papillary thyroid carcinoma. *Ultrasound International* 1(1): 16-21, 1995.
7. **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Honda, M., Obayashi, T., Nakamura, M., Kawai, F. and Irie, T.: Ultrasonic studies of subclavian arterial lesions in Takayasu's arteritis: comparison with angiography and strength of radial pulse. *Ultrasound International* 1(4): 184-191, 1995.
8. Itoh, K., **Taniguchi, N.**, Nakamura, M., Kawai, F., Irie, T., Nakamura, S., Satoh, K.: Development of three-dimensional ultrasound equipment and its clinical application. *Ultrasound International* 1(1): 28-39, 1995.
9. Itoh, K., **Taniguchi, N.**, and Wang, Y.: Glomeruli echogram produced with color Doppler energy. *Ultrasound International* 2: 192-194, 1996.
10. Cheng, X-Y., Akiyama, I., Itoh, K., Wang, Y., **Taniguchi, N.** and Nakajima, M.: Automated detection of breast tumors in ultrasonic images using fuzzy reasoning. *Proceeding of the International conference on Image Processing* 3: 420-423, 1997.
11. Cheng, X-Y., Akiyama, I., Itoh, K., Wang, Y., **Taniguchi, N.**, Otsuka, S. and Mizunuma, H.: Breast tumor diagnosis system using three-dimensional ultrasonic echography. *Proceeding of IEEE-EMBS*: 517-520, 1997.
12. Kawamoto, R., **Taniguchi, N.**, and Itoh, K.: Assessment of visceral fat related risk factors by ultrasonography. *Ultrasound International* 3(4):206-215,1997.
13. Takano, R., **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Yasuda, Y. and Asano, Y.: Measurement of blood flow via velocity profiles using color Doppler signals: experimental estimation of femoral artery blood flow in the dog. *Ultrasound International* 3(4): 206-215, 1997.
14. **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Honda, M., Obayashi, T., Nakamura, M., Kawai, F. and Irie, T.: Comparative ultrasonographic and angiographic study of carotid arterial lesions in Takayasu's arteritis. *Angiology* 48(1): 9-20, 1997.
15. **Taniguchi, N.**, Nakamura, S., Itoh, K., Obayashi, T., Kawai, F. and Nakamura, M.: Differentiation of renal cell carcinomas from angiomyolipoma by ultrasonic frequency dependent attenuation. *J Urol* 157(4): 1242-1245, 1997.
16. Wang, Y., **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Wen, Y., Hu, P. and Zhou, Y.: A new tool that uses the amplitude method to determine ultrasonic attenuation in both normal and fatty liver. *Ultrasound International* 3(2): 67-71, 1997.

17. Nakamura, M., **Taniguchi, N.**, Kawai, F., and Itoh, K.: Color Doppler imaging for detection of bleeding immediately following renal biopsy. *Clinical Nephrology* 49(2): 132, 1998.
18. Wang, Y., Itoh, K., **Taniguchi, N.**, Akiyama, I., Chen, X-Y., Ohtsuka, S., and Mizunuma, H.: Evaluation of automated detection system of three-dimensional echography and its clinical application in the detection of breast tumors. *Ultrasound International* 4(1):4-13, 1998.
19. Yada, H., **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Wang, Kawai, F., Nagai, H., Kanazawa, K., Nakamura, M.: Thyroid tumors' vascularity quantified by power-mode Doppler scanning helps to differentiate their neoplastic characteristics. *Ultrasound International* 4(2): 63-73, 1998.
20. Nakamura, M., Yokota, K., Chen, C., **Taniguchi, N.**, Izumi, A., Kawai, F., and Itoh, K.: Hyperechoic renal papillae as physiological finding in neonates. *Clin Radiol* 54: 233-236, 1999.
21. Wang, Y., Itoh, K., **Taniguchi, N.**, Omoto, K., Shigeta, K., Fujii, Y., Irie, T.: In vitro ultrasonic imaging of bone tissue by C-scan with focusing transducers. *Ultrasound International* 5(2): 98-100, 1999.
22. Itoh, K., **Taniguchi, N.**: Estimation of velocity profile of the aorta and its branches using the color Doppler method in humans. *Ultrasound International* 6(1): 11-20, 2000.
23. **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Wang, Y., Omoto, K., Shigeta, K., Fujii, Y., Namekawa, M., Muramatsu, S., Nakano, I.: Sonographic detection of diffuse peripheral nerve hypertrophy in chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy. *J Clin Ultrasound* 28(9): 488-491, 2000.
24. Fujii, Y., **Taniguchi, N.**, Itoh, K.: Sonographic finding of Shigella colitis. *J Clin Ultrasound* 29(1): 48-50, 2001.
25. Omoto, K., Itoh, K., Cheng X-Y, Wang, Y., **Taniguchi, N.**, Akiyama, I., Otsuka, S., Mizunuma, H., Ogura, S., Kanazawa, K.: Study of Automated Breast Tumor Extraction and Diagnosis Using Three-Dimensional Ultrasonic Imaging-Multivariate Logistic Regression Analysis with Multiple Parameters (translation). *J Med Ultrasonics* 28: 49-58, 2001.
26. Ono, T., **Taniguchi, N.**, Shigeta, K., Yokota, K., Nakamura, M., Kawai F., Wang, Y., Fujii, Y., Omoto, K. Itoh, K.: Ultrasonographic findings of portal tumor thrombus secondary to gastric cancer-Report of three cases (translation). *J Med Ultrasonics* 28: 31-37, 2001.
27. Yokota, K., Wang, Y., Ono, T., Omoto, K., Nakamura, M., Kawai, F., **Taniguchi, N.**, Itoh, K.: Use of ultrasonography to measure liver size in children (translation). *J Med Ultrasonics* 28: 19-26, 2001.
28. Takano, R., Ando, Y., **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Asano, Y.: Power Doppler sonography of the kidney: Effect of Valsalva's maneuver *J Clin Ultrasound* 29(7):384-388,2001.
29. Fujii, Y., **Taniguchi, N.**, Itoh, K.: Intussusception induced by villous tumor of the colon: Sonographic findings. *J Clin Ultrasound* 30(1): 48-51, 2002.
30. Fujii, Y., **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Shigeta, K., Wang, Y., Tsao, J.W., Kumasaki, K., and Itoh, T.: A new method for attenuation coefficient measurement in the liver -comparison with the spectral shift central frequency method. *J Ultrasound Med* 21: 783-788, 2002.
31. Nakamura, M., Wang, Y., Shigeta, K., Shinozuka, T., **Taniguchi, N.**, Itoh, K.: Simultaneous voiding cystography and voiding urosonography: An in vitro and in vivo study. *Clin Radiol* 57: 846-849, 2002.
32. Omoto, K., Mizunuma, H., Ogura, S., Hozumi, Y., Nagai, H., **Taniguchi, N.**, and Itoh, K.: New method of sentinel node identification with ultrasonography using albumin as contrast agent: a study in pigs. *Ultrasound in Med & Biol.* 28(9):1115-1122,2002.
33. **Taniguchi N.**: Our new Japanese and English journals serve two different purposes. *J Med*

- Ultrason (2001). 29(2): 39-40, 2002. (doi: 10.1007/BF02481437.) Editorial
34. Yokota K, Omoto K, Ono T, Wang Y, Nakamura M, **Taniguchi N**, Itoh K, Matsumoto A, Kikuchi Y, Shiraishi H, Momoi M, Hyodoh H, Kamisawa O. Diagnosis of arteriovenous malformation of the internal iliac vessels by color Doppler ultrasonography: A case report. J Med Ultrasonic 29(1): 23-8, 2002.
 35. Wang Y, Itoh K, **Taniguchi N**, Toei H, Kawai, F., Nakamura M, Omoto K, Yokota K, Ono T.: Studies on tissue characterization by texture analysis with co-occurrence matrix method using ultrasonography and CT imaging. J Med Ultrasonic 29: 211-224, 2002.
 36. Wang, Y. **Taniguchi, N.**, Itoh, K.: The development and the clinical application of a new texture analysis system for acoustic tissue characterization. Ultrasound International 8(3): 82-105, 2002.
 37. Fujii, Y., Asato, M., **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Shigeta, K., Omoto, K., Itoh, T., and Suzukawa, M.: Sonographic diagnosis and successful nonoperative management of sealed perforated duodenal ulcer. J Clin Ultrasound 31(1): 55-58, 2003.
 38. Fujii, Y., **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Omoto, K.: Attenuation coefficient measurement in the thyroid. J Ultrasound Med 22: 1067-1073, 2003.
 39. Fujii, Y., **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Wang, Y., Shigeta, K., Ono, T., Tsao, JW., Kumasaki, K., Itoh, T.: Quantitative processed images acquired by Histogram- SNR imaging used to evaluate parenchymal heterogeneity in the liver. J Med Ultrasonics 30: 13-19, 2003.
 40. Fujii, Y., **Taniguchi, N.**, Ono, T., Omoto, K., Itoh, K., Shitoh, K., Okada M., Yasuda, Y., Nagai, H.: Primary linitis plastica carcinoma of the colon accompanied by peritoneal abscess. J Clin Ultrasound 31: 488-492, 2003.
 41. Kuwata, T., Matsubara, S., Izumi, A., Odagiri, K., Tsunoda, T., Watanabe, T., **Taniguchi, N.**, Sato, I.: Umbilical cord pseudocyst in a fetus with trisomy 18. Feta Diagn Ther 18:8-11, 2003.
 42. Nakamura, M., Shinozaki, T., **Taniguchi, N.**, Koibuchi, H., Momoi, M., Itoh, K.: Simultaneous voiding cystourethrography and voiding urosonography reveals utility of sonographic diagnosis of vesicoureteral reflux in children. Acta Padiatr 92: 1422-1426, 2003.
 43. Nakamura, M., **Taniguchi, N.**, Kawai, F., Yokota, K., Ono, T., Wang Y., Shigeta, K., Omoto, K., Koibuchi, H., Itoh, K.: Sonographic measurement of renal length in children: variation associated with body position. J Med Ultrasonics 30: 187-192, 2003.
 44. Ono, T., **Taniguchi, N.**, Osawa, M., Onoguchi, A., Kaneko, S., Nakazawa, Y., Kawano, M., Itoh, K. : The usefulness of mesenterium thickness as an index of visceral fat accumulation. J Med Ultrasonics 30:153-161, 2003.
 45. Shigeta, K., **Taniguchi, N.**, Omoto, K., Madoiwa, S, Sakata, Y., Mori, M., Hatake, Y. and Itoh, K.: In vitro platelet activation by an echo contrast agent. J Ultrasound Med 22: 365-373, 2003.
 46. **Taniguchi, N.**, Kuwata, T., Ono, T., Itoh, K., Omoto, K., Fujii, Y. and Ootake, A.: Automatic virtual transducer locating system to assist interpreting ultrasound imaging. J Med Ultrasonics 30: 211-216, 2003.
 47. **Taniguchi, N.**, Takano, R., Itoh, K., Kaneko, S., Onoguchi, A., Wang, Y., Kuwata, T., Shigeta, K., and Ono, T.: Intra- and inter-observer reproducibility of ultrasonic flowmetry using velocity profile color Doppler method by the common carotid artery. J Med Ultrasonics 30:3-12,2003.
 48. Wang, Y., **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Fujii, Y., Shigeta K., Omoto, K., and Akiyama, I.: Ultrasonographic evaluation using the internal echo in normal and cirrhotic livers:

- comparison of accuracy of gray-scale and black-and-white images and their intraobserver and interobserver agreement. J Med Ultrasonics 30: 21-30, 2003.
49. Shigeta, K., Itoh, K., Omoto, K., Ookawara, S., **Taniguchi, N.**, and Omoto, K.: Endothelial cell injury and platelet aggregation induced by contrast ultrasonography in the rat hepatic sinusoid. J Ultrasound Med 23: 29-36, 2004.
 50. Fujii, Y., **Taniguchi, N.**, Wang Y, Shigeta, K, T., Omoto, K., Itoh, K., Tsao J-W, Kumazaki, K, Itoh, T, and Takayama, T: Clinical application of a new method that segments the region of interest into multiple layers for RF amplitude histogram analysis in the cirrhotic liver. J Med Ultrasonics 31: 91-98, 2004.
 51. Fujii, Y., **Taniguchi, N.**, Takano, R., Wang, Y., Shigeta, K., Omoto, K., Ono, T., Satoh, I. and Itoh, K.: Texture analysis with a new method in which the region of interest is segmented into multiple layers for radiofrequency amplitude histogram analysis of fibrosis rat livers. J Med Ultrasonics 31:13-20,2004.
 52. Fujii, Y., Shinozaki, T., Koibuchi, H., Ono, T., Omoto, K., **Taniguchi, N.**, and Itoh, K.: Primary peripheral T-cell lymphoma in subcutaneous tissue: sonographic findings. J Clin Ultrasound 32(7): 361-364, 2004.
 53. Fujii, Y., **Taniguchi, N.**, Akiyama, I., Tsao, J-W., and Itoh, K.: A new system for in vivo assessment of the degree of nonlinear generation using the second harmonic component in echo signals. Ultrasound Med & Biol 30:1511-1516,2004.
 54. Fujii, Y., **Taniguchi, N.**, Hosoya, Y., Yoshizawa, K., Yasuda, Y., Nagai, H., and Itoh, K.: Gastric schwannoma -sonographic findings-. J Ultrasound Med 23: 1528-1530, 2004.
 55. Shigeta, K., Itoh, K., **Taniguchi, N.**, Omoto, K., Ookawara, S.: Comparison of platelet activation and hepatic cell damage of rats induced by two ultrasound contrast agents. International congress series 1274: 141-146, 2004.
 56. **Taniguchi N.**: AFSUMB 2004: a group undertaking. J Med Ultrason (2001). 31(4): 139-40, 2004. (doi: 10.1007/s10396-004-0026-7.) Editorial
 57. Kuwata, T., **Taniguchi, N.**, Matsubara, S., Ono, T., Itoh, K., and Suzuki, M.: A new three-dimensional automatic bodymarker system for transvaginal ultrasonography. Ultrasound Obstet Gynecol. 25:586-591, 2005:
 58. **Taniguchi, N.**: Wall thickening of the common carotid artery that increased over a 15-month period. J Med Ultrasonics 32: 77-78, 2005.
 59. Shigeta, K., Itoh, K., Ookawara, S., **Taniguchi, N.**, Omoto, K.: The effects of Levovist and DD-723 in activating platelets and damaging hepatic cells of rats. J Ultrasound Med 24(7): 967-974, 2005.
 60. Fujii, Y., **Taniguchi, N.**, Hyodo, M., Yasuda, Y., Nagai, H., Itoh, K.: A case of primary intestinal Burkitt-like lymphoma: Usefulness of ultrasonographic diagnosis. J Clinical Ultrasound 34: 138-142, 2006.
 61. Fujii, Y., **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Satoh M., Irie T.: Effect of repeated US stimulation on adiponectin secretion by adipocytes of obese human subjects. American Institute of Physics Conference Proceedings of 5th International Symposium on Therapeutic Ultrasound. 64-68, 2006.
 62. Koibuchi H, Fujii Y., Kurosaki Y., **Taniguchi N.**: Ultrasonographic findings for ovarian teratoma. J Med Ultrasonics 33: 185-186, 2006.
 63. Omoto, K., Hozumi, Y., Nihei, Y., Omoto, Y., Mizunuma, H., Nagai, H., Fujii, Y., **Taniguchi, N.**, Itoh, K.: New method of sentinel node detection by a combination of contrast-enhanced US and dye guidance : an animal study. J Med Ultrasonics 33: 153-158, 2006.

64. Omoto, K., Hozumi, Y., Omoto, Y., **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Fujii, Y., Mizunuma, H., Nagai, H.: Sentinel node detection in breast cancer using ultrasonography contrast-enhanced with 25% albumin—Initial clinical experience. J Clinical Ultrasound 34: 317-326, 2006.
65. Takano, R., **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Kusano, E.: Measurement of renal flow in human subjects using the ultrasound velocity technique. J Med Ultrasonics 33: 91-97, 2006.
66. **Taniguchi N.**: Changes in the medical system in Japan. J Med Ultrason (2001). 34(1):1, 2007 (doi: 10.1007/s10396-007-0134-2.) Editorial
67. Wang, Yi., Wang, Yo., Wang Yida, **Taniguchi, N.**, Chen, XC: Intraoperative real-time contrast-enhanced ultrasound angiography: a new adjunct in the surgical treatment of arteriovenous malformations. J Neurosurg 107: 959-964, 2007.
68. Yamaguchi, K., Ishii, Y., Iwata, M., Watanabe, N., Uehara, N., Yasujima, M., Kasai, T., Suwabe, A., Yamahata, K., Kaku, M., Kanemitsu, K., Imafuku, Y., Nishiyama, K., Murakami, M., Yomoda, S., **Taniguchi, N.** Yamada, T., Nomura, F., Watanabe, M., Kanno, H., Aihara, M., Maesaki, S., Hashikita, G., Kondo, S., Misawa, S., Horiuchi, H., Tazawa, Y., Nakashima, H., Takemura, H., Okada, M., Yamazaki, F., Horii, T., Maekawa, M., Baba, H., Ishigo, S., Fujita, N., Komori, T., Ichiyama, S., Iinuma, Y., Maeda, S., Yamanaka, K., Murata, Y., Matsuo, S., Kohno, H., Kinoshita, S., Fujita, J., Negayama, K., Murase, M., Miyamoto, H., Kusano, N., Mihara, E., Itaha, H., Ono, J., Yoshimura, H., Yanagihara, K., Matsuda, J., Saikawa, T., Hiramatsu, K.: Nationwide surveillance of parenteral antibiotics containing meropenem activities against clinically isolated strains in 2006. Jpn J Antibiot 60: 344-377, 2007.
69. Fujii Y, Koibuchi-Yamaoka H, **Taniguchi N**, Yasuda Y, Nagai H.: Metastasis from a primary angiosarcoma of the scalp to the colon: sonographic and CT findings. J Clin Ultrasound. 36(2): 110-2. 2008. (doi: 10.1002/jcu.20363.)
70. Koibuchi, H., Fujii, Y., **Taniguchi, N.**: An unusual case of a glomus tumor developing in a subcutaneous vein of the wrist. J Clin Ultrasound 36: 369-370, 2008.
71. Take N, Shuumarjav U, Fujii Y, Omoto K, **Taniguchi N**. Ultrasonograms showing multiple myeloma in the skull. J Med Ultrason 35(1): 27-8, 2008. (doi: 10.1007/s10396-007-0161-z. Epub 2008 Mar 15.)
72. Tanaka S; Members of The Subcommittee for Preparing Guidelines for Ultrasound Diagnosis of Venous Thrombosis of Lower Extremities of The Terminology and Diagnostic Criteria Committee, Japan Society of Ultrasonics in Medicine, Nishigami K, **Taniguchi N**, Matsuo H, Hirai T, Kaneda S, Ogasawara M, Satoh H, Tobe H.: Criteria for ultrasound diagnosis of deep venous thrombosis of lower extremities. J Med Ultrason 35(1): 33-6, 2008. (doi: 10.1007/s10396-007-0160-0.)
73. Koibuchi, H., Hayashi, S., Kotani, K., Fujii, Y., Konno, K., Hirai, Y., **Taniguchi, N.**: Comparison of methods for evaluating bacterial contamination of ultrasound probes. J Med Ultrasonic 36(4): 187-192, 2009.
74. Kotani, K., Koibuchi, H., Yamada, T., **Taniguchi, N.**: The effects of lifestyle modification on a new oxidized low-density lipoprotein marker, serum amyloid A-LDL, in subjects with primary lipid disorder. Clin Chim Acta 409(1-2): 67-69, 2009.
75. Omoto, K., Matsunaga, H., Take, N., Hozumi, Y., Takehara, M., Omoto, Y., Shiozawa, M., Mizunuma, H., Harashima, H., **Taniguchi, N.**, Kawano, M.: Sentinel node detection method using contrast-enhanced ultrasonography with sonazoid in breast cancer: preliminary clinical study. Ultrasound Med Biol 35(8): 1249-56, 2009.
76. Koibuchi, H., Hayashi, S., Kotani, K., Fujii, Y., Konno, K., Hirai, Y., **Taniguchi, N.**: Comparison of methods for evaluating bacterial contamination of ultrasound probes. J

- Med Ultrasonic 36(4): 187-192, 2009.
77. Kotani, K., Koibuchi, H., Yamada, T., **Taniguchi, N.**: The effects of lifestyle modification on a new oxidized low-density lipoprotein marker, serum amyloid A-LDL, in subjects with primary lipid disorder. Clin Chim Acta 409(1-2):67-69, 2009.
 78. Omoto, K., Matsunaga, H., Take, N., Hozumi, Y., Takehara, M., Omoto, Y., Shiozawa, M., Mizunuma, H., Harashima, H., **Taniguchi, N.**, Kawano, M.: Sentinel node detection method using contrast-enhanced ultrasonography with sonazoid in breast cancer: preliminary clinical study. Ultrasound Med Biol 35(8): 1249-56, 2009.
 79. Utano K, Omoto K, Koibuchi H, Take N, Matsunaga H, **Taniguchi N.**: Case of right-neck tumor that appears to be ectopic thymus. J Med Ultrason. 36(3): 145-8, 2009. (doi: 10.1007/s10396-009-0219-1. Epub 2009 Jul 31.)
 80. Uurtuya S, Kotani K, Koibuchi H, **Taniguchi N**, Yamada T.: Serum amyloid A protein and carotid intima-media thickness in healthy young subjects. J Atheroscler Thromb. 16(3): 299-300, 2009. (doi: 10.5551/jat.e901. Epub 2009 Jun 25.)
 81. Uurtuya, S., Kotani, K., **Taniguchi, N.**, Matsunaga, H., Kanai, H., Hasegawa, H., Kario, K., Ishibashi, S., Itoh, K.: Relationship between upper limb peripheral artery stiffness using the radial artery and atherosclerotic parameters. J Med Ultrasonics 36(3): 129-35, 2009.
 82. Uurtuya, S., **Taniguchi, N.**, Kotani, K., Yamada, T., Kawano, M., Khurelbaatar N, Itoh, K., Lkhagvasuren T.: Comparative study of the cardio-ankle vascular index and ankle-brachial index between young Japanese and Mongolian subjects. Hypertens Res, 32(2): 140-144, 2009.
 83. Fujii Y, Moriguchi Y, **Taniguchi N.** Vesicosigmoidal fistula: sonographic findings. J Ultrasound Med 29(6): 993-6, 2010. (doi: 10.7863/jum.2010.29.6.993.)
 84. Kameda T, Kawai F, **Taniguchi N**, Mori I, Ono M, Tsukahara N, Kobori Y, Yoshida H, Wagai K, Numao A. Ultrasonography for ureteral stone detection in patients with or without caliceal dilatation. J Med Ultrason. 37(1): 9-14, 2010. (doi: 10.1007/s10396-009-0243-1. Epub 2009 Oct 27)
 85. Kotani, K., Caccavello, R., Hermo, R., Yamada, T., **Taniguchi, N.**, Gugliucci, A.: Serum cholesterol concentration associated with aspirin esterase activity in older people: preliminary data. Int J Med Sci 7(2): 90-93, 2010.
 86. Kotani, K., Koibuchi, H., Miyamoto, M., Yamada, T., **Taniguchi, N.**: Relationship between reactive oxygen metabolites and carotid intima-media thickness in subjects with hypercholesterolemia. Med Princ Pract 19(6): 496-498, 2010.
 87. Kotani, K., Miyamoto, M., **Taniguchi, N.**: Clinical Significance of the Cardio-Ankle Vascular Index (CAVI) in Hypertension. Curr Hypertens Rev 6(4): 251-253, 2010.
 88. Kotani K, Sakane N, Miyamoto M, Yamada K, **Taniguchi N.**: Influence of smoking habits on the GA/HbA1c ratio in patients with type 1 diabetes mellitus. Med Princ Pract. 19(5): 415-7, 2010. (doi: 10.1159/000316385. Epub 2010 Jul 14.)
 89. Kotani, K., Sakane, N., Yamada, T., **Taniguchi, N.**: Association between coffee consumption and the estimated glomerular filtration rate in the general Japanese population: preliminary data regarding C-reactive protein concentrations. Clin Chem Lab Med 48(12): 1773-1776, 2010.
 90. Kotani, K., Satoh, N., Yamada, K., **Taniguchi, N.**, Shimatsu, A.: The influence of metabolic syndrome and chronic kidney disease on hemorheology assessed by the microchannel method. J Physiol Anthropol 29(5): 157-160, 2010.
 91. Kotani K, **Taniguchi N.**: Evaluations by sonography in clinical studies on preventive

- cardiology. *Prev Cardiol.* 13(3): 148, 2010. (doi: 10.1111/j.1751-7141.2010.00070.x.)
92. Kotani, K., Yamada, T., **Taniguchi, N.**: The association between adiponectin, HDL-cholesterol and α 1-antitrypsin-LDL in female subjects without metabolic syndrome. *Lipids Health Dis* 9(1): 147, 2010.
 93. Kotani, K., Yamada, S., Uurtuya, S., Yamada, T., **Taniguchi, N.**, Sakurabayashi, I.: The association between blood glucose and oxidized lipoprotein(a) in healthy young women. *Lipids Health Dis* 9: 103, 2010.
 94. Kuwata T, Matsubara S, **Taniguchi, N.**, Ohkuchi A, Ohkusa T and Suzuki M: A novel method for evaluating uterine cervical consistency using vaginal ultrasound gray-level histogram. *J. Perinat. Med.* 38: 491-494, 2010.
 95. Matsunaga, H., Fujii, Y., **Taniguchi, N.**: Ultrasonographic findings in epiploic appendagitis. *J Med Ultrasonics* 37: 31-32, 2010.
 96. Matsunaga, H., Kotani, K., **Taniguchi, N.**: Correlation between the Indexes of Insulin Resistance and Renal Function in the Presence of Hypertension. *Kidney Blood Press Res* 33(3): 209-212, 2010.
 97. Miyamoto, M., Kotani, K., Yagyu, H., Koibuchi, H., Fujii, Y., Konno, K., Yamada, T., Ishibashi, S., **Taniguchi, N.**: The correlation between CVR-R and carotid atherosclerosis in type 2 diabetes mellitus patients with diabetic neuropathy. *J Physiol Anthropol* 29(4): 149-52, 2010.
 98. Uurtuya, S., Kotani, K., Koibuchi, H., Miyamoto M, Kario, K., Yamada, T., **Taniguchi, N.**: The relationship between serum C-reactive protein and daily physical activity in Japanese hypertensive patients. *Clin Exp Hypertens* 32(8): 517-22, 2010.
 99. Uurtuya, S., Kotani, K., **Taniguchi, N.**, Yoshioka, H., Kario, K., Ishibashi, S., Yamada, T., Kawano, M., Khurelbaatar, N., Itoh, K., Lkhagvasuren, T.: Comparative study of atherosclerotic parameters in Mongolian and Japanese patients with hypertension and diabetes mellitus. *J Atheroscler Thromb* 17(2): 181-188, 2010.
 100. Uurtuya, S., Kotani, K., Yoshioka, H., Yamada, T., **Taniguchi, N.**: Determinants of carotid atherosclerosis in the general Mongolian population. *Ethn Dis* 20(3): 257-260, 2010.
 101. Irie T, Tagawa N, Tanabe M, Moriya T, Yoshizawa M, Iijima T, Itoh K, Yokoyama T, Kumagai H, **Taniguchi N.**: Transmission of 100-MHz-range ultrasound through a fused quartz fiber. *J Med Ultrason.* 38(3): 119-27, 2011. (doi: 10.1007/s10396-011-0302-2. Epub 2011 Apr 14.)
 102. Kotani K, Caccavello R, Sakane N, Yamada T, **Taniguchi N**, Gugliucci A.: Influence of Physical Activity Intervention on Circulating Soluble Receptor for Advanced Glycation end Products in Elderly Subjects. *J Clin Med Res.* 3(5): 252-7, 2011. (doi: 10.4021/jocmr704w. Epub 2011 Sep 26.)
 103. Kotani K, Chen JT, **Taniguchi N.**: The relationship between adiponectin and blood pressure in premenopausal and postmenopausal women. *Clin Invest Med.* Jun 34(3): E125-30, 2011. (doi: 10.25011/cim.v34i3.15184.)
 104. Kotani K, Sakane N, Kamimoto M, **Taniguchi N.**: Levels of reactive oxygen metabolites in patients with knee osteoarthritis. *Australas J Ageing.* 30(4): 231-3, 2011. (doi: 10.1111/j.1741-6612.2010.00500.x. Epub 2011 Apr 26.)
 105. Kotani K, **Taniguchi N.**: The association between reactive oxygen metabolites and metabolic syndrome in asymptomatic Japanese men. *J Clin Med Res.* 3(5): 247-51, 2011. (doi: 10.4021/jocmr668w. Epub 2011 Sep 26.)
 106. Kotani K, Yamada S, Yamada T, **Taniguchi N**, Sakurabayashi I.: The relationship between

- oxidized lipoprotein(a) and carotid atherosclerosis in asymptomatic subjects: a comparison with native lipoprotein(a). *Lipids Health Dis.* 10(1): 174, 2011. (doi: 10.1186/1476-511X-10-174.)
107. Matsubara S, Isoda N, **Taniguchi N.** Jaundice as the first manifestation of primary biliary cirrhosis during pregnancy: measurement of portal vein blood flow. *J Obstet Gynaecol Res.* 37(7): 963-4, 2011. (doi: 10.1111/j.1447-0756.2011.01645.x. Epub 2011 Jun 9.)
 108. Miyamoto M, Kotani K, Ishibashi S, **Taniguchi N.** The relationship between urinary 8-hydroxydeoxyguanosine and metabolic risk factors in asymptomatic subjects. *Med Princ Pract.*;20(2): 187-90, 2011. (doi: 10.1159/000319774. Epub 2011 Jan 20.)
 109. Fujii Y, Yoshizawa M, Emoto R, Haruyama N, Irie T, **Taniguchi N:** Processed skin surface images acquired by acoustic impedance difference imaging using the ultrasonic interference method: a pilot study. *J Med Ultrason.* 39(1): 37-42, 2012.
 110. Hayashi S, Koibuchi H, **Taniguchi N,** Hirai Y.: Evaluation of procedures for decontaminating ultrasound probes. *J Med Ultrason.* 39(1): 11-4, 2012. (doi: 10.1007/s10396-011-0332-9. Epub 2011 Oct 26.)
 111. Iwazu K, Iwazu Y, Takeda S, Akimoto T, Yumura W, Takahashi H, Ito C, Kanai K, **Taniguchi N,** Hirai Y, Kusano E. Successful treatment of serial opportunistic infections including disseminated nocardiosis and cryptococcal meningitis in a patient with ANCA-associated vasculitis. *Intern Med.* 51(21): 3051-6, 2012. (doi: 10.2169/internalmedicine.51.7886. Epub 2012 Nov 1.)
 112. Kijima S, Omoto K, Utano K, Sakamoto A, Matsunaga H, Koibuchi H, Fujii Y, **Taniguchi N,** Konno K, Sugimoto H. Sonographic findings of Sister Mary Joseph's nodule from ovarian cancer. *J Med Ultrason.* 39(1): 29-31, 2012. (doi: 10.1007/s10396-011-0324-9. Epub 2011 Sep 30.)
 113. Kotani K, **Taniguchi N.:** Pedometer step counts and oxidized low-density lipoprotein levels among asymptomatic subjects. *Ann Clin Lab Sci.* ;42(4): 435-8, 2012.
 114. Kotani K, Tsuzaki K, **Taniguchi N,** Sakane N. LDL Particle Size and Reactive Oxygen Metabolites in Dyslipidemic Patients. *Int J Prev Med.* Mar;3(3):160-6, 2012.
 115. Kotani K, Yamada T, Miyamoto M, Ishibashi S, **Taniguchi N,** Gugliucci A.: Influence of atorvastatin on serum amyloid A-low density lipoprotein complex in hypercholesterolemic patients. *Pharmacol Rep.*;64(1): 212-6, 2012. (doi: 10.1016/s1734-1140(12)70748-x.)
 116. Kotani K, Yamada S, Yamada T, Kario K, **Taniguchi N:** Oxidized lipoprotein(a) and cardio-ankle vascular index (CAVI) in hypertensive subjects. *Heart and Vessels, Online First™*, 19 June 2012
 117. Tsuda K, Konno K, Koibuchi H, Matsunaga H, Fujii Y, **Taniguchi N.:** Ultrasonography findings in temporal arteritis. *J Med Ultrason.*; 39(3): 201-3, 2012. (doi: 10.1007/s10396-012-0350-2. Epub 2012 Mar 9.)
 118. Miyamoto M, Kotani K, Ishibashi S, **Taniguchi N.:** The effect of antihypertensive drugs on endothelial function as assessed by flow-mediated vasodilation in hypertensive patients. *Int J Vasc Med.*: 453264, 2012. (doi: 10.1155/2012/453264. Epub 2012 Feb 29.)
 119. Miyamoto M, Kotani K, Okada K, Fujii Y, Kei Konno K, Ishibashi S, **Taniguchi N:** The correlation of common carotid arterial diameter with atherosclerosis and diabetic retinopathy in patients with type 2 diabetes mellitus. *Acta Diabetologica*, 49 (1), 63-68, 2012.
 120. Miyamoto M, Kotani K, Okada K, Ando A, Hasegawa H, Kanai H, Ishibashi S, Yamada T, **Taniguchi N.:** Arterial wall elasticity measured using the phased tracking method and

- atherosclerotic risk factors in patients with type 2 diabetes. *J Atheroscler Thromb.* 20(8): 678-87, 2013. (doi: 10.5551/jat.16220. Epub 2013 May 2.)
121. Yamakoshi Y, Kotani K, **Taniguchi N**, Miwa T.: Characterization of skin dermis microcirculation in flow-mediated dilation using optical sensor with pressurization mechanism. *Med Biol Eng Comput.* 51(5): 497-505, 2013. (doi: 10.1007/s11517-012-1017-2. Epub 2012 Dec 29.)
 122. Hayashida N., Imaizumi M, Shimura H, Okubo N, Asari Y, Nigawara T, Midorikawa S, Kotani K, Nakaji S, Otsuru A, Akamizu T, Kitaoka M, Suzuki S, **Taniguchi N**, Yamashita S, Takamura N; Investigation Committee for the Proportion of Thyroid Ultrasound Findings. Thyroid ultrasound findings in children from three Japanese prefectures: aomori, yamanashi and nagasaki. *PLoS One* 8(12), e83220, 2013.
 123. **Taniguchi N.**, Hayashida N., Shimura H., Okubo N., Asari Y., Nigawara T., Midorikawa S., Kotani K., Nakaji S., Imaizumi M., Ohtsuru A., Akamizu T., Kitaoka M., Suzuki S., Yamashita S., Takamura N.: Ultrasonographic thyroid nodular findings in Japanese children. *J Med Ultrasonics* 40(3): 219-224, 2013.
 124. Koibuchi H, Kotani K, **Taniguchi N.**: Ultrasound probes as a possible vector of bacterial transmission. *Med Ultrason* 15(1): 41-44, 2013.
 125. Koibuchi H, Tsuda K, **Taniguchi N**, Shimada I, Miyazawa T, Sawada T. : The effectiveness of “Protex” for disinfection of the ultrasound probe. *J Med Ultrasonics* 40: 175-176, 2013.
 126. Kotani K, Sakane N, **Taniguchi N.**: Association between angiotensin II Type 2 receptor gene A/C3123 polymorphism and high-density lipoprotein cholesterol with hypertension in asymptomatic women. *Med Princ Pract* 22(1), 65-69, 2013.
 127. Kotani K, Tsuzaki K, **Taniguchi N**, Sakane N.: ACorrelation between reactive oxygen metabolites & atherosclerotic risk factors in patients with type 2 diabetes mellitus. *Indian J Med Res* 137(4): 742-748, 2013.
 128. Kotani K, Yamada S, Yamada T, Kario K, **Taniguchi N.**: Oxidized lipoprotein(a) and cardio-ankle vascular index (CAVI) in hypertensive subjects. *Heart Vessels* 28(4): 461-466, 2013.
 129. Miyamoto M, Kotani K, Okada K, Ando A, Hasegawa H, Kanai H, Ishibashi S, Yamada T, **Taniguchi N.**: Arterial Wall Elasticity Measured Using the Phased Tracking Method and Atherosclerotic Risk Factors in Patients with Type 2 Diabetes. *J Atheroscler Thromb* 20(8): 678-687, 2013.
 130. **Taniguchi N**, Hayashida N, Shimura H, Okubo N, Asari Y, Nigawara T, Midorikawa S, Kotani K, Nakaji S, Imaizumi M, Otsuru A, Akamizu T, Kitaoka M, Suzuki S, Yamashita S, Takamura N; The Investigation Committee for the Proportion of Thyroid Ultrasound Findings. Ultrasonographic thyroid nodular findings in Japanese children. *J Med Ultrasonic* 40(3): 219-224, 2013.
 131. Yamakoshi Y., Kotani K., **Taniguchi N.**, Miwa T.: Characterization of skin dermis microcirculation in flow-mediated dilation using optical sensor with pressurization mechanism. *Med Biol Eng Comput* 51(5): 497-505, 2013.
 132. Kameda T, Kawai F, **Taniguchi N**, Omoto K, Kobori Y, Arakawa K. Evaluation of whether the ultrasonographic onion skin sign is specific for the diagnosis of an appendiceal mucocele. *J Med Ultrason*; 41(4): 439-43, 2014. (doi: 10.1007/s10396-014-0527-y. Epub 2014 Mar 6.)
 133. Koibuchi H., Omoto K., Fukushima N., Toyotsuji T., **Taniguchi N.**, Kawano M.: Coexistence of papillary thyroid cancer and Hashimoto thyroiditis in children: report of 3 cases. *J Ultrasound Med* 33: 1299-303, 2014.

134. Koibuchi H., Kotani K., Minami T., Konno K., **Taniguchi N.**: Endothelial dysfunction by flow-mediated dilatation assessed ultrasonically in patient with Kawasaki disease. *Minerva Pediatr* 20, 2014.
135. Kotani K, Minami T, Abe T, Sato J, **Taniguchi N**, Yamada T.: Development of a new point-of-care testing system for measuring white blood cell and C-reactive protein levels in whole blood samples. *Clin Chim Acta* 433: 145-149, 2014.
136. Shimura H, Suzuki S, Fukushima T, Midorikawa S, Suzuki S, Hayashida N, Imaizumi M, Okubo N, Asari Y, Nigawara T, Furuya F, Kotani K, Nakaji S, Otsuru A, Akamizu T, Kitaoka M, Takamura N, Abe M, Ohto H, **Taniguchi N**, Yamashita S. Prevalence of thyroid nodular lesions in children and adolescents. *Fukushima J Med Sci* 60(2): 196-202, 2014. (doi: 10.5387/fms.2014-28. Epub 2014 Dec 20.)
137. Shinozaki Y, Jinbu Y, Ito H, Noguchi T, Kusama M, Matsumoto N, Komiyama K, **Taniguchi N.**: Relationship between appearance of tongue carcinoma on intraoral ultrasonography and histopathologic findings. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol* 117(5): 634-639, 2014. (doi: 10.1016/j.oooo.2014.02.001. Epub 2014 Feb 13.)
138. Shuumarjav U, Kotani K, Dagdanbazar N, **Taniguchi N.**: The C-reactive protein and Cardio-Ankle Vascular Index of Mongolian and Japanese people. *Sci J Pub Health* 2(2): 64-68, 2014.
139. Hayashida N, Imaizumi M, Shimura H, Furuya F, Okubo N, Asari Y, Nigawara T, Midorikawa S, Kotani K, Nakaji S, Ohtsuru A, Akamizu T, Kitaoka M, Suzuki S, **Taniguchi N**, Yamashita S, Takamura N. Thyroid ultrasound findings in a follow-up survey of children from three Japanese prefectures: Aomori, Yamanashi, and Nagasaki. *Sci Rep.* 12(5): 9046, 2015.
140. Ishiguro Y, Sasanuma H, Nitta N, **Taniguchi N**, Ogata Y, Yasuda Y, Akiyama I.: The arrhythmogenic effect of ultrasonic exposure with acoustic radiation force (ARF) impulse on the rabbit heart with ultrasound contrast agent perfluorobutane. *J Med Ultrason* 42(1): 47-50, 2015.
141. Kotani K, Shuumarjav U, **Taniguchi N**, Yamada T: Possible relationship between the heart rates and serum amyloid A in a hyperglycemic population. *Biosci Trends.* 9(1): 79-81, 2015.
142. Nitta N, Ishiguro Y, Sasanuma H, **Taniguchi N**, Akiyama I, Experimental system for in-situ measurement of temperature rise in animal tissue under exposure to acoustic radiation force impulse. *J Med Ultrason* 42(1): 39-46, 2015.
143. Miyamoto M, Kotani K, **Taniguchi N.**: Effect of non-antihypertensive drugs on endothelial function in hypertensive subjects evaluated by flow-mediated vasodilation. *Curr Vasc Pharmacol* 13 (1): 121-7, 2015.
144. Kadowaki H, Hayase T, Funamoto K, **Taniguchi N.**: Study of Estimation Method for Unsteady Inflow Velocity in Two-Dimensional Ultrasonic-Measurement-Integrated Blood Flow Simulation. *IEEE Trans Biomed Eng* 63(2): 403-14, 2016. (doi: 10.1109/TBME.2015.2461559. Epub 2015 Jul 28.)
145. Miyamoto, M., Kotani, K., **Taniguchi, N.**: Effect of non-antihypertensive drugs on endothelial function in hypertensive subjects evaluated by flow-mediated vasodilation. *Curr Vas Pharmacol* 13(1): 121-127, 2015
146. Shimura, H. , Suzuki, S., Fukushima, T., Midorikawa, S., Suzuki, S., Hayashida, N., Imaizumi, M., Okubo, N., Asari, Y., Nigawara, T., Furuya, F., Kotani, K., Nakaji, S., Otsuru, A., Akamizu, T., Kitaoka, M., Takamura, N., Abe, M., Ohto, H., **Taniguchi, N.**, Yamashita, S.:

- Prevalence of thyroid nodular lesions in children and adolescents. Fukushima Med J 60(2): 196-202, 2015.
147. Ishiguro Y, Nitta N, **Taniguchi N**, Akai K, Takakayama N, Sasanuma H, Ogata Y, Yasuda Y, Akiyama I.: Ultrasound exposure (mechanical index 1.8) with acoustic radiation force impulse evokes extrasystolic waves in rabbit heart under concomitant administration of an ultrasound contrast agent. J Med Ultrason;43(1):3-7, 2016.
 148. Ishiguro Y, Nitta N, **Taniguchi N**, Akai K, Takayama N, Sasanuma H, Ogata Y, Yasuda Y, Akiyama I.: Erratum to: Ultrasound exposure (mechanical index 1.8) with acoustic radiation force impulse evokes extrasystolic waves in rabbit heart under concomitant administration of an ultrasound contrast agent. J Med Ultrason; 43(1): 9, 2016. (doi: 10.1007/s10396-015-0683-8.)
 149. Kameda T, Kawai F, **Taniguchi N**, Kobori Y. Usefulness of transabdominal ultrasonography in excluding adnexal disease. J Med Ultrason 43(1): 63-70, 2016. (doi: 10.1007/s10396-015-0666-9. Epub 2015 Sep 4.)
 150. Kameda T, **Taniguchi N**.: Overview of point-of-care abdominal ultrasound in emergency and critical care. J Intensive Care. 15(4): 53, 2016.
 151. Kato T, Sone S, Funamoto K, Hayase T, Kadowaki H, **Taniguchi N**.: Effects of inflow velocity profile on two-dimensional hemodynamic analysis by ordinary and ultrasonic-measurement-integrated simulations. Med Biol Eng Comput;54(9): 1331-9, 2016. (doi: 10.1007/s11517-015-1376-6. Epub 2015 Aug 26.)
 152. Koibuchi H, Kotani K, Minami T, Konno K, **Taniguchi N**. Endothelial dysfunction by flow-mediated dilation assessed ultrasonically in patients with Kawasaki Disease. Minerva Pediatr 68(2): 143-7, 2016.
 153. Takayama N, Ishiguro Y, **Taniguchi N**, Akai K, Sasanuma H, Yasuda Y, Nitta N, Akiyama I.: The effect of ultrasound with acoustic radiation force on rabbit lung tissue: a preliminary study. J Med Ultrason;43(4):481-5, 2016.
 154. Kameda T, Uebayashi K, Wagai K, Kawai F, **Taniguchi N**.: Assessment of the renal collecting system using a pocket-sized ultrasound device. J Med Ultrason. 45(4):577-581, 2018.
 155. Koibuchi H, Fujii Y, Hirai Y, Mochizuki T, Masuda K, Kotani K, Yamada T, **Taniguchi N** : Effect of ultrasonic irradiation on bacterial biofilms. J Med Ultrason 45(1): 25-29, 2018.
 156. Kameda T, Kamiyama N, Kobayashi H, Kanayama Y, **Taniguchi N**.: Ultrasonic B-Line-Like Artifacts Generated with Simple Experimental Models Provide Clues to Solve Key Issues in B-Lines. Ultrasound Med Biol 45(7): 1617-1626, 2019.
 157. Kumagai H, **Taniguchi N**, Yokoyama K, Katsuyama K, Yamamoto H, Hara S, Hirota N, Itoh K, Yamagata T.: The Speed of Sound in Rat Liver With Steatohepatitis: Ex Vivo Analysis Using Two Types of Ultrasound Systems. Ultrasound Med Biol 45(8): 2258-2265, 2019.
 158. Takayama N, Omoto N, Tanaka A, **Taniguchi N**.: Point-of-Care Ultrasonography for Hernia Reduction: A Case of Incarcerated Umbilical Hernia. J Emerg Med. 57(6): 848-851, 2019.
 159. Kameda T, Kamiyama N, **Taniguchi N**.: Simple Experimental Models for Elucidating the Mechanism Underlying Vertical Artifacts in Lung Ultrasound: Tools for Revisiting B-Lines. Ultrasound Med Biol. 47(12): 3543-3555, 2021.
 160. Kameda T, Mizuma Y, Taniguchi H, Fujita M, **Taniguchi N** : Point-of-care lung ultrasound for the assessment of pneumonia: a narrative review in the COVID-19 era. J Med Ultrason (2001) 48(1): 31-43, 2021.
 161. Koibuchi H, Fujii Y, Sato'o Y, Mochizuki T, Yamada T, Cui L, **Taniguchi N**.: Inhibitory

- effects of ultrasound irradiation on Staphylococcus epidermidis biofilm. J Med Ultrason (2001) 48(4): 439-448, 2021. doi:10.1007/s10396-021-01120-3.
162. Yamamoto S, Konno K, Koibuchi H, Oh I, **Taniguchi N**: Ultrasonography and fine needle aspiration cytology of thyroid Langerhans cell histiocytosis lesions. J Med Ultrason (2001). 48(1): 107-108, 2021. (doi: 10.1007/s10396-020-01066-y.)
163. Kameda T, Kamiyama N, **Taniguchi N**: The Mechanisms Underlying Vertical Artifacts in Lung Ultrasound and Their Proper Utilization for the Evaluation of Cardiogenic Pulmonary Edema. Diagnostics. 12(2): 252, 2022.
164. Kameda T, **Taniguchi N**, Konno K, Koibuchi H, Omoto K, Itoh K.: Ultrasonography in undergraduate medical education: a comprehensive review and the education program implemented at Jichi Medical University. J Med Ultrason (2001) 16:1-14, 2022.

邦文論文（含む症例報告）

1. 池本卯典, 日野原博, 谷口信行, 他: MNSs式血液型に関連していると推定される角皮症（肝臓腫）。薬の知識 32 (1) : 20-21, 1981.
2. 谷口信行, 加藤一吉, 山本洋之, 尾崎健一, 佃 進: 十二指腸狭窄を伴った先天性腸回転異常の 1 例, 鳥取医学雑誌 10 (2) : 236-228, 1982.
3. 谷口信行, 長田憲一, 平山正実: 過疎と飲酒 ―山陰の農産村における事例を通して―. 社会精神医学 8 (2) : 119-124, 1985.
4. 谷口信行, 梶井英治 岡本公男 植木寿一: 遊走脾の 1 例. 鳥取医学雑誌 12 (増刊) : 240-243, 1985.
5. 谷口信行, 小泉章: 超音波検査にて経過観察中にみられた胆嚢穿孔の 1 例, 内科 57 (6) : 1104-1105, 1986.
6. 谷口信行, 伊東紘一, 森博昭: 正常骨格筋の周波数依存減衰に関する研究. 超音波医学 16 (4) : 383-392, 1989.
7. 谷口信行, 伊東紘一, 森博昭, 渡辺光人: 限局性脾病変の超音波診断. 超音波医学 16 (5) : 438-447, 1989.
8. 谷口信行, 伊東紘一, 倉松俊弘, 柳沢正義: Spectral-Shift Zero-Crossing法による周波数依存減衰に関する研究 ―新生児・乳児の脳への応用―. Neurosonology 2 (2) : 81-85, 1989.
9. 谷口信行, 伊東紘一, 中沢成公, 中村みちる, 森博昭: 肝内の周波数信号を利用した体表組織の減衰値の推定法 ―脂肪肝の肝エコーレベル測定への応用―. 超音波医学 17 (4) : 28-34, 1990.
10. 谷口信行, 都田潤一郎, 伊東紘一: 超音波による横隔膜の観察および呼吸による厚さの変化の検討. 超音波医学 18 (1) : 93-98, 1991.
11. 谷口信行, 福井順一, 伊東紘一: 超音波による横隔膜厚の検討 ―体位変化および呼吸機能との関連について―. 超音波医学 18 (6) : 552-560, 1991.
12. 谷口信行, 伊東紘一, 中村みちる, 鈴木 修, 川井夫規子, 森 博昭: ヒストグラムによる脂肪肝の肝腎コントラスト評価法とその問題点について. 超音波医学18 (9) : 847-855, 1991.
13. 谷口信行, 伊東紘一, 中村みちる, 森 博昭, 鈴木 修: 超音波像による正中頸嚢胞の検討. 超音波医学 19 (1) : 17-21, 1992.
14. 谷口信行, 伊東紘一, 中村みちる, 川井夫規子, 鈴木 修, 森 博昭: 超音波像による副腎腫瘍の検討 ―腺腫と転移性腫瘍の鑑別について―. 超音波医学 19 (3) : 200-206, 1992.
15. 矢田 宏, 谷口信行, 水沼洋文, 金澤暁太郎, 中村みちる, 川井夫規子, 森 博昭, 伊東紘一: 甲状腺結節性病変に対するカラードプラ断層法の応用に関する検討. 超音波医学20 : 205-211, 1993.
16. 谷口信行, 伊東紘一, 森博昭: 超音波組織性状診断に関する研究―ラット脂肪肝の周波数依存減衰およびエコー輝度の計測―, 超音波医学 20 (10) : 574-588, 1993.
17. 秋山いわき, 大矢晃久, 中村みちる, 谷口信行, 伊東紘一: 超音波画像のフラクタル解析による組織性状診断の可能性. 超音波医学 20 (11) : 643-652, 1993.
18. 山田 薫, 矢田 宏, 金澤暁太郎, 谷口信行, 斉藤寿一, 伊東紘一: 甲状腺乳頭癌の超音波像と病理組織との比較検討. 超音波医学21 (4) : 181-189, 1994.
19. 川井夫規子, 谷口信行, 中村みちる, 伊東紘一: 悪性リンパ腫における限局性脾病変の検討―超音波像と病理組織型の関連および治療反応性について―. 超音波医学 21 (11) : 713-722, 1994.
20. 中村みちる, 松井 陽, 谷口信行, 川井夫規子, 佐々木楊彦, 伊東紘一: 胆道閉鎖症経過観察における超音波検査の有用性. 日本小児科学会雑誌 98 (8) : 1605-1610, 1994.
21. 秋山いわき, 谷口信行, 伊東紘一: 組織構造の自己相似性と超音波について. 電子情報通信学会技術研究報告 (超音波) 95 (339) : 39-46, 1995.
22. 長谷川剛, 安田是和, 近藤恵, 谷口信行, 金澤暁太郎: 非定型的なCT所見を呈した副腎骨髄脂肪腫の 1 例. 超音波医学 22 (8) : 617-620, 1995.
23. 森 博昭, 伊東紘一, 谷口信行, 川井夫規子, 入江喬介, 金澤暁太郎, 大塚紳, 水沼洋文: 乳癌の組織

- 音響特性に関する研究—組織型と周波数依存減衰，エコー輝度，縦横比との関連について— 超音波医学 22 (1) : 3-18, 1995.
24. 中村みちる, **谷口信行**, 林良夫, 川井夫規子, 入江喬介, 伊東紘一: 小児顎下腺エコーレベルの年齢的变化. 超音波医学 22 (11) : 775-780, 1995.
 25. **谷口信行**, 伊東紘一, 宮本一夫, 井上信康, 若松立也, 高野隆一, 尾本きよか: 超音波カラードプラ法を用いた速度プロファイルおよびPower modeプロファイルの評価法—血管への応用—. 超音波医学 22 (12) : 877-883, 1995.
 26. 山形道子, **谷口信行**, 川井夫規子, 中村みちる, 伊東紘一, 山下圭介, 安田是和, 金澤暁太郎: 孤立性解離性上腸間膜動脈瘤の1例. 超音波医学: 22 (2) 181-186, 1995.
 27. 秋山 いわき, **谷口 信行**, 伊東 紘一: 組織構造の自己相似性と超音波像について. 電子情報通信学会技術研究報告(超音波) 95巻339号: 39-46, 1995.
 28. 川井夫規子, 伊東紘一, **谷口信行**, 中村みちる: 超音波組織性状診断に関する研究 —ラット鉄沈着肝の周波数依存減衰およびエコー輝度の検討—. 超音波医学 23(2) : 123-136, 1996.
 29. **谷口信行**, 伊東紘一, 高野隆一, 井上信康, 小笠原正文, 若松立也, 宮本一夫: 超音波カラードプラ法を用いた速度プロファイルによる血流量計測法—原理およびファントムを用いた検討—. 超音波医学23 (4) : 313-318, 1996.
 30. **谷口信行**, 高野隆一, 安田是和, 王 怡, 中村みちる, 川井夫規子, 小野倫子, 横田京子, 尾本きよか, 伊東紘一: 超音波による門脈血流の検討—カラードプラ法および速度プロファイルを用いて—. 超音波医学23 (10) : 731-736, 1996.
 31. 中村みちる, 浜野雄二, 桃井真理子, **谷口信行**, 川井夫規子, 横田京子, 伊東紘一: 小児膀胱尿管逆流でみられた超音波所見—wax and wane hydronephrosis をふくめて—. 日本小児腎臓病学会雑誌 9 (2) : 217-221, 1996.
 32. 中村みちる, **谷口信行**, 川井夫規子, 久力権, 菅谷泰広, 伊東紘一: 無症状者における尿膜管遺残—超音波像における検討—. 超音波医学23 (9) : 651-656, 1996.
 33. **谷口信行**, 伊東紘一: 超音波検査の記録保存と診療支援—ファイリングシステムの有用性と画像解析— 臨床病理 45(5) : 442-446, 1997.
 34. 川井夫規子, 伊東紘一, **谷口信行**, 中村みちる: 超音波組織性状診断に関する研究 —ヒト鉄沈着肝の周波数依存減衰およびエコー輝度の検討—. 超音波医学 24(1) : 11-20, 1997.
 35. 王 怡, 伊東紘一, **谷口信行**, 川井夫規子, 中村みちる, 横田京子: 正常ならびに病的肝とファントムを用いた同時生起行列によるテクスチャ解析に関する研究 —超音波画像の関心領域の深度, 走査断面, 周波数および拡大率の検討—. 超音波医学 24 (6) : 861-872, 1997.
 36. 尾本きよか, **谷口信行**, 伊東紘一: 乳腺腫瘍の三次元表示とその良悪性の判定. CADM News letter 23 : 16-17, 1998.
 37. 王 怡, 伊東紘一, **谷口信行**, 藤栄寿雄, 川井夫規子, 中村みちる, 尾本きよか, 横田京子, 小野倫子: 同時生起行列による超音波画像のテクスチャ解析に関する研究およびCT画像情報との比較. 超音波医学 26 (7) : 825-838, 1999.
 38. 小野倫子, 川井夫規子, 中村みちる, **谷口信行**, 伊東紘一: 頸部領域における超音波ガイド下穿刺吸引細胞診の検討 臨床病理 47(12) : 1173-1176, 1999.
 39. 尾本きよか, 伊東紘一, 程 相勇, 王 怡, **谷口信行**, 秋山いわき, 大塚 紳, 水沼洋文, 小倉重人, 金澤暁太郎: 超音波3次元画像を用いた乳腺腫瘍の抽出と良悪性自動判別に関する研究—縦横比および表面積体積比の臨床的検討—. 超音波医学 26 (12) : 1197-1204, 1999.
 40. 川井夫規子, 中村みちる, 横田京子, 小野倫子, **谷口信行**, 伊東紘一: 唾液腺腫瘍の超音波像及び穿刺吸引細胞診についての検討. 超音波医学 27 (9) : 1257-1266, 2000.
 41. 尾本きよか, 伊東紘一, 程 相勇, 王 怡, **谷口信行**, 秋山いわき, 大塚 紳, 水沼洋文, 小倉重人, 金澤暁太郎: 超音波3次元画像を用いた乳腺腫瘍の抽出と良悪性自動判別に関する研究—複数のパラメータによる多変量解析を用いた臨床的検討—. 超音波医学 27 (2) : 119-130, 2000.

42. 尾本きよか, 伊東紘一, 程 相勇, 王 怡, 谷口信行, 秋山いわき, 大塚 紳, 水沼洋文, 小倉重人, 永井秀雄: 超音波 3 次元画像を用いた乳腺腫瘍の抽出と良悪性自動判別に関する研究—良悪性判別式による術前判定の臨床的検討—. 超音波医学 27 (8): 1043-1048, 2000.
43. 小野倫子, 谷口信行, 重田浩一郎, 横田京子, 中村みちる, 川井夫規子, 藤井康友, 王 怡, 尾本きよか, 伊東紘一: 胃癌による門脈腫瘍塞栓 3 例の超音波像. 超音波医学 27 (7): 987-994, 2000.
44. 谷口信行: 超音波の画像輝度及び強度の定量的評価法. 超音波医学 27(5): 765-777, 2000.
45. 谷口信行, 伊東紘一: 超音波検査の信号処理と保存. 臨床病理 48 (7): 608-613, 2000.
46. 谷口信行, 王 怡, 藤井康友, 重田浩一郎, 金 潤哲, 尾本きよか, 伊東紘一: 植物, 果実の超音波像—描出法とその有用性について—. 超音波医学 27 (10): 1319-1327, 2000.
47. 横田京子, 尾本きよか, 小野倫子, 王 怡, 中村みちる, 谷口信行, 伊東紘一, 松本 敦, 菊池 豊, 白石裕比湖, 桃井真理子, 兵藤秀樹, 上沢 修: 超音波カラードプラ所見が診断に有効であった内腸骨動静脈奇形の 1 例. 超音波医学 27(5): 799-804, 2000.
48. 横田京子, 王 怡, 小野倫子, 尾本きよか, 中村みちる, 川井夫規子, 谷口信行, 伊東紘一: 超音波断層像による小児の肝計測. 超音波医学 27(7): 973-980, 2000.
49. 藤井康友, 谷口信行, 王 怡, 重田浩一郎, 尾本きよか, 伊東紘一, 曹景文, 隈崎健二, 伊藤貴司, 高山智司: 肝の超音波組織性状診断に関する研究 ROIの分割化によるRF信号の包絡振幅のヒストグラム解析法を用いた肝硬変の評価. 超音波医学 28 (1): J25-34, 2001.
50. 武政 聡浩, 川口 一男, 大野 彰二, 杉山 幸比古, 谷口 信行, 伊東 紘一: 腫瘤状陰影を呈した中葉症候群の 1 症例: 呼吸20 (1) 78-79, 2001.
51. 藤井康友, 谷口信行, 高野隆一, 王 怡, 重田浩一郎, 尾本きよか, 小野倫子, 佐藤泉, 伊東紘一: 肝の超音波組織性状診断に関する研究 —ラット線維化肝におけるROIの分割化によるRF信号の包絡振幅のヒストグラム解析—. 超音波医学 28 (4): J681-692, 2001.
52. 河口政慎, 中村みちる, 谷口信行, 川井俊郎, 伊東紘一: 超音波検査で発見された側頸部異所性甲状腺の 1 例. 超音波医学 28 (7): J999-J1002, 2001.
53. 河野幹彦, 久保信彦, 谷口信行, 中村みちる, 渋谷泰寛, 尾本きよか, 重田浩一郎, 横田京子, 小野倫子, 伊東紘一: へき地診療における臨床検査の実施状況—自治医科大学卒業医師に対するアンケート調査から—. 臨床病理 49 (9): 911-916, 2001.
54. 中村みちる, 谷口信行, 川井夫規子, 横田京子, 小野倫子, 王 怡, 重田浩一郎, 尾本きよか, 鯉淵晴美, 伊東紘一: 超音波断層法による小児腎長径の計測—体位による計測値の変動について—超音波医学28 (6): J927-932, 2001.
55. 河野幹彦, 久保信彦, 谷口信行, 大原智子, 中村みちる, 渋谷泰寛, 尾本きよか, 重田浩一郎, 小野倫子, 鯉淵晴美, 伊東紘一: へき地診療における臨床検査の実施状況. 臨床病理 51 (4): 375-379, 2003.
56. 鯉淵晴美, 中村みちる, 谷口信行, 小野倫子, 野崎靖之, 白石裕比湖, 桃井真里子, 伊東紘一: 超音波検査が診断に有用であった肺葉外肺分画症の 1 例. 超音波医学 30 (3): j343-347, 2003.
57. 小野倫子, 谷口信行, 鯉淵晴美, 藤井康友, 尾本きよか, 中村みちる, 伊東紘一: ノカルジアによる軟部組織膿瘍の超音波像. 超音波医学 30 (4): J555-560, 2003.
58. 小野倫子, 谷口信行, 大澤正明, 小野口晃, 金子淑子, 中澤成公, 河野幹彦, 伊東紘一: 内臓脂肪蓄積の指標としての腸間膜厚の有用性に関する検討. 超音波医学 30 (6): J725-733, 2003.
59. 内田章文, 重田浩一郎, 谷口信行, 尾本きよか, 小野倫子, 金潤哲, 中村みちる, 王怡, 伊東紘一: 速度プロファイル法を用いた頸動脈血流量の検討—食事摂取による変化—. 超音波医学 30 (2): J191-197, 2003.
60. 鯉淵晴美, 中村みちる, 谷口信行, 小野倫子, 藤井康友, 重田浩一郎, 尾本きよか, 安里満信, 伊東紘一: 超音波による小児正常胸腺描出率の検討. 超音波医学 31 (2): J97-101, 2004.
61. 鯉淵晴美, 中村みちる, 中島尚美, 金井孝裕, 谷口信行, 伊東紘一: 膀胱尿管逆流の発見診断に超音波検査が有用であった 2 症例. 小児内科 37 (6): 842-845, 2005.
62. 豊辻智則, 谷口信行, 小野倫子, 大澤正明, 伊東紘一: 喫煙による血管の硬さの検討. 超音波テクノ

- 17: 61-64, 2005.
63. 黒崎仁寛, 藤井康友, 谷口信行: Ultrasound Image of the Month: 異所性尿管瘤. Jpn J Med Ultrasonics 33: 239-240, 2006.
 64. 佐藤正和, 藤井康友, 谷口信行, 安斎仁郎, 入江喬介, 伊東紘一: 超音波照射システムの開発. 超音波医学33 (2): 257, 2006.
 65. 山口恵三, 石井良和, 岩田守弘, 渡邊直樹, 上原信之, 保嶋 実, 葛西 猛, 諏訪部 章, 山端久美子, 賀来満夫, 金光敬二, 今福裕司, 西山恭子, 村上正巳, 四方田幸恵, 谷口信行, 山田俊幸, 野村文夫, 渡邊正治, 菅野治重, 相原雅典, 前崎繁文, 橋北義一, 近藤成美, 三澤成毅, 堀内 啓, 田澤庸子, 中島秀喜, 竹村 弘, 岡田正彦, 山崎房子, 堀井俊伸, 前川真人, 馬場尚志, 石郷 潮美, 藤田直久, 小森敏明, 一山 智, 飯沼由嗣, 前田重隆, 山中喜代治, 村田葉子, 松尾収二, 河野 久, 木下承皓, 藤田 準, 根ヶ山 清, 村瀬光春, 宮本仁志, 草野展周, 三原栄一郎, 板羽秀之, 小野順子, 吉村尚江, 柳原克紀, 松田淳一, 犀川哲典, 平松和史, メロペン特定使用成績調査(全国感受性)研究会: Meropenemを含む各種注射用抗菌薬に対する2006年臨床分離株の感受性サーベイランス. Jpn J Antibiotics 60 (6): 344-377, 2007.
 66. 鯉淵晴美, 紺野啓, 桃谷孝之, 四元茂, 谷口信行: 静脈管開存症の一例. 超音波医学 35: 573-575, 2008.
 67. 田中幸子, 松尾 汎, 谷口信行, 尾崎俊也, 金田 智, 遠田栄一, 長束一行, 原田烈光, 平井都始子, 矢坂正弘, 日本超音波医学会用語・診断基準委員会: 超音波による頸動脈病変の標準的評価法(案). 超音波医学 35 (2): 202-218, 2008.
 68. 池ノ谷紘平, 青木葉子, 釜田康行, 長嶋孝夫, 上村健, 岩本雅弘, 吉尾卓, 岡崎仁昭, 簗田清次, 谷口信行: 側頭動脈エコーが診断に有用であった側頭動脈炎の一例. 関東リウマチ 42: 87-92, 2009.
 69. 倉井順子, 大澤正明, 武井ひろみ, 宮澤 義, 秋葉 新, 嶋田 勇, 谷口信行: 被検者の臥位方向による心エコー描出能の比較検討. 超音波医学 36 (4): 491-496, 2009.
 70. 鈴木章文, 関根良介, 横山 卓, 杉山照幸, 岡崎洋雄, 小形幸代, 間中一至, 熊谷秀規, 中山雅之, 江橋正浩, 小島正幸, 伊藤紘一, 片岡秀樹, 大津秀穂, 薄井尊信, 谷口信行, 尾本きよか, 亀崎豊美: 小型ユビキタス超音波検査診断装置のへき地・地域医療ならびに救急医療における効果と問題点に関する研究. 映像情報Medical 41(2): 198-207, 2009.
 71. 山口恵三, 大野 章, 石井良和, 館田一博, 岩田守弘, 神田 誠, 秋沢宏次, 清水 力, 今信一郎, 中村克司, 松田啓子, 富永眞琴, 中川卓夫, 杉田暁大, 伊藤辰美, 加藤 純, 諏訪部 章, 山端久美子, 川村千鶴子, 田代博美, 堀内弘子, 方山揚誠, 保嶋 実, 三木 誠, 林 雅人, 大久保俊治, 豊嶋俊光, 賀来満夫, 関根今生, 塩谷譲司, 堀内 啓, 田澤庸子, 米山彰子, 熊坂一成, 小池和彦, 近藤成美, 三澤成毅, 村田 満, 小林芳夫, 岡本英行, 山崎堅一郎, 岡田 基, 春木宏介, 菅野治重, 相原雅典, 前崎繁文, 橋北義一, 宮島栄治, 住友みどり, 齋藤武文, 山根伸夫, 川島千恵子, 秋山隆寿, 家入蒼生夫, 山本芳尚, 岡本友紀, 谷口信行, 尾崎由基男, 内田 幹, 村上正巳, 犬塚和久, 権田秀雄, 山口育男, 藤本佳則, 入山純司, 浅野裕子, 源馬 均, 前川真人, 吉村 平, 中谷 中, 馬場 尚志, 一山 智, 藤田信一, 岡部英俊, 茂籠邦彦, 重田雅代, 吉田治義, 山下政宣, 飛田征男, 田窪孝行, 日下部 正, 正木浩哉, 平城 均, 中矢秀雄, 河原邦光, 佐野麗子, 松尾収二, 河野 久, 湯月洋介, 池田紀男, 井戸向昌哉, 相馬正幸, 山本 剛, 木下承皓, 河野誠司, 岡 三喜男, 草野展周, 桑原正雄, 岡崎俊朗, 藤原弘光, 太田博美, 長井 篤, 藤田 準, 根ヶ山 清, 杉浦哲朗, 上岡樹生, 村瀬光春, 山根誠久, 仲宗根 勇, 岡山昭彦, 青木洋介, 草場 耕二, 中島由佳里, 宮之原弘晃, 平松和史, 犀川哲典, 柳原克紀, 松田淳一, 河野 茂, 康 東天, 小野順子, 真柴 晃一: 2007年に全国72施設から分離された臨床分離株12,919株の各種抗菌薬に対する感受性サーベイランス. Jpn J Antibiotics 62 (4): 346-370, 2009.
 72. 池ノ谷紘平, 青木葉子, 釜田康行, 長嶋孝夫, 上村 健, 岩本雅弘, 吉尾 卓, 岡崎仁昭, 簗田清次, 谷口信行: 側頭動脈エコーが診断に有用であった側頭動脈炎の一例. 関東リウマチ42: 87-92, 2009.
 73. 大澤正明, 倉井順子, 武井ひろみ, 宮澤 義, 秋葉 新, 嶋田 勇, 谷口信行: パーキンソン治療剤における心臓弁線維化の評価. 自治医科大学臨床検査技師年報 32: 16-17, 2010.
 74. 松永宏明, 小谷和彦, 石橋和久, 鯉淵晴美, 中澤晶子, 藤井康友, 紺野 啓, 尾本きよか, 山田俊幸, 河野幹

- 彦, 谷口信行：離島で経験した劇症1型糖尿病の2例. 自治医科大学紀要 33, 135-140, 2011.
75. 宮本倫聡, 小谷和彦, 紺野啓, 山田俊幸, 石橋俊, 谷口信行：総頸動脈の血管径と冠動脈疾患の関連. 臨床病理 59 (7)：643-648, 2011.
 76. 谷口信行：生理検査の特殊性と医療安全—特に超音波検査業務の安全管理—. 臨床病理 59 (3)：305-8, 2011.
 77. 山口恵三, 石井良和, 岩田守弘, 渡邊直樹, 品川雅明, 保嶋 実, 諏訪部 章, 黒田牧子, 賀来満夫, 北川美穂, 金光敬二, 今福裕司, 村上正巳, 四方田幸恵, 谷口信行, 山田俊幸, 野村文夫, 菅野治重, 前崎繁文, 橋北義一, 近藤成美, 三澤成毅, 堀内 啓, 田澤庸子, 中島秀喜, 竹村 弘, 岡田正彦, 堀川良則, 前川真人, 名倉理教, 八木哲也, 馬場尚志, 石郷 潮美, 藤田直久, 小森敏明, 一山 智, 山中喜代治, 村田葉子, 松尾収二, 河野 久, 河野誠司, 木下承皓, 田港朝彦, 根ヶ山 清, 村瀬光春, 宮本仁志, 草野展周, 能勢資子, 横崎 典哉, 板羽秀之, 松永 彰, 吉村尚江, 河野 茂, 柳原克紀, 松田淳一, 犀川哲典, 平松和史, メロペン特定使用成績調査(全国感受性)研究会：Meropenemを含む各種注射用抗菌薬に対する2009年臨床分離株の感受性サーベイランス. Jpn J Antibiotics 64(2)：53-95, 2011.
 78. 宮本倫聡, 小谷和彦, Uurtuya Shuumarjav, 大竹章文, 曹景文, 紺野 啓, 谷口信行：角度補正による最大流速の過大評価. 超音波医学 39(6)：627-630, 2012.
 79. 山口恵三, 大野 章, 石井良和, 館田一博, 岩田守弘, 秋沢宏次, 清水 力, 林 右, 賀来満夫, 國島広之, 北川美穂, 三木 誠, 川村千鶴子, 保嶋 実, 田代博美, 堀内弘子, 方山揚誠, 諏訪部 章, 黒田牧子, 菊地顕次, 黒木 悟, 平山 克, 高橋俊明, 後藤孝則, 森兼啓太, 太田玲子, 中川卓夫, 森屋恭爾, 村田 満, 米山彰子, 近藤成美, 三澤成毅, 関根今生, 塩谷讓司, 中山智祥, 矢越美智子, 堀内 啓, 田澤庸子, 菅野治重, 相原雅典, 山崎堅一郎, 岡本英行, 春木宏介, 矢澤淳子, 長野永子, 岡田 基, 福田安子, 五十里博美, 前崎繁文, 橋北義一, 住友みどり, 宮島栄治, 齋藤武文, 谷口信行, 菱沼 昭, 山本芳尚, 岡本友紀, 山根伸夫, 丸山 亮, 川島千恵子, 村上正巳, 四方田 幸恵, 町田哲男, 尾崎由基男, 内田 幹, 馬場 尚志, 杉浦 康行, 近藤 好, 山田貴子, 権田秀雄, 山口育男, 赤堀利行, 上村桂一, 前川真人, 吉村 平, 中谷 中, 松島佳子, 登 勉, 藤本 佳則, 浅野裕子, 森永朝美, 藤田信一, 千田靖子, 飛田征男, 山下政宣, 吉田治義, 一山 智, 岡部 英俊, 重田雅代, 清水 馨, 正木浩哉, 平城 均, 中矢秀雄, 田窪孝行, 日下部 正, 東山智宣, 吉多仁子, 森下 裕, 松尾収二, 河野 久, 福田砂織, 佐野麗子, 湯月洋介, 池田紀男, 井戸向昌哉, 山本 剛, 木下承皓, 河野誠司, 土井正男, 渡部八重子, 清水里美, 岡 三喜男, 小橋吉博, 草野展周, 藤原弘光, 室田博美, 森下奨太, 長井 篤, 森山英彦, 谷口由紀, 根ヶ山 清, 村尾孝児, 宮本仁志, 杉浦 哲朗, 森田珠恵, 藤 洋美, 松永 彰, 康 東天, 清祐麻紀子, 真柴 晃一, 柳原克紀, 松田淳一, 河野 茂, 青木洋介, 永沢善三, 草場 耕二, 平松和史, 犀川哲典, 宮之原弘晃, 佐伯裕二, 高城一郎, 岡山昭彦, 山根誠久, 仲宗根 勇, レボフロキサシンサーベイランスグループ：2010年に全国72施設の臨床材料から分離された12,866株の各種抗菌薬に対する感受性サーベイランス. Jpn J Antibiotics 65 (3)：181-206, 2012.
 80. 谷口信行 (班長)：超音波検査者が安全・快適で健康的に働くための提言—作業関連筋骨格系障害と目の障害を予防するための機器と作業環境—. 超音波医学http://www.jsum.or.jp/committee/uesc/pdf/anzen_web.pdf, 2012.
 81. 谷口信行 (班長)：超音波検査者が安全・快適で健康的に働くための提言—ダイジェスト—. 超音波医学 39 (6) 649-658, 2012.
 82. 新田尚隆, 石黒保直, 笹沼英紀, 安田是和, 谷口信行, 秋山いわき：超音波照射による生体組織の安全性評価—動物実験用システム. 電子情報通信学会技術研究報告(超音波) 113(167)：37-40, 2013.
 83. 谷口信行, 甲状腺結節性疾患有所見率等調査委員会：平成24年度甲状腺結節性疾患有所見率等調査. 乳腺甲状腺超音波医学 2 (3)：33-43, 2013.
 84. 谷口信行, 甲状腺結節性疾患有所見率等調査委員会：福島県以外の3地域で行った超音波による小児甲状腺検診の調査結果. 日本甲状腺学会雑誌 4(2)：122-125, 2013.
 85. 入江喬介, 田川憲男, 田邊将之, 守屋正, 吉澤昌純, 飯島高志, 伊東紘一, 横山卓, 熊谷秀規, 谷口信行：100 MHz帯超音波の石英ファイバへの伝搬. 超音波医学 41 (4)：553-561, 2014.
 86. 宮本恭子, 宮本倫聡, 谷口信行, 中澤成公, 神田美穂：大型血管炎の超音波検査. 臨床病理 62 (9)：

- 868-875, 2014.
87. 宮本倫聡, 小谷和彦, **谷口信行**: 糖尿病と関係する脳血管障害についてー頸動脈超音波検査の臨床的意義. 臨床検査 58 (6): 731-739, 2014.
 88. 茂木伸之, 鈴木一弥, 酒井一博, 鈴木浩之, 尾本きよか, **谷口信行**: 腹部および心臓超音波検査における負担の大きい作業姿勢の分析. 労働科学 90 (3): 94-104, 2014.
 89. **谷口信行**, 甲状腺結節性疾患有所見率等調査委員会: 平成25年度甲状腺結節性疾患有所見率等調査. 乳腺甲状腺超音波医学 3 (3): 32-35, 2014.
 90. 山口恵三, 石井良和, 館田一博, 岩田守弘, 渡邊 直樹, 品川雅明, 萱場広之, 木村正彦, 諏訪部 章, 賀来満夫, 阿部裕子, 金光敬二, **谷口信行**, 村上正巳, 前崎繁文, 河村 亨, 野村文夫, 渡邊正治, 菅野治重, 堀内啓, 田澤庸子, 近藤成美, 三澤成毅, 竹村 弘, 中島秀喜, 松戸隆之, 藤本佳則, 石郷潮美, 後藤博一, 渡辺修, 八木哲也, 嶋岡 菜実, 三鴨廣繁, 山岸由佳, 藤田 直久, 小森敏明, 一山 智, 河野誠司, 中山 章文, 中村文彦, 河野 久, 福田砂織, 草野 展周, 能勢 資子, 横崎 典哉, 小野寺 一, 村尾 孝児, 根ヶ山 清, 西宮達也, 宮本仁志, 松永 彰, 吉村尚江, 河野 茂, 柳原克紀, 平松和史, メロペン特定使用成績調査(全国感受性)研究会: Meropenemを含む各種注射用抗菌薬に対する2012年臨床分離株の感受性サーベイランス. Jpn J Antibiotics: 67 (2) 73-107, 2014.
 91. 亀田 徹, **谷口信行**: 急性期診療におけるpoint-of-care ultrasonography. 日救急医学会誌, 26: 91-104, 2015.
 92. 神田美穂, 紺野 啓, 宮本恭子, **谷口信行**: 超音波工学の基礎 アーチファクト. 乳腺甲状腺超音波医学 4 (3): 46-52, 2015.
 93. 金谷裕司, **谷口信行**: 整形外科・外傷領域における POCUS (point of care ultrasound) の利用. 臨床病理 63 (6): 725-32, 2015.
 94. 柳田浩己, 安藤明彦, 岡田健太, 長坂昌一郎, 石橋 俊, 小谷和彦, 長谷川 修, **谷口信行**: 健常者の末梢神経伝導検査に与える年齢・身長・性別の影響 自治医科大学附属病院における基準範囲の設定も含めて. 自治医科大学紀要 38: 27-39, 2015.
 95. 山本さやか, 鯉淵晴美, 小谷和彦, **谷口信行**, 山田俊幸: 家族性高アルカリホスファターゼ血症の同胞例: 食事負荷への奇異な反応. 臨床病理 65 (9): 988-991, 2017.
 96. 多田明良, **谷口信行**: ヘキ地診療におけるPoint-of-Care超音波検査の有用性に関する研究. 超音波医学 45 (5): 495-502, 2018.
 97. 今泉美彩, 祖父江友孝, **谷口信行**, 宮川めぐみ, 百瀬琢磨, 吉永信治, 喜多村紘子, 大久保利晃: 東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学研究 特に甲状腺がん調査について. 長崎医学会雑誌93巻特集: 261-263, 2018.
 98. 若松弘之, 築瀬直穂美, 日高裕介, 鯉淵晴美, 岩津好隆, 山本さやか, **谷口信行**, 山田俊幸: 免疫固定電気泳動法システムでのIgA型M蛋白の軽鎖同定における問題点. 臨床病理 67 (7): 675-678, 2019.
 99. 若松弘之, 大内 輝, 津畑宏明, 岡崎幸生, 澤田威男, **谷口信行**, 山田俊幸: 人間ドックで経験した成人の一過性高ALP血症. 人間ドック 35 (2): 170-176, 2020.
 100. 柿沼藍, 荒川まい, 鯉淵晴美, 中里恵梨香, 木村由美子, 大澤正明, 山本さやか, 紺野啓, 山田俊幸, **谷口信行**: 超音波ゲルボトルとウォーマーの細菌学的汚染と院内感染対策. 超音波医学 48 (4): 187-192, 2021.

B) 学会発表(和文, 英文とも)

1. 谷口信行, 伊東紘一: 腎充実性腫瘍の超音波像. 第46回日本超音波医学会 論文集: 803-804, 1985.
2. 谷口信行: 乳頭炎の1例. 日本消化器病学会雑誌(0446-6586) 81 (5):1329 (1984.05)
3. 伊東紘一, 森博昭, 浅岡善雄, 斉藤毅, 鈴木修, 谷口信行, 安田是和: Spectral-Shift Zero-Crossing法に関する研究(第二報) 一体表臓器の周波数依存減衰一. 第50回日本超音波医学会論文集: 215-216, 1987.
4. 谷口信行, 伊東紘一, 森博昭: Spectral-Shift Zero-Crossing法による周波数依存性減衰に関する研究(第4報) 一正常骨格筋への応用一. 第51回日本超音波医学会論文集: 439-440, 1987.
5. 谷口信行, 伊東紘一, 森博昭: 限局性脾病変の超音波像. 第51回日本超音波医学会論文集: 885-886, 1987.
6. 伊東紘一, 谷口信行, 森博昭, 安田是和: 2D-Doppler 法による腫瘍血流信号の評価に関する研究. 第51回日本超音波医学会論文集:17-18, 1987.
7. 浅岡善雄, 伊東紘一, 森博昭, 谷口信行, 金澤暁太郎: 乳腺腫瘍におけるgainの変化に伴うエコーヒストグラムの最多階調値移動について. 第52回日本超音波医学会論文集: 223-224, 1988.
8. 谷口信行, 森博昭, 伊東紘一: 周波数依存減衰の臨床的応用 一脂肪肝における脾の検討一. 第52回日本超音波医学会論文集: 125-126, 1988.
9. Mori H, Itoh K, Taniguchi N, Yasuda Y: Frequency dependent attenuation of the liver tumors. International Congress on Ultrasound in Medicine and Engineering, Beijing, China, Aug. 23-25,1988.
10. Mori H, Itoh K, Taniguchi N, Yasuda Y: Studies on the frequency dependent attenuation of the liver tumors. World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology, Washington, D.C Oct. 17-21, 1988.
11. Itoh K, Taniguchi N, Mori H, Asaoka Y: Studies on the frequency dependent attenuation in normal thyroid and breast and in diseases, using Spectral-Shift Zero-Crossing. World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology, Washington, D.C Oct. 17-21,1988.
12. 谷口信行, 伊東紘一 倉松俊弘 柳沢正義: Spectral-Shift Zero-Crossing 法による周波数依存減衰に関する研究 一新生児脳への応用一. 第7回日本脳・神経超音波学会, 奈良, 1988年.
13. 谷口信行, 伊東紘一 中沢成公 森博昭: 胸・腹壁の減衰値の推定法 一肝内の周波数信号を利用して一. 第53回日本超音波医学会論文集 パネルディスカッション: 1988.
14. 谷口信行, 伊東紘一: 副腎腫瘍の超音波像. 第35回日本臨床病理学会総会 山口, 1988年.
15. 伊東紘一, 谷口信行, 森博昭: 周波数依存減衰による音響特性に関する研究. 第27回日本ME学会, 名古屋, 1988年.
16. 谷口信行, 伊東紘一, 中沢成公, 森博昭: 脂肪肝の肝エコーレベルの測定 一体表組織の減衰量を補正して一. 第54回日本超音波医学会論文集: 203-204, 1989.
17. 谷口信行, 都田潤一郎, 伊東紘一: 超音波による横隔膜像の観察および呼吸による厚さの変化の検討. 第55回日本超音波医学会論文集: 529-530, 1989.
18. 谷口信行, 伊東紘一: Spectral-Shift Zero-Crossing 法による周波数依存性減衰に関する研究 一皮下脂肪への応用一. 第55回日本超音波医学会論文集: 657-658, 1989.
19. 谷口信行, 伊東紘一, 中村みちる 鈴木修 河合忠:超音波による副腎過形成と腫瘍・腺腫の鑑別診断. 第37回臨床病理学会, 東京, 1990.
20. 谷口信行, 伊東紘一, 中村みちる 鈴木修: 超音波像による副腎腫瘍の鑑別について 一腺腫と転移性腫瘍一. 第57回日本超音波医学会論文集: 145-146, 1990.
21. 谷口信行, 伊東紘一, 福井順一, 中村みちる, 鈴木修: 超音波像による横隔膜厚の検討一臥位と立位における比較について一. 第57回日本超音波医学会講演論文集, 195-196, 1990.
22. 秋山いわき, 中村みちる, 谷口信行, 伊東紘一: フラクタルによるBモード像の解析と組織診断への

- 可能性 第57回日本超音波医学会論文集：345-346, 1990.
23. 中村みちる, 谷口信行, 伊東紘一, 柳沢正義: 幼少児卵巣の超音波所見—正常児と早発乳房の比較—. 第57回日本超音波医学会論文集：411-412, 1990.
 24. 伊東紘一, 望月剛, 広瀬昌紀, 仲野忠行, 赤羽睦弘, 佐藤郁夫, 鈴木修, 谷口信行, 中村みちる: 三次元超音波診断装置の開発と臨床応用 第57回日本超音波医学会論文集：535-536, 1990.
 25. 植村淳子, 中村みちる, 谷口信行, 大林民典, 伊東紘一: 神経鞘腫 4 症例の超音波像所見について. 第57回日本超音波医学会論文集：659-660, 1990.
 26. 森 博昭, 伊東紘一, 谷口信行, 浅岡善雄: 乳腺扁平上皮癌と線維腺腫の並存症例の周波数依存減衰およびヒストグラムについて. 第57回日本超音波医学会論文集：235-236, 1990.
 27. 秋山いわき, 中村みちる, 谷口信行, 伊東紘一: フラクタル次元によるびまん性肝疾患の識別. 第58回日本超音波医学会論文集：565-566, 1991.
 28. 伊東紘一, 原田烈光, 岡田 孝, 宮坂好一, 加西千広, 鈴木 修, 谷口信行, 中村みちる, 川井夫規子: 二次元血流速度ベクトル計測法の臨床応用 第58回日本超音波医学会論文集, 903-904, 1991.
 29. 伊東紘一, 望月 剛, 広瀬昌紀, 仲野忠行, 赤羽睦弘, 佐藤郁夫, 谷野均, 中村昌平, 谷口信行, 中村みちる: 三次元超音波診断装置の開発と臨床応用 (第 2 報). 第58回日本超音波医学会論文集：905-906, 1991.
 30. 伊東紘一, 谷口信行, 中村みちる, 川井夫規子: 二次元血流速度ベクトル計測法の臨床応用. 第38回日本臨床病理学会総会, 旭川, 1991.
 31. 川井夫規子 谷口信行, 中村みちる 伊東紘一: 限局性肝・脾結核腫の 2 症例 第59回日本超音波医学会論文集：813-814, 1991.
 32. 中村みちる, 谷口信行, 伊東紘一, 松井 陽: 胆道閉鎖症における超音波検査の有用性. 第58回日本超音波医学会論文集：145-146, 1991.
 33. 中村みちる 谷口信行, 川井夫規子 森博昭 矢田宏 伊東紘一: 副甲状腺過形成と腺腫の超音波像について 第59回日本超音波医学会論文集：405-406, 1991.
 34. 谷口信行, 伊東紘一, 森 博昭, 中村みちる, 川井夫規子, 鈴木 修: リンパ管腫の超音波像. 第58回日本超音波医学会論文集：641-642, 1991.
 35. 谷口信行, 伊東紘一, 森 博昭, 中村みちる, 鈴木 修: 超音波像による正中頸嚢胞の検討. 第58回日本超音波医学会論文集：313-314, 1991.
 36. 谷口信行, 伊東紘一, 菅原淑子, 川井夫規子, 森 博昭, 中村みちる, 鈴木 修: ヒストグラムによる脂肪肝の肝腎コントラストの評価法と問題点について. 第59回日本超音波医学会論文集：503-504, 1991.
 37. 中村みちる, 谷口信行, 川井夫規子, 森 博昭, 矢田 宏, 伊東紘一: 副甲状腺過形成と腺腫の超音波像について. 第59回日本超音波医学会論文集：405-406, 1991.
 38. 矢田 宏, 金澤暁太郎, 谷口信行, 中村みちる, 川井夫規子, 森 博昭, 伊東紘一: 甲状腺結節に対する高周波カラー Doppler 断層法の使用経験. 第59回日本超音波医学会論文集：411-412, 1991.
 39. Itoh K, Mochizuki T, Hirose M, Nlano T, Akahane M, Taniguchi N, Nakamura M, kawai F, Satoh I, Nakamura S: Development of three dimensional ultrasound equipment and clinical application. World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology, Copenhagen, Sep 1-6, 1991.
 40. Taniguchi N, Fukui J, Itoh K, Suzuki O, Nakamura M: Two cases of lung cancer detected with color-flow mapping. World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology, Copenhagen, Sep 1-6, 1991.
 41. 秋山いわき, 中村みちる, 谷口信行, 伊東紘一: Bモード画像のフラクタル次元について 第60回日本超音波医学会論文集：331-332, 1992.
 42. 伊東紘一 谷口信行, 中村みちる, 川井夫規子, 赤羽睦弘, 笠原英司, 広瀬昌紀, 望月 剛, 入江喬介, 河西千広: 三次元超音波装置の開発と臨床応用 —ビーム積算の臨床的意義について—. 第61回日本

- 超音波医学会論文集：543-544, 1992.
43. 伊東紘一, 谷口信行, 望月剛, 広瀬昌紀, 赤羽睦弘, 笠原英司, 入江喬介, 河西千広：三次元超音波装置の開発 第60回日本超音波医学会論文集：133-134, 1992.
 44. 堀見博之, 長谷川繼夫, 谷口信行, 伊東紘一：ドプラエコーによる透析用シャント血流量の検討. 第60回日本超音波医学会論文集：173-174, 1992.
 45. 川井夫規子, 谷口信行, 中村みちる, 森 博昭, 伊東紘一：後腹膜腫瘍の超音波像について. 第60回日本超音波医学会論文集：247-248, 1992.
 46. 中村みちる, 谷口信行, 川井夫規子, 大原智子, 伊東紘一：小児顎下腺エコーレベルの検討. 第61回日本超音波医学会論文集：279-280, 1992.
 47. 森 博昭, 伊東紘一, 谷口信行, 中村みちる, 川井夫規子, 金澤暁太郎, 浅岡善雄 水沼洋文, 中澤成公：乳癌の周波数依存減衰について. 第60回日本超音波医学会論文集：213-214, 1992.
 48. 谷口信行, 中村みちる, 川井夫規子, 伊東紘一, 森博昭, 矢田宏：カラードプラ法による副甲状腺腫瘍の検討. 第60回日本超音波医学会論文集：341-342, 1992.
 49. 谷口信行, 伊東紘一, 中村みちる, 川井夫規子, 大原智子, 森博昭：周波数依存減衰による腎腫瘍の検討. 第61回日本超音波医学会論文集：213-214, 1992.
 50. 長谷川剛, 安田是和, 近藤恵, 谷口信行, 金澤暁太郎：超音波検査が診断に有用であった右副腎ミエロリポーマの1例, 日本超音波医学会第4回関東甲信越地方会, 東京, 1993年6月.
 51. 川井夫規子, 谷口信行, 中村みちる, 大原智子, 森博昭, 伊東紘一：超音波による悪性黒色腫の肝転移像の検討. 第62回日本超音波医学会論文集：313-314, 1993.
 52. 中村みちる, 谷口信行, 川井夫規子, 伊東紘一, 松井陽：新生児腸捻転の超音波所見, 第63回日本超音波医学会論文集：301-302, 千葉, 1993年11月8-10日.
 53. 谷口信行, 伊東紘一：三次元表示法の心, 血管系への応用. 第24回循環器生理, 代謝イメージング研究会, 筑波大学, 1993年3月.
 54. 谷口信行, 伊東紘一, 間藤方雄ほか：中国北京での腹部超音波検診. 消化器集団検診31 (5)：134-135, 1993.(1993.09)
 55. 谷口信行, 伊東紘一, 森 博昭, 中村みちる, 川井夫規子, 大原智子：ラット脂肪肝の音響特性に関する研究一周波数依存減衰およびエコー輝度の検討. 第63回日本超音波医学会論文集：519-520, 1993. 千葉, 1993年11月8-10日.
 56. 谷口信行, 伊東紘一, 中村みちる, 川井夫規子：ファントム実験による脂肪肝のエコー輝度の関する検討-第63回日本超音波医学会論文集：469-470, 千葉, 1993年11月8-10日.
 57. 矢田 宏, 山田 薫, 水沼洋文, 金澤暁太郎, 谷口信行, 伊東紘一：甲状腺濾胞癌の術前診断の可能性について；第4回乳腺, 甲状腺ドプラ研究会, 那覇市, 1993年3月.
 58. 秋山いわき, 大矢晃久, 中村みちる, 谷口信行, 伊東紘一：組織構造のフラクタル性と超音波像について. 第64回日本超音波医学会講演抄録集：284, 山口, 1994年11月30日-12月2日.
 59. 伊東紘一, 谷口信行, 川井夫規子, 中村みちる, 尾本きよか, 山形道子, 中村昌平：Color Doppler Energy (CDE)法による各種臓器・腫瘍性病変内の血流描出の意義について. 第64回日本超音波医学会講演抄録集：168, 山口, 1994年11月30日-12月2日.
 60. 伊東紘一, 谷口信行, 川井夫規子, 中村みちる, 尾本きよか, 山形道子：超音波画像診断支援システムに関する研究-同時生起行列によるテクスチャー解析-. 第64回日本超音波医学会講演抄録集：270, 山口, 1994年11月30日-12月2日.
 61. 川井夫規子, 伊東紘一, 谷口信行, 中村みちる：ラットにおけるSiderrotic Liverの音響組織特性に関する研究-周波数依存減衰およびエコー輝度について-. 第64回日本超音波医学会講演抄録集：325, 山口, 1994年11月30日-12月2日.
 62. 森 博昭, 伊東紘一, 谷口信行, 大塚 紳, 水沼洋文, 金澤暁太郎：乳癌の音響組織特性と組織型に関する研究一周波数依存減衰・エコー輝度および縦横比について-. 第64回日本超音波医学会講演抄録集：175, 山口, 1994年11月30日-12月2日.

63. **谷口信行**, 伊東紘一: 超音波のColor Doppler Energy 法と速度表示のColor Doppler法との比較検討—腎血管の描出能について. 第35回日本脈管学会: 東京, 1994年10月.
64. **谷口信行**, 伊東紘一, 本多正徳, 川井夫規子, 中村みちる, 大林民典: 高安動脈炎の鎖骨下動脈病変の検討—超音波検査と血管造影, および頭骨動脈の脈拍との比較—. 第64回日本超音波医学会講演抄録集: 265, 山口, 1994年11月30日-12月2日.
65. 山形道子, **谷口信行**, 川井夫規子, 中村みちる, 伊東紘一: 結核性心膜炎により心タンポナーデを起こした症例の上大静脈波形の観察—心嚢液穿刺後の変化—. 日本超音波医学会第5回関東甲信越地方会: 東京, 1994年9月.
66. 山形道子, **谷口信行**, 川井夫規子, 中村みちる, 伊東紘一, 金澤暁太郎: 孤立性の解離性上腸間膜動脈瘤. 日本超音波医学会第5回関東甲信越地方会, 東京, 1994年9月.
67. **谷口信行**, 伊東紘一, 中村みちる, 川井夫規子: 超音波による血管の連続性の描出についてColor Doppler Energy (CDE)法と速度表示CD法の比較. 第41回日本臨床病理学会: 盛岡, 1994年10月.
68. 中村みちる, **谷口信行**, 川井夫規子, 伊東紘一: 正常小児顎下腺超音波像の年齢的变化. 第41回日本臨床病理学会, 盛岡, 1994年10月.
69. **Taniguchi, N.** and Itoh K: Comparative study of carotid arterial lesions in Takayasu's arteritis by ultrasonography and angiography. 36th Annual World Congress, International College of Angiology, NewYork, July, 1994.
70. **谷口信行**, 伊東紘一他: 同時性起行列におけるテクスチャー解析を用いた超音波像の検討—びまん性甲状腺疾患への応用. 日本超音波医学会研究発表会講演論文集65回 120, 1995.
71. 秋山いわき, **谷口信行**, 伊東紘一: 超音波像を用いた組織構造の自己相似性の描出—光学顕微鏡を利用した超音波像のシミュレーション—. 第67回日本超音波医学会講演抄録集: 286, 横浜, 1995年11月22-24日.
72. 川井夫規子, 伊東紘一, **谷口信行**, 中村みちる: ラットにおける鉄沈着の音響特性に関する研究—一周波数依存減衰およびエコー輝度の検討—. 第42回日本臨床病理学会総会: 宇都宮, 1995.
73. 川井夫規子, 伊東紘一, **谷口信行**, 中村みちる, 坂入順子, 横田京子: ヒト鉄沈着肝の音響特性に関する研究—一周波数依存性減衰およびエコー輝度の検討—. 第67回日本超音波医学会講演抄録集: 270, 横浜, 1995年11月22-24日.
74. 川井夫規子, 中村みちる, 横田京子, 坂入順子, **谷口信行**, 伊東紘一: 頸部食道病変の超音波像—甲状腺との位置関係を中心に—. 第66回日本超音波医学会講演抄録集: 179, 1995. 横浜
75. 中村みちる, 川井夫規子, **谷口信行**, 伊東紘一: 転移性甲状腺腫瘍の超音波像: 第65回日本超音波医学会講演抄録集: 124, 福岡, 1995年5月17-19日.
76. 中村みちる, **谷口信行**, 川井夫規子, 伊東紘一: 小児膀胱尿管の超音波像: 第42回日本臨床病理学会総会: 宇都宮, 1995.
77. 中村みちる, **谷口信行**, 川井夫規子, 坂入順子, 横田京子, 伊東紘一: 無症状者における尿膜管遺残—超音波による検討—. 第66回日本超音波医学会講演抄録集: 330, 横浜, 1995年11月22-24日.
78. **谷口信行**: 日本超音波医学会「体表臓器における超音波所見の定量的評価に関する研究部会」体表臓器における音響パラメータ計測と組織性状診断—M側から—. 横浜, 1995年11月.
79. **谷口信行**, 伊東紘一, 川井夫規子, 中村みちる: 同時生起行列によるテクスチャー解析を用いた超音波像の検討—びまん性肝疾患への応用—. 第42回日本臨床病理学会総会, 宇都宮, 1995.
80. **谷口信行**, 伊東紘一, 川井夫規子, 中村みちる, 尾本きよか, 坂入順子, 横田京子, 矢田宏: 同時生起行列によるテクスチャー解析を用いた超音波像—びまん性肝疾患への応用—. 第66回日本超音波医学会講演抄録集: 260, 横浜, 1995年11月22-24日.
81. **谷口信行**, 伊東紘一, 川井夫規子, 中村みちる, 尾本きよか, 矢田 宏: 同時生起行列によるテクスチャー解析を用いた超音波像—びまん性甲状腺疾患への応用—. 第65回日本超音波医学会講演抄録集: 120, 福岡, 1995年5月17-19日.
82. **谷口信行**, 伊東紘一, 川井夫規子, 中村みちる, 尾本きよか, 矢田 宏: 同時生起行列によるテクスチャー

- 解析を用いた超音波像の検討—注目画素の距離および拡大率—。第66回日本超音波医学会講演抄録集：287，横浜，1995年11月22-24日。
83. **谷口信行**，伊東紘一，間藤方雄，陶其敏，孫炎，王豪：中国北京における肝癌のhigh risk group を対象とした超音波検診。第33回日本消化器集団検診学会消化器集検学会 仙台 1995（消化器集団検診34（2）：235）
 84. **谷口信行**，伊東紘一，中村みちる，川井夫規子，尾本きよか，坂入順子，横田京子，中村昌平，馬木清隆，小笠原正文：石灰化などの高輝度エコー部に見られたcome-tail artifactに似たDoppler-signal artifact：第66回日本超音波医学会講演抄録集：128，横浜，1995年11月22-24日。
 85. **谷口信行**，伊東紘一，中村みちる，川井夫規子，尾本きよか，高野隆一：Doppler 信号を用いた血管内血流の速度profile表示法および強度profile表示法。第66回日本超音波医学会講演抄録集：263，横浜，1995年11月22-24日。
 86. **谷口信行**，伊東紘一，高野隆一，中村みちる，川井夫規子，坂入順子，横田京子，尾本きよか，安田是和：超音波カラー Doppler法を用いた門脈血流プロファイルの検討。第66回日本超音波医学会講演抄録集：218，横浜，1995年11月22-24日。
 87. **谷口信行**，高野隆一，伊東紘一，安田是和，中村みちる，川井夫規子，宮本一夫，井上是和，小笠原正文：Doppler信号による血流速度profile 表示を用いた流量計測法。第66回日本超音波医学会講演抄録集：295，横浜，1995年11月22-24日。
 88. 高野隆一，**谷口信行**，伊東紘一，安田是和，中村みちる，川井夫規子，宮本一夫，井上是和，小笠原正文：Doppler信号を用いた流量計測法の検討。第66回日本超音波医学会講演抄録集：294，横浜，1995年11月22-24日。
 89. Akiyama I, **Taniguchi N** and Itoh K: On the echographic image of biological tissues with self-similarity structure, 22nd International Symposium on Acoustical Imaging Firenze, 4-6 Sep 1995.
 90. Nakamura M, **Taniguchi N**, Kawai F, Nakazawa Y and Itoh K: Age dependent change of submandibular echo level in children. Abstr of the 4th Congress of the 4th AFSUM 1995, Beijing, 135.
 91. **Taniguchi N**, Itoh K, Nakamura M, Kawai F and Irie T.: Tissue characterization of renal tumors by frequency dependent attenuation value. Abstr of the 4th Congress of the 4th AFSUM 1995, Beijing, 74.
 92. Wang H, Sun Y, Zhang L, Yan G, Tao Q, Fen B, Peng, R, **Taniguchi N**, Itoh K, Nakamura N, Kawai F, Mato M. The examination of hepatic-cholangio system with B ultrasonography in 10350 subjects. Abstract of the 4th Congress of the 4th AFSUM 1995, Beijing.
 93. 中村みちる，川井夫規子，横田京子，**谷口信行**，伊東紘一：Pediatric US —泌尿器における注目点と注意点—。第68回日本超音波医学会講演抄録集：35，奈良，1996年11月20-22日。
 94. **谷口信行**，伊東紘一：超音波検査の記録保存と診療支援。第43回日本臨床病理学会総会 [シンポジウム] 抄録：47，浜松，1996。
 95. **谷口信行**，高野隆一，伊東紘一，中村みちる，川井夫規子，尾本きよか，小笠原正文，宮本一夫：カラー Doppler信号を用いた血管の二次元速度プロファイル作製とshear rateの算出 第68回日本超音波医学会講演抄録集：282，奈良，1996年11月20-22日。
 96. **谷口信行**，高野隆一，安田是和，伊東紘一，中村みちる，川井夫規子，坂入純子，横田京子，小野倫子，尾本きよか：血管の短軸像を用いた流量計測法—カラー Dopplerの速度表示を用いて—。第68回日本超音波医学会講演抄録集：281，奈良，1996年11月20-22日。
 97. 矢田 宏，**谷口信行**，中村みちる，川井夫規子，水沼洋文，大塚紳，王怡，金澤暁太郎，伊東紘一：カラー Doppler信号のパワーモード表示を用いた甲状腺の血流評価に関する検討 第68回日本超音波医学会講演抄録集：351，奈良，1996年11月20-22日。
 98. 伊東紘一，王 怡，程 相勇，秋山いわき，中島真人，**谷口信行**，川井夫規子，大塚 紳，水沼洋文，

- 金澤暁太郎：超音波画像による三次元自動検知システムを用いた乳腺腫瘍の自動抽出：第69回日本超音波医学会講演抄録集：642，東京，1997.
99. 金子淑子，谷口信行，中澤成公，小野口晃，大澤正明，中村みちる，川井夫規子，横田京子，王 怡，伊東紘一：腹腔動脈と上腸間膜動脈の血流速度の検討ー食事による変化についてー. 日本超音波医学会第8回関東甲信越地方会抄録集：21，大宮，1997年1月.
 100. 川井夫規子，伊東紘一，谷口信行，中村みちる，横田京子，小野倫子，尾本きよか：神経鞘腫の超音波像. 第70回日本超音波医学会，仙台，1997年11月. (超音波医学 24 (9)：1583，1997.)
 101. 川井夫規子，伊東紘一，谷口信行，中村みちる，横田京子，小野倫子，王 怡：頸動脈体腫瘍の超音波像：第69回日本超音波医学会講演抄録集：634，東京，1997.
 102. 中村みちる，横田京子，川井夫規子，王 怡，谷口信行，伊東紘一：正常新生児に見られる腎乳頭部高エコー像：第69回日本超音波医学会講演抄録集：625，東京，1997.
 103. 中村みちる，横田京子，陳 倩，泉 章夫，川井夫規子，谷口信行，王 怡，小野倫子，尾本きよか，伊東紘一：新生児に見られる腎乳頭部高エコー像（第2報）胎児，早期産児の検討も含めて. 超音波医学 24 (9)：1507，（第70回日本超音波医学会講演抄録集）仙台，1997年11月.
 104. 小野口晃，谷口信行，中澤成公，金子淑子，大澤正明，中村みちる，川井夫規子，横田京子，王 怡，伊東紘一：腎のびまん性腫大を示した原疾患についての検討 日本超音波医学会第8回関東甲信越地方会抄録集：22，大宮，1997年1月.
 105. 高野隆一，谷口信行，伊東紘一：Resistance index上昇を示す疾患としての腎糸球体結節性病変：第69回日本超音波医学会講演抄録集：614，東京，1997.
 106. 谷口信行：体表臓器における組織性状診断ー減衰についてー. 第3回体表臓器における超音波所見の定量的評価に関する研究部会，鬼怒川，1997年1月.
 107. 谷口信行：「減衰」体表臓器における減衰. 第4回体表臓器における超音波所見の定量的評価に関する研究部会 東京，1997年3月.
 108. 谷口信行：第6回超音波血流研究会：どれくらい細い血管の描出が可能か，東京，1997年6月14日.
 109. 谷口信行，伊東紘一：超音波による門脈血の流れの評価，平成8年度第3回循環器における流れの計測評価制御に関する研究会，東京，1997年1月.
 110. 谷口信行，伊東紘一：カラードプラ法でどの程度細い血管まで表示できるか：第69回日本超音波医学会講演抄録集：358，東京，1997.
 111. 谷口信行，伊東紘一，川井夫規子，王 怡，森 博昭：周波数依存減衰の臨床での有用性. 超音波医学 24 (9)：1223，（第70回日本超音波医学会講演抄録集），仙台，1997年11月.
 112. 谷口信行，伊東紘一，王 怡，高野隆一，中村みちる，川井夫規子，尾本きよか，伊藤貴司：受信波の中心周波数偏位を用いた生体内での減衰量計測：第69回日本超音波医学会講演抄録集：566，東京，1997.
 113. 程 相勇，秋山いわき，伊東紘一，王 怡，谷口信行，大塚 紳，水沼洋文，金澤暁太郎，中島真人：超音波エコー画像からの乳腺腫瘍の自動抽出：第69回日本超音波医学会講演抄録集：576，東京，1997.
 114. 王 怡，伊東紘一，谷口信行，川井夫規子，中村みちる，本多正徳：同時生起行列によるテクスチャ解析ー超音波画像拡大率，設定断面，周波数等の検討ー：第69回日本超音波医学会講演抄録集：575，東京，1997.
 115. 王 怡，伊東紘一，谷口信行，川井夫規子，中村みちる，横田京子：ファントムを用いた同時生起行列によるテクスチャ解析に関する研究 画像条件設定による特徴量の検討. 超音波医学 24 (9)：1476，（第70回日本超音波医学会講演抄録集）仙台，1997年11月.
 116. 山下圭輔，小西文雄，安田是和，石橋敏光，金澤暁太郎，谷口信行，伊東紘一：ドップラー超音波検査法による大腸癌肝転移例の肝血流量の評価. 第69回日本超音波医学会講演抄録集：407，東京，1997.
 117. 安田是和，石橋敏光，山下圭介，谷口信行，笠原小五郎，金澤暁太郎，伊東紘一：生体内の流れの評

- 価と臨床応用：カラードプラ法が腹部領域にもたらした影響．超音波医学 24 (9) : 1320. (第70回日本超音波医学会講演抄録集) 仙台, 1997年11月.
118. Cheng X.Y., I. Akiyama, K. Itoh, Y. Qang, **Taniguchi N.**, Ohtsuka S., and Mizunuma H.: Beast tumor diagnosis system using three dimensional ultrasonic echography. 19th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, Chicago IL USA, 30 Oct-2 Nov. 1997.
 119. 川井夫規子, 中村みちる, 尾本きよか, 横田京子, 小野倫子, **谷口信行**, 伊東紘一: 耳下腺腫瘍の超音波像の検討. 第71回日本超音波医学会, 横浜, 1998年5月10-12日. (超音波医学 25 (4) : 320, 1998.)
 120. 中村みちる, **谷口信行**, 川井夫規子, 横田京子, 小野倫子, 尾本きよか, 伊東紘一: 超音波カラードプラ法による門脈血流の検討ー血流プロファイル法を用いた流量を含めてー. 第71回日本超音波医学会, 横浜, 1998年5月10-12日. (超音波医学 25 (4) : 154, 1998.)
 121. 尾本きよか, 伊東紘一, 王 怡, **谷口信行**, 川井夫規子, 大塚 紳, 水沼洋文, 金澤暁太郎, 程 相勇, 秋山いわき: 超音波画像による三次元自動検知システムを用いた乳腺腫瘍の自動抽出ー腫瘍の重心点から表面までの距離を応用した良性悪性の判別ー. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第9回学術集会, 東京, 1998年1月.
 122. 尾本きよか, **谷口信行**, 伊東紘一, 川井夫規子, 中村みちる, 小野倫子, 横田京子: 後腹膜平滑筋肉腫の超音波像. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第10回学術集会. 松本. 1998年10月17-18日.
 123. 小野倫子, 川井夫規子, 中村みちる, 尾本きよか, 横田京子, 王 怡, **谷口信行**, 伊東紘一: 頸部領域における超音波ガイド下吸引細胞診の検討, 日本超音波医学会関東甲信越地方会第10回学術集会. 松本. 1998年10月17-18日.
 124. 小野倫子, 川井夫規子, 中村みちる, 横田京子, 尾本きよか, **谷口信行**, 伊東紘一: 家族性大腸腺腫症に合併した若年性甲状腺癌の1例. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第9回学術集会, 東京, 1998年1月.
 125. 小野口晃, 金子淑子, **谷口信行**, 王 怡, 川井夫規子, 伊東紘一: 超音波カラードプラ法を用いた速度プロファイルによる血流量測定ー測定値の再現性についてー, 日本超音波医学会関東甲信越地方会第10回学術集会, 松本, 1998年10月17-18日.
 126. 高野隆一, **谷口信行**, 浅野泰, 伊東紘一: 超音波ドプラ法で病変を描出できた腎血管病変の2例. 第8回超音波血流研究会, 東京, 1998年6月6日.
 127. **谷口信行**: 各領域における超音波診断の現状と将来, 体表領域における超音波診断の現状と将来. 日本超音波医学会基礎研究会, 東京, 1998年7月18日.
 128. **谷口信行**: 乳腺甲状腺超音波専門医ならびに体表臓器検査士について. 第1回日本乳腺甲状腺超音波診断会議, つくば, 1998年10月10日.
 129. **谷口信行**, 伊東紘一: Harmonic imaging の臨床的評価, 日本超音波医学会基礎研究会 (第3回) 神奈川, 1998年12月12日.
 130. 横田京子, 中村みちる, 川井夫規子, 小野倫子, 尾本きよか, 王 怡, **谷口信行**, 伊東紘一: 超音波断層像による小児肝臓の計測, 第71回日本超音波医学会, 横浜, 1998年5月10-12日. (超音波医学 25 (4) : 153, 1998.)
 131. **Taniguchi N**, Takano R, ITOH K, Omoto K, and Kawai F: Estimation of velocity profiles and 3D images of the aorta and its branches using color Doppler signals in humans. 5th Congress of the AFSUM 1998, Taipei, 1998. Oct 23-27.
 132. 藤井康友, **谷口信行**, 伊東紘一: へき地診療所において体外式超音波が診断に有用であった消化管疾患の10例 日本超音波医学会関東甲信越地方会第11回学術集会. 東京. 1999年10月10-11日.
 133. 中村みちる, 横田京子, 川井夫規子, 小野倫子, 王怡, 尾本きよか, **谷口信行**, 伊東紘一: 乳幼児期腎内エコーの検討, 日本超音波医学会第72回学術集会, 札幌, 1999年6月23-25日.
 134. 尾本きよか, 伊東紘一, 程相勇, 王 怡, **谷口信行**, 秋山いわき, 大塚 紳, 水沼洋文, 金澤暁太郎,

- 川井夫規子：超音波三次元画像を用いた抽出乳腺腫瘍の良悪性自動判別の研究：縦横比および表面積体積比の臨床的検討，日本超音波医学会第72回学術集会。札幌，1999年6月23-25日。
135. 尾本きよか，伊東紘一，程 相勇，王 怡，**谷口信行**，秋山いわき，大塚 紳，水沼洋文，金澤暁太郎，川井夫規子：超音波三次元画像を用いた抽出乳腺腫瘍の良悪性自動判別に研究： $d_{max}3/V_t, Sz/Sxy, M$ 次元における検討。日本超音波医学会第72回学術集会，札幌，1999年6月23-25日。
136. 尾本きよか，伊東紘一，王 怡，**谷口信行**，程 相勇，秋山いわき，小倉重人，大塚紳，水沼洋文，金澤暁太郎：超音波三次元画像を用いた抽出乳腺腫瘍の良悪性自動判別の研究： $-V_{ei}/V, dim3/V, D_{skew}, D_{kurt}$ などにおける検討：日本超音波医学会関東甲信越地方会第11回学術集会。東京。1999年10月10-11日。
137. 小野倫子，中村みちる，川井夫規子，尾本きよか，横田京子，王 怡，**谷口信行**，伊東紘一：頸部悪性リンパ腫の超音波像。日本超音波医学会第72回学術集会，札幌，1999年6月23-25日。
138. 小野倫子，**谷口信行**，尾本きよか，重田浩一郎，横田京子，王 怡，中村みちる，川井夫規子，伊東紘一，金澤暁太郎：超音波で観察しえた胃癌による門脈腫瘍栓の1例，日本超音波医学会関東甲信越地方会第11回学術集会，東京，1999年10月10-11日。
139. 佐藤 泉，**谷口信行**，伊東紘一，王 怡，尾本きよか，重田浩一郎，藤井康友：パワードプラ法による甲状腺内血流の定量的評価。日本超音波医学会関東甲信越地方会第11回学術集会。東京。1999年10月10-11日。
140. 椿井正義，竹村 淳，伊東正安，伊東紘一，**谷口信行**，菅田安男：局所可変構造要素を用いたモルフォロジーによる超音波画像のエッジ強調。日本超音波医学会第72回学術集会，札幌，1999年6月23-25日。
141. **谷口信行**：翔け超音波医学：アクションプランを考えよう，3) どうする超音波専門医・超音波検査士の位置づけ。札幌，1999年6月22日。
142. **谷口信行**，伊東紘一：超音波検査の画像処理と問題点：ワークショップ：生理検査におけるデータ処理と問題点。第46回日本臨床病理学会。熊本，1999年11月11日。
143. **谷口信行**，伊東紘一，尾本きよか，重田 浩一郎：パネルディスカッション：画像ファイリング技術の臨床応用 5) 超音波画像と報告書の活用，日本超音波医学会第72回学術集会，札幌，1999年6月25日。
144. **谷口信行**，川井夫規子，伊東紘一，王怡，尾本きよか：肝疾患での周波数依存性減衰値の検討。日本超音波医学会基礎研究会（第4回）東京，1999年3月13日。
145. 王 怡，**谷口信行**，伊東紘一，滑川道人，村松慎一，中野今治：びまん性の末梢神経肥厚を呈した慢性炎症性脱髄性多発神経根ニューロパチーの1例 日本超音波医学会関東甲信越地方会第11回学術集会。東京。1999年10月10-11日。
146. 王 怡，**谷口信行**，高野隆一，金子淑子，小野口晃，重田 浩一郎，伊東紘一：カラードプラ法による流速プロファイル法を用いた健常者の血流量の測定。日本超音波医学会第72回学術集会，札幌，1999年6月23-25日。
147. 横田京子，中村みちる，川井夫規子，小野倫子，尾本きよか，王 怡，**谷口信行**，伊東紘一：超音波断層像による小児年齢別肝計測基準値。日本超音波医学会第72回学術集会，札幌，1999年6月23-25日。
148. 椿井 正義，竹村 淳，伊東 正安，伊東 紘一，**谷口信行**，菅田 安男：局所可変構造要素を用いたモルフォロジーによる超音波画像のエッジ強調。日本超音波医学会第72回学術集会，札幌，1999年6月23-25日。
149. 藤栄 寿雄，佐藤 晃司，古瀬 信，王 怡，**谷口信行**，伊東 紘一：同時生起行列を用いた新しい画像解析法のCTへの応用(第1報) 正常例と特発性間質性肺炎例との判別。日本医学放射線学会雑誌 59 (2) Page S211 : 1999.
150. Nakamura M., Kawai F., **Taniguchi N.**, Itoh K.: Renal stones in infants high incidence and high rate of spontaneous disappearance. Congress of the world federation of ultrasound and medicine and biology 6-10, May, 2000 Florence, Italy.
151. Omoto K., Itoh K., Wang Y., **Taniguchi N.**: Computer-aided diagnosis for the automatic extraction and evaluation of breast tumors using three-dimensional ultrasound imaging. Congress of the world federation of ultrasound and medicine and biology 6-10, May,

2000 Florence, Italy.

152. **Taniguchi N.**, Fujii Y., Wang Y., Omoto K., Itoh K. Estimation method of the tissue internal echo using RF signal histogram. Congress of the world federation of ultrasound and medicine and biology 6-10, May, 2000 Florence, Italy.
153. 藤井康友, **谷口信行**, 重田浩一郎, 王 怡, 佐藤 泉, 伊東紘一, 曹 景文, 隅崎健二: ROIの分割化によるRF信号のヒストグラム解析法を用いたびまん性肝疾患の評価. 日本超音波医学会第73回学術集会, 横浜, 2000年5月28-30日. (日超医抄録集; 550, 2000.)
154. 川井夫規子, 中村みちる, 尾本きよか, 横田京子, 小野倫子, 王 怡, 藤井康友, 重田浩一郎, **谷口信行**, 伊東紘一: 唾液腺腫瘍の超音波像の検討. 日本超音波医学会第73回学術集会, 横浜, 2000年5月28-30日. (日超医抄録集; 689, 2000.)
155. 中村みちる, **谷口信行**, 川井夫規子, 横田京子, 小野倫子, 王怡, 藤井康友, 重田浩一郎, 尾本きよか, 伊東紘一: 小児腎長径超音波計測値—体位変化による差異の考察—. 日本超音波医学会第73回学術集会, 横浜, 2000年5月28-30日. (日超医抄録集; 669, 2000.)
156. 尾本きよか, 伊東紘一, 程 相勇, 王 怡, **谷口信行**, 秋山いわき, 大塚 紳, 水沼洋文, 小倉重人, 永井秀雄: 超音波三次元画像を用いた乳腺腫瘍の抽出と良悪性の自動判別に関する研究—CADを用いた本システムと医師による術前判定との比較検討—. 日本超音波医学会第73回学術集会, 横浜, 2000年5月28-30日.
157. 王 怡, **谷口信行**, 藤井 康友, 重田 浩一郎, 佐藤 泉, 伊東 紘一, 曹 景文, 隅崎 健二: ROIの分割化によるRF信号のヒストグラム解析法を用いたびまん性甲状腺疾患の評価 日本超音波医学会第73回学術集会, 横浜, 2000年5月28-30日
158. 小野倫子, **谷口信行**, 重田浩一郎, 横田京子, 中村みちる, 川井夫規子, 王怡, 藤井康友, 尾本きよか, 伊東紘一: A-Vシャントを伴い非典型的な超音波像を呈した肝血管腫の1例. 日本超音波医学会第73回学術集会, 横浜, 2000年5月28-30日.
159. 佐藤 泉, **谷口信行**, 尾本きよか, 藤井康友, 重田浩一郎, 王 怡, 伊東紘一: 甲状腺疾患と甲状腺下極の切痕との関連. 日本超音波医学会第73回学術集会, 横浜, 2000年5月28-30日.
160. 横田京子, 中村みちる, 川井夫規子, 小野倫子, 尾本きよか, 王 怡, **谷口信行**, 伊東紘一: 超音波断層像による小児肝腫大の評価. 日本超音波医学会第73回学術集会, 横浜, 2000年5月28-30日.
161. 藤栄寿雄, 鐘ヶ江香久子, 古瀬 信, 王 怡, **谷口信行**, 伊東紘一: 同時生起行列を用いた新しいCT画像解析法(第2報) 正常, 間質性肺炎, 肺気腫の判別. 日本医学放射線学会雑誌 60 (2): S265, 2000.
162. 王 怡, **谷口信行**, 伊東紘一, 川井夫規子, 中村みちる, 重田浩一郎, 横田京子, 小野倫子, 藤井康友, 尾本きよか: 超音波画像の定量的評価—拡大した正常肝と肝硬変の像の区別について—. 日超医関東甲信越地方会第12回学術集会, 東京, 2000年10月14日-15日
163. 尾本きよか, 王 怡, 小野倫子, 重田浩一郎, 佐藤 泉, 中村みちる, **谷口信行**, 伊東紘一, 水沼洋文, 大塚 紳, 穂積康夫, 永井秀雄: 授乳性腺腫lactating adenomaの3例. 日超医関東甲信越地方会第12回学術集会, 東京, 2000年10月14日-15日.
164. 小野倫子, 重田浩一郎, 尾本きよか, 中村みちる, **谷口信行**, 伊東紘一: 超音波検査で描出された副腎腫用の検討. 日超医関東甲信越地方会第12回学術集会, 東京, 2000年10月14日-15日.
165. 小野倫子, **谷口信行**, 大澤正明, 小野口晃, 金子淑子, 中澤成公, 河野幹彦, 伊東紘一: 動脈硬化の指標としての腹壁脂肪厚および腸間膜厚の有用性に関する検討—特に脂質代謝との関連について—. 日本超音波医学会第74回学術集会公募シンポジウム1【動脈硬化の判定は可能か】, 東京, 2001年5月20日. (超音波医学 28(3): 340, 2001)
166. 重田浩一郎, 尾本きよか, 小野倫子, 川井夫規子, 中村みちる, **谷口信行**, 伊東紘一: 耳下腺良性腫瘍の超音波像の検討. 日超医関東甲信越地方会第12回学術集会, 東京, 2000年10月14日-15日
167. 重田浩一郎, 尾本きよか, 小野倫子, 川井夫規子, 中村みちる, **谷口信行**, 伊東紘一: 心臓用携帯型超音波診断装置の臨床的有用性について(初期の使用経験). 日超医関東甲信越地方会第12回学術集会,

東京，2000年10月14日-15日。

168. 重田浩一郎，谷口信行，伊東紘一，窓岩清治，坂田洋一：超音波造影剤の血小板活性化に与える影響について．日本超音波医学会第74回学術集会，東京，2001年5月。
169. 高野隆一，谷口信行，伊東紘一：速度profile法を用いた腎血流測定値の精度に関する検討 —PAHクリアランス法との比較—．日本超音波医学会第74回学術集会，東京，2001年5月
170. 谷口信行，藤井康友，伊東紘一，王 怡，金潤哲，重田浩一郎，小野倫子：RF信号の信号雑音比(SNR)を利用した内部エコーの不均一性の断層像表示．日本超音波医学会第74回学術集会，東京，2001年5月
171. 内田章文，重田浩一郎，谷口信行，伊東紘一：食事摂取が総頸動脈血流量および総頸動脈・内頸動脈・外頸動脈・腹腔動脈流速に及ぼす影響について．日本超音波医学会第74回学術集会，東京，2001年5月。
172. 王 怡，谷口信行，伊東紘一，川井夫規子，中村みちる，重田浩一郎，横田京子，小野倫子，藤井康友，尾本きよか：正常肝と硬変肝画像の定性的評価の再現性について —拡大した内部エコーテクスチャーによる—．日本超音波医学会第74回学術集会，東京，2001年5月。
173. 藤井康友，谷口信行，高野隆一，王 怡，重田浩一郎，尾本きよか，小野倫子，佐藤 泉，伊東紘一：肝の超音波組織性状診断に関する研究 ラット線維化肝におけるROIの分割化によるRF信号のヒストグラム解析 日本超音波医学会第74回学術集会．東京2001年5月。
174. 中村みちる，王 怡，重田浩一郎，小野倫子，尾本きよか，谷口信行，伊東紘一：超音波造影剤を用いた排尿時尿路造影—基礎的研究と臨床応用—．日本超音波医学会第74回学術集会，東京，2001年5月19日。（超音波医学 28(3): 611, 2001）
175. 尾本きよか，王 怡，谷口信行，伊東紘一，水沼洋文，穂積康夫，永井秀雄，秋山いわき，留小強，川崎博明：超音波3次元画像を用いた乳腺腫瘍の抽出と良悪性の自動判別に関する研究 —新たな抽出アルゴリズムおよび2種類の装置を用いた臨床的検討—．日本超音波医学会第74回学術集会，東京，2001年5月。
176. 中村みちる，篠崎健史，中島尚美，金井孝裕，谷口信行，桃井真里子，伊東紘一：X線下及び超音波下(VCUG&VUA)同時排尿時尿路造影の検討．第36回日本小児腎臓病学会学術集会，東京，2001年6月15日。（日本小児腎臓病学会雑誌14(1): 172, 2001）
177. 安里満信，小野倫子，藤井康友，重田浩一郎，尾本きよか，中村みちる，谷口信行，伊東紘一，三浦恭定，小松則夫：発作性夜間血色素尿症(PNH)に門脈血栓症を呈した1例．日本超音波医学会第13回関東甲信越地方会，東京，2001年10月13日。（超音波医学29(1): 42, 2002）
178. 藤井康友，谷口信行，重田浩一郎，小野倫子，尾本きよか，中村みちる，鯉淵晴美，伊東紘一，曹景文：新しい減衰率推定法を用いたびまん性肝疾患の評価．日本超音波医学会第13回関東甲信越地方会，東京，2001年10月13日。（超音波医学29(1): 51, 2002）
179. 藤井康友，谷口信行，高野隆一，王怡，重田浩一郎，尾本きよか，小野倫子，佐藤泉，伊東紘一：肝の超音波組織性状診断に関する研究—ラット線維化肝におけるROIの分割化によるRF信号の包絡振幅のヒストグラム解析—．日本超音波医学会第74回学術集会，東京，2001年5月20日。（超音波医学 28(3): 546, 2001）
180. 金潤哲，中村みちる，小野倫子，谷口信行，伊東紘一：臀部Epidermal inclusion cystの1症例．日本超音波医学会第13回関東甲信越地方会，東京，2001年10月13日。（超音波医学29(1): 47, 2002）
181. 鯉淵晴美，小野倫子，中村みちる，谷口信行，伊東紘一，野崎靖之，白石裕比湖，桃井真里子：超音波検査が診断に有用であった肺葉外肺分画症の1例．日本超音波医学会第13回関東甲信越地方会，東京，2001年10月13日。（超音波医学29(1): 47, 2002）
182. 桑田知之，泉章夫，大草尚，渡辺尚，松原茂樹，市橋光，中村みちる，谷口信行，伊東紘一，佐藤郁夫：胎児髄膜瘤と水頭症：当科5000分娩の統計から．日本超音波医学会第13回関東甲信越地方会，東京，2001年10月13日。（超音波医学29(1): 49, 2002）
183. 尾本きよか，安里満信，鯉淵晴美，藤井康友，小野倫子，重田浩一郎，中村みちる，谷口信行，伊東紘一，穂積康夫，永井秀雄，佐藤泉：甲状腺悪性リンパ腫の4例．日本超音波医学会第13回関東甲信越地方会，

- 東京, 2001年10月13日. (超音波医学29(1): 48, 2002)
184. 尾本きよか, 谷口信行, 伊東紘一, 小倉重人, 水沼洋文, 大塚 紳, 穂積康夫, 永井秀雄, 秋山いわき, 松平広紀, 川崎博明: 超音波 3 次元画像を用いた乳腺腫瘍の抽出と良悪性自動判断システムの開発. 第9回日本乳癌学会総会, 前橋, 2001年6月7日.
 185. 尾本きよか, 王 怡, 谷口信行, 伊東紘一, 小倉重人, 水沼洋文, 穂積康夫, 永井秀雄, 秋山いわき, 松平広紀, 川崎博明: 超音波 3 次元画像を用いた乳腺腫瘍の抽出と良悪性の自動判別に関する研究—新たな抽出アルゴリズムおよび 2 種類の装置を用いた臨床的検討—. 日本超音波医学会第74回学術集会, 東京, 2001年5月20日. (超音波医学 28(3): 649, 2001).
 186. 小野倫子, 重田浩一郎, 尾本きよか, 中村みちる, 藤井康友, 谷口信行, 伊東紘一: 超音波検査で描出された副腎腫瘍の検討. 第4回栃木県超音波懇話会, 宇都宮, 2001年6月15日.
 187. 小野倫子, 重田浩一郎, 尾本きよか, 中村みちる, 谷口信行, 藤井康友, 鯉淵晴美, 安里満信, 伊東紘一: 当院における下肢超音波検査の現況. 日本超音波学会第13回関東甲信越地方会, 東京, 2001年10月13日. (超音波医学29(1): 48, 2002)
 188. 重田浩一郎, 谷口信行, 安里満信, 藤井康友, 鯉淵晴美, 小野倫子, 伊東紘一, 窓岩清治, 坂田洋一: 造影超音波検査の血小板に与える影響について. 日本超音波医学会第13回関東甲信越地方会, 東京, 2001年10月13日. (超音波医学29(1): 45, 2002)
 189. 重田浩一郎, 谷口信行, 安里満信, 藤井康友, 鯉淵晴美, 小野倫子, 中村みちる, 伊東紘一, 大河原重雄: 造影超音波検査の肝細胞等に与える影響について. 日本超音波医学会第13回関東甲信越地方会, 東京, 2001年10月13日. (超音波医学29(1): 50, 2002)
 190. 重田浩一郎, 谷口信行, 尾本きよか, 小野倫子, 金潤哲, 王怡, 伊東紘一, 窓岩清治, 坂田洋一: 超音波造影剤の血小板活性化への影響について. 日本超音波医学会第74回学術集会, 東京, 2001年5月19日. (超音波医学 28(3): 546, 2001)
 191. 高野隆一, 谷口信行, 伊東紘一: 速度profile法を用いた腎血流測定値の精度に関する検討—PAHクリアランス法との比較—. 日本超音波医学会第74回学術集会, 東京, 2001年5月19日. (超音波医学 28(3): 601, 2001)
 192. 谷口信行, 藤井康友, 伊東紘一, 王怡, 金潤哲, 重田浩一郎, 小野倫子: RF信号の信号雑音比(SNR)を利用した内部エコーの不均一性の断層像表示. 日本超音波医学会第74回学術集会, 東京, 2001年5月20日. (超音波医学 28(3): 548, 2001)
 193. 内田章文, 重田浩一郎, 谷口信行, 伊東紘一: 食事摂取が総頸動脈血流量および総頸動脈・内頸動脈・外頸動脈・腹腔動脈流速に及ぼす影響について. 日本超音波医学会第74回学術集会, 東京, 2001年5月19日. (超音波医学 28(3): 546, 2001)
 194. 王 怡, 谷口信行, 伊東紘一, 川井夫規子, 中村みちる, 重田浩一郎, 横田京子, 小野倫子, 藤井康友, 尾本きよか: 正常肝と硬変肝の定性的評価の再現性について—拡大した内部エコーテクスチャによる—. 日本超音波医学会第74回学術集会, 東京, 2001年5月20日. (超音波医学 28(3): 2001)
 195. Sakai O, Fujita A, Kanai N, Fujii T, Taniguchi N, Izumi T, Utoh K, Furuse M, Curtin HD.: Cervical Lymphadenopathy in Kikuchi's disease: radiological and pathological correlations; 40th Annual Meeting of American Society of Neuroradiology 2001 Apr 21-27.
 196. Fujii, Y., Taniguchi, N., Itoh, K., Shigeta, K. and Tsao, J.W.: A new method derived for attenuation coefficient measurement in the liver. The 6th Congress of the Asian Federation of Societies for Ultrasound in Medicine and Biology, Kuala Lumpur, Malaysia, October 23-26, 2001.
 197. Nakamura, M., Wang, Y., Shigeta, K., Shinozaki, T., Taniguchi, N., Omoto, K., Fujii, Y., Ono, T. and Itoh, K.: Simultaneous Voiding Cystourethrography and Voiding Urosonography. The 6th Congress of the Asian Federation of Societies for Ultrasound in Medicine and Biology, Kuala Lumpur, Malaysia, October 25, 2001.
 198. Omoto, K., Taniguchi, N., Itoh, K., Wang, Y., Nakamura, M., Ono, T., Shigeta, K. and Fujii,

- Y.: Study of the Automatic Breast Tumor Extraction Using Three-Dimensional Ultrasound Imaging. The 6th congress of the Asian Federation of Societies for Ultrasound in Medicine and Biology, Kuala Lumpur, Malaysia, October 25, 2001.
199. 鯉淵晴美, 中村みちる, 谷口信行, 小野倫子, 藤井康友, 重田浩一郎, 尾本きよか, 安里満信, 伊東紘一: 超音波検査における小児正常胸腺の検討. 第75回日本超音波医学会学術集会, 高松, 2002年6月2日. (超音波医学 29(suppl): S466, 2002)
 200. 中村みちる, 小野倫子, 尾本きよか, 重田浩一郎, 藤井康友, 谷口信行, 伊東紘一: 当院における小児腹部エコー症例の検討ー検査診断時のpitfallー. 第5回栃木県超音波懇話会, 宇都宮, 2002年
 201. 尾本きよか, 藤井康友, 小野倫子, 重田浩一郎, 中村みちる, 谷口信行, 伊東紘一, 小倉重人, 穂積康夫, 永井秀雄: レボビストを用いた乳癌の乳管内進展に関する診断的有用性の検討. 日本超音波学会第75回学術集会, 高松, 2002年6月2日. (超音波医学 29(suppl): S445, 2002)
 202. 中村みちる, 谷口信行, 篠原健史, 重田浩一郎, 小野倫子, 尾本きよか, 鯉淵晴美, 安里満信, 伊東紘一: 超音波造影剤を用いた小児排尿時尿路造影の検討. 日本超音波医学会第75回学術集会, 高松, 2002年6月3日. (超音波医学 29(suppl): S423, 2002)
 203. 尾本きよか, 谷口信行, 伊東紘一, 小倉重人, 穂積康夫, 水沼洋文, 永井秀雄, 篠崎健史, 作原祐介: 乳癌の乳管内進展に関する術前評価ーLevovistを用いた造影超音波画像と造影MRI画像との比較検討ー. 第10回日本乳癌学会総会, 名古屋, 2002年7月4-6日.
 204. 中村みちる, 篠崎健史, 谷口信行, 中島尚美, 金井孝裕, 桃井真里子, 伊東紘一: 超音波造影剤を用いた被爆のない排尿時尿路造影 (VUS) の検討. 第37回日本小児腎臓病学会学術集会, 神戸, 2002年7月4日. (日本小児腎臓病学会雑誌15(1): 132, 2002)
 205. 安里満信, 藤井康友, 鯉淵晴美, 小野倫子, 尾本きよか, 中村みちる, 谷口信行, 伊東紘一, 安田是和, 永井秀雄: イレウスにて発症し, その診断に体外式超音波が有用であったCrohn病の1例. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第14回学術集会, 東京, 2002年9月15日. (抄録集p49)
 206. 藤井康友, 安里満信, 鯉淵晴美, 小野倫子, 尾本きよか, 中村みちる, 谷口信行, 伊東紘一, 安田是和, 永井秀雄: 腹腔内膿瘍を伴うびまん浸潤型進行大腸癌の一例. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第14回学術集会, 東京, 2002年9月15日. (抄録集p50)
 207. 藤井康友, 谷口信行, 伊東紘一: 肝のテクスチャ診断ーRF信号の包絡振幅のヒストグラム解析法を用いた検討ー. 日本超音波医学会第75回学術集会, シンポジウム12 (基礎), 組織性状診断はどこまで可能かー理論と実際ー, 高松, 2002年6月1-3日. (超音波医学 29: S191, 2002)
 208. 藤井康友, 谷口信行, 重田浩一郎, 小野倫子, 尾本きよか, 中村みちる, 伊東紘一: RF信号の信号雑音比を用いた肝実質不均一性表示法の有用性. 日本超音波医学会第75回学術集会, 高松, 2002年6月3日. (超音波医学 29: S401, 2002)
 209. 小野倫子, 重田浩一郎, 尾本きよか, 中村みちる, 藤井康友, 鯉淵晴美, 安里満信, 谷口信行, 伊東紘一: 下肢における超音波検査の有用性ーDVT以外の疾患を中心にー. 日本超音波医学会第74回学術集会, 高松, 2002年6月1日. (超音波医学 29: S493, 2002)
 210. 鯉淵晴美, 中村みちる, 谷口信行, 増沢亜紀, 柏井良文, 小野倫子, 藤井康友, 尾本きよか, 桃井真里子, 伊東紘一: 悪性リンパ腫の化学療法中に胸腺過形成をきたし, その診断に超音波検査が有用であった一例. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第14回学術集会, 東京, 2002年9月14日. (抄録集p27)
 211. 中山雄司, 小野倫子, 安里満信, 鯉淵晴美, 藤井康友, 尾本きよか, 中村みちる, 谷口信行, 伊東紘一, 高野隆一, 桑田知之, 安田是和, 永井秀雄: 卵巣能腫と鑑別が困難であった回腸重複症の1例. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第14回学術集会, 東京, 2002年9月15日.
 212. 尾本きよか, 安里満信, 鯉淵晴美, 藤井康友, 小野倫子, 重田浩一郎, 中村みちる, 谷口信行, 伊東紘一: 乳腺腺筋上皮腫の1例. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第14回学術集会, 東京, 2002年9月14日.
 213. 小野倫子, 藤井康友, 尾本きよか, 中村みちる, 谷口信行, 鯉淵晴美, 安里満信, 伊東紘一, 和泉透: 悪性リンパ腫による胸壁病変の超音波像. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第14回学術集会, 東京, 2002年9月14日.

214. 重田浩一郎, 谷口信行, 伊東紘一, 大河原重雄: 造影超音波検査は肝細胞に影響を与える. 日本超音波医学会基礎技術研究会, 東京, 2002年9月21日 (Vol. 102 No.2 6-8 2002).
215. 重田浩一郎, 谷口信行, 尾本きよか, 小野倫子, 藤井康友, 鯉淵晴美, 中村みちる, 大河原重雄, 伊東紘一: 造影超音波検査が肝臓に及ぼす影響について—ラット肝での検討—. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第14回学術集会, 東京, 2002年9月14日. (抄録集p17)
216. 桑田知之, 谷口信行, 尾本きよか, 藤井康友, 松原茂樹, 鈴木光明, 伊東紘一, 大竹章文, 高山智司: 新しく開発した自動追従型ボディーマーカ表示システムによる腹部超音波検査 日本超音波学会関東甲信越地方会第15回学術集会, 東京, 2002年10月4日.
217. Omoto, K., Ogura, S., Mizunuma, H., Hozumi, Y., Nagai, H., Taniguchi, N. and Itoh, K.: Novel method of sentinel node detection using ultrasonography with contrast agent: A study in experimental animals. Sntinel Node 2002, Yokohama, November 16-18, 2002.
218. 河野幹彦, 久保信彦, 谷口信行, 大原智子, 中村みちる, 渋谷泰寛, 尾本きよか, 重田浩一郎, 小野倫子, 鯉淵晴美, 伊東紘一: へき地診療における臨床検査の実施状況. 第49回日本臨床検査医学会総会, 大阪, 2002年11月22日. (臨床病理50 (補冊): 97, 2002)
219. 中村 みちる, 篠崎 健史, 鯉淵 晴美, 中島 尚美, 金井 孝裕, 谷口 信行, 桃井 真里子, 伊東 紘一: 排尿時超音波尿路造影 低侵襲膀胱尿管逆流診断法を目指して. 日本小児放射線学会雑誌 19巻Suppl. Page7, 2003.
220. 安里満信, 藤井康友, 鯉淵晴美, 小野倫子, 尾本きよか, 中村みちる, 谷口信行, 伊東紘一: 胸鎖乳突筋の腫大を呈した悪性リンパ腫の2例. 日本超音波医学会第76回学術集会, 札幌, 2003年5月9日 (超音波医学30 (4): S481, 2003)
221. 藤井康友, 谷口信行, 伊東紘一, 尾本きよか, 小野倫子, 鯉淵晴美, 中村みちる: 新しい減衰係数推定法—びまん性甲状腺疾患への応用—. 日本超音波医学会第76回学術集会, 札幌, 2003年5月9日 (超音波医学30 (Suppl): S147, 2003)
222. 鯉淵晴美, 谷口信行, 小野倫子, 藤井康友, 尾本きよか, 中村みちる, 伊東紘一: 当院における穿刺吸引細胞診の現状—検体不十分率改善のために—. 日本超音波医学会第76回学術集会, 札幌, 2003年5月9日 (超音波医学30 (suppl): S479, 2003)
223. 桑田知之, 谷口信行, 尾本きよか, 藤井康友, 大竹章文, 高山智司, 伊東紘一, 松原茂樹, 鈴木光明: 超音波断層像の理解を助けるための新しいボディーマーカ表示法 日本音波医学会第76回学術集会, 札幌, 2003年5月9日. (超音波医学 30 (Suppl): S179, 2003)
224. 中村みちる, 鯉淵晴美, 谷口信行, 小野倫子, 尾本きよか, 藤井康友, 伊東紘一: 排尿時超音波尿路造影: 膀胱内Levovist至適投与方法の検討. 日本超音波医学会第76回学術集会, 札幌, 2003年5月11日 (超音波医学30 (Suppl): S409, 2003)
225. 小野倫子, 安里満信, 鯉淵晴美, 藤井康友, 尾本きよか, 中村みちる, 谷口信行, 伊東紘一: 下腿静脈の体位による描出能の変化—検査に最適な体位とは—. 日本超音波医学会第76回学術集会, 札幌, 2003.5.11 (超音波医学30: S270, 2003)
226. 篠崎泰久, 松本浩一, 星健太郎, 伊藤弘人, 野口忠秀, 神部芳則, 小佐野仁志, 草間幹夫, 谷口信行: 頬粘膜及び舌扁平上皮癌の超音波診断. 頭頸部腫瘍29 (2): 324, 2003.
227. 中村みちる, 篠崎健史, 鯉淵晴美, 中島尚美, 金井孝裕子, 谷口信行, 桃井真里子, 伊東紘一: 排尿時超音波尿路造影: 低侵襲膀胱尿管逆流診断法を目指して. (教育講演) 第39回日本小児放射線学会, 東京, 2003年6月28日 (日小放誌 19 Suppl: 6, 2003)
228. 中山雄司, 尾本きよか, 藤井康友, 鯉淵晴美, 小野倫子, 谷口信行, 伊東紘一, 高野隆一: 超音波カラードプラ法が診断に有用であった腎動静脈瘤の一例. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第15回学術集会, 東京, 2003年10月4日-5日.
229. 尾本きよか, 水沼洋文, 小倉重人, 穂積康夫, 永井秀雄, 鯉淵晴美, 藤井康友, 小野倫子, 中村みちる, 谷口信行, 伊東紘一: 造影超音波法によるセンチネルリンパ節同定法の研究 (動物実験). 日本超音波医学会第76回学術集会, 札幌, 2003年 5月 9日. (超音波医学30 (Suppl): S449, 2003)

230. 笹沼英紀, 安田是和, 仁平芳人, 千葉秀男, 北条宣幸, 山下圭輔, **谷口信行**, 永井秀雄: フロープロファイル法を用いた門脈血流可視化の試み 日本超音波医学会第76回学術集会, 札幌, 2003年5月9日. (超音波医学 30 (Suppl): S384, 2003)
231. 重田浩一郎, 伊東紘一, **谷口信行**, 尾本きよか, 大河原重雄: 2種類の超音波造影剤が血小板・肝組織に与える影響の比較検討. 日本超音波医学会第76回学術集会, 札幌, 2003年5月9日. (超音波医学 30: S132, 2003)
232. 尾本きよか, **谷口信行**, 伊東紘一: プライマリ・ケアの卒後教育—超音波検査室での教育—. 第26回日本プライマリ・ケア学会, 札幌, 2003年6月21-22日,
233. 尾本きよか, **谷口信行**, 伊東紘一, 小倉重人, 穂積康夫, 水沼洋文, 永井秀雄, 佐藤泉: 特異な超音波像を呈した浸潤性乳管癌の一例. 第11回 日本乳癌学会総会, 2003年6月12-13日. 新潟. (抄録集 P267)
234. 藤井康友, 鯉淵晴美, 安里満信, 小野倫子, 尾本きよか, 中村みちる, **谷口信行**, 伊東紘一, 安田是和, 永井秀雄: 体外式超音波が診断に有用であった腹膜播種による大腸狭窄の1例. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第15回学術集会, 東京, 2003年10月4-5日.
235. 安里満信, 藤井康友, 鯉淵晴美, 小野倫子, 尾本きよか, **谷口信行**, 伊東紘一, 安田是和, 永井秀雄: 回盲部Burkitt-like悪性リンパ腫の一例. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第15回学術集会, 東京, 2003年10月4日-5日.
236. 鯉淵晴美, **谷口信行**, 藤井康友, 小野倫子, 尾本きよか, 中村みちる, 伊東紘一: 上腕二頭筋に病変を認めたサルコイドーシスの一例. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第15回学術集会, 東京, 2003年10月4日-5日.
237. 尾本きよか, 鯉淵晴美, 小野倫子, 藤井康友, **谷口信行**, 伊東紘一, 水沼洋文, 穂積康夫, 永井秀雄: 25%アルブミン溶液を用いた造影超音波画像によるセンチネルリンパ節同定法. 日本超音波医学会関東甲信越地方会 第15回学術集会, 2003年 10月 4日
238. 尾本きよか, **谷口信行**, 伊東紘一, 鯉淵晴美, 藤井康友, 小野倫子, 松平 広紀, 川崎 博明, 水沼洋文, 穂積康夫, 永井秀雄: ワークショップ 3 「CAD」超音波三次元画像による乳癌診断支援システム. 第11回 乳腺甲状腺超音波診断会議, 宇都宮, 2003年10月12日.
239. 小野倫子, 鯉淵晴美, 藤井康友, 尾本きよか, **谷口信行**, 伊東紘一: 頸部リンパ節結核の超音波像. 日本超音波学会関東甲信越地方会第15回学術集会, 東京, 2003年10月4日.
240. **谷口信行**, 桑田知之, 小野倫子, 尾本きよか, 伊東紘一: 自動追従型3Dボディーマーカの体表領域への利用 第11回日本乳腺甲状腺超音波診断会議, 宇都宮, 2003年10月11日.
241. Omoto, K., Koibuchi, H., Fujii, Y., Ono, M., Nakamura, M., **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Hozumi, Y., Nagai, H.: Diagnosis of intraductal component in breast cancer using contrast enhanced ultrasonography with Levovist. 2003 WFUMB, Canada, 2003.
242. **Taniguchi N**: Ono T, Itoh K: Comparison of WI and elastic parameters values in the different sampling layers and sections: WI Round Table in Tokyo, Tokyo, Mar 25, 2003.
243. 鯉淵晴美, 尾本きよか, 尾本 和, 水沼洋文, 永井秀雄, 小野倫子, 藤井康友, **谷口信行**, 伊東紘一: 非浸潤性乳管癌(DCIS)の超音波像. 日本超音波医学会第77回学術集会, 宇都宮, 2004年5月17-19日. (超音波医学31 Suppl : S317.)
244. 尾本きよか, 穂積康夫, 水沼洋文, 永井秀雄, 鯉淵晴美, 藤井康友, 小野倫子, **谷口信行**, 伊東紘一: 造影超音波法による乳癌のセンチネルリンパ節同定の臨床検討. 日本超音波医学会第77回学術集会, 宇都宮, 2004年5月17-19日. (超音波医学31 Suppl : S316.)
245. 小野倫子, 鯉淵晴美, 藤井康友, 尾本きよか, **谷口信行**, 伊東紘一: Wave Intensityを用いた定量的動脈硬化評価法. 日本超音波学会第77回学術集会, 宇都宮, 2004年5月18日.
246. 河野幹彦, 久保信彦, 大原智子, 鯉淵晴美, **谷口信行**, 伊東紘一: 体格指数(BMI)による臨床データの实態. 第51回日本臨床検査医学会総会, 東京, 2004年9月3-5日(臨床病理52(補冊)137, 2004).

247. 藤井康友, 吉澤浩次, 細谷好則, 谷口信行, 安田是和, 永井秀雄: 吐血にて発症した胃神経鞘腫の一例. 第12回日本消化器病関連学会週間 (第46回日本消化器病学会大会), 福岡, 2004年10月 (p.A724).
248. 小野倫子, 中山雄司, 鯉淵晴美, 藤井康友, 尾本きよか, 谷口信行, 伊東紘一: 小児慢性甲状腺炎の経過中に発見された乳頭癌の超音波像. 日本超音波学会関東甲信越地方会第16回学術集会, 東京, 2004年11月6日.
249. 鯉淵晴美, 尾本きよか, 小野倫子, 中山雄司, 藤井康友, 谷口信行, 伊東紘一: 転移性甲状腺癌の超音波像. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第16回学術集会, 東京, 2004年11月6日.
250. 中山雄司, 小野倫子, 尾本きよか, 藤井康友, 鯉淵晴美, 谷口信行, 伊東紘一: 超音波検査にて腫瘍が認められた亜急性甲状腺炎の3例: 日本超音波医学会関東甲信越地方会学術集会抄録集16回学術集会, 東京, 2004年11月6日.
251. Fujii, Y., Taniguchi, N., Akiyama, I., Tsao, JW., Itoh, K.: A new system for in vivo assessment of nonlinearity parameter /BA: Phantom study. The 34th Annual Scientific Meeting of the Australasian societies for Ultrasound in Medicine and Biology, Sydney, Australia, September, 2004. (p.42)
252. Omoto, K., Nihei, Y., Hozumi, Y., Omoto, Y., Nagai, H., Mizunuma, H., Koibuchi, H., Nakayama, Y., Ono, T., Fujii, Y. Taniguchi, N., Itoh, K.: New method of sentinel node detection using contrast-enhanced ultrasonography with hespnder an low molecular dextran as contrast agent: a study in experimental animals. 4th Annual International Sentinel Node Congress, California, USA, December 3-6, 2004.
253. Taniguchi N., Konno K, Kuwata T: Automatic transducer location for the neck. WFUMB 2004 Souel.
254. 藤井康友, 俵藤正信, 尾本きよか, 谷口信行, 安田是和, 永井秀雄: 体外式超音波が診断に有用であった回盲部原発Burkitt-like lymphomaの1例. 第13回日本消化器病関連学会週間 (第48回日本消化器病学会大会), 神戸, 2005年10月 (p.A792)
255. 藤井康友, 紺野 啓, 尾本きよか, 谷口信行, 安田是和, 永井秀雄: 体外式超音波で発見された皮膚血管肉腫結腸転移の1例. 第14回日本消化器病関連学会週間 (第48回日本消化器病学会大会), 札幌, 2005年6月 (p.A904)
256. 藤井康友, 谷口信行, 秋山いわき, 曹 景文, 鯉淵晴美, 小野倫子, 尾本きよか, 伊東紘一: 第2次高調波成分を用いた新しい非線形パラメータ推定法. 日本超音波医学会第78回学術集会, 東京, 2005年5月. (p S299)
257. 鯉淵晴美, 藤井康友, 谷口信行, 尾本きよか, 小野倫子, 中山雄司, 伊東紘一: 超音波検査による肥厚性幽門狭窄と胃食道逆流との胆嚢収縮の検討. 日本超音波医学会学術集会, 東京, 2005年5月20日-22日 (超音波医学 32 suppl: S429)
258. 中山 雄司, 小野 倫子, 尾本 きよか, 藤井 康友, 鯉淵 晴美, 谷口 信行, 伊東 紘一: 超音波検査にて腫瘍様変化が認められた亜急性甲状腺炎の症例 日本超音波医学会学術集会, 東京, 2005年5月20日-22日
259. 鯉淵晴美, 谷口信行, 藤井康友, 尾本きよか, 黒崎仁寛, 中山雄司, 小野倫子, 伊東紘一: 超音波検査で悪性腫瘍との鑑別が必要であった化膿性リンパ節炎. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第17回学術集会, 横浜, 2005年10月22日-23日.
260. 尾本きよか, 穂積康夫, 尾本和, 塩澤幹雄, 水沼洋文, 永井秀雄, 谷口信行, 伊東紘一: 超音波造影画像によるセンチネルリンパ節同定法の臨床的検討. 第13回日本乳癌学会総会, 倉敷, 2005年6月10-11日. (抄録集P350)
261. Fujii, Y., Taniguchi, N., Akiyama, I., Tsao, JW., Itoh, K.: A new system for in vivo assessment of the degree of nonlinear generation using the second harmonic component in echo signals: application in the liver. 2005 AIUM annual convention and 50th anniversary celebration. Orlando, USA, June 19-22, 2005. (p.S97)
262. Fujii, Y., Taniguchi, N., Itoh, K., Satoh M., Irie T.: Effect of repeated U stimulation on

- adiponectin secretion in obese human adipocytes. 5th International Symposium on Therapeutic Ultrasound. Boston, USA, October 27-29, 2005. (p.78)
263. 岡田 成生, 松本浩一, 星 健太郎, 野口忠秀, 小佐 仁志, 谷口信行, 草間幹夫: 超音波診断法を用いた口腔扁平上皮癌患者の頸部リンパ節転移の評価. 日本口腔腫瘍学会誌(0915-5988) 17 (3): 167, 2005. (2005.09)
264. 松本浩一, 篠崎泰久, 小佐野仁志, 谷口信行, 草間幹夫: 超音波診断における口腔内専用探触子の開発と正常・異常画像. 日本口腔科学会雑誌(0029-0297) 54 (4): 511, 2005. (2005.09)
265. 鯉淵晴美, 藤井康友, 谷口信行, 尾本きよか, 小野倫子, 中山雄司, 伊東紘一: 胆嚢収縮能に着目した新たな肥厚性幽門狭窄症の超音波診断. 第52回日本臨床検査医学会総会, 福岡, 2005年11月17-20日.
266. 藤井康友, 谷口信行: 超音波を用いた生体計測の精度管理 —正確度と精密度—. [パネルディスカッション1]: 超音波装置の精度管理に関する諸問題. 第79回日本超音波医学会学術集会, 大阪, 2006年5月26-28日. (p S175)
267. 藤井康友, 谷口信行, 秋山いわき, 伊東紘一: 新しい非線形パラメータ推定法 —装置広帯域に伴う新しい展開—. シンポジウム2: 超音波装置の広帯域化とスペックルについて. 第79回日本超音波医学会学術集会, 大阪, 2006年5月26-28日. (p S120)
268. 佐藤正和, 藤井康友, 谷口信行, 安斎仁郎, 入江喬介, 伊東紘一: 超音波照射システムの開発. 超音波医学33 (2): 257, 2006.
269. 鯉淵晴美, 谷口信行, 藤井康友, 伊東紘一: 小児頸部リンパ節腫脹に対する超音波検査とその有用性. 第109回日本小児科学会学術集会, 金沢, 2006年4月21 -23日. (日本小児科学会雑誌110: 361, 2006)
270. 鯉淵晴美, 谷口信行, 藤井康友, 尾本きよか, 高野隆一, 黒崎仁寛, 伊東紘一: 小児の脊髄超音波像. 第79回日本超音波医学会学術集会, 大阪, 2006年5月26 -28日. (超音波医学33 supple: s500, 2006)
271. **Taniguchi, N.**, Konno, K., Kuwata, T.: Automatic transducer location for the neck. The 11th Congress of the World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology, Seoul, Korea, May 28 - June 1, 2006 (Ultrasound Med Biol. 32(5S): 75, 2006).
272. 紺野 啓, 石田秀明, 尾本きよか, 高野隆一, 藤井康友, 鯉淵晴美, 黒崎仁寛, 谷口信行: A-Pシャントをともなう肝血管腫の超音波所見. 第14回栃木県超音波懇話会, 宇都宮, 2006年6月16日.
273. 黒崎仁寛, 松永宏明, 鯉淵晴美, 紺野啓, 高野隆一, 藤井康友, 尾本きよか, 谷口信行, 森 雅人, 市橋 光: 自然消退した先天性多発性血管腫症の1例. 日本超音波医学会第18回関東甲信越地方会, 東京, 2006年10月28-29日.
274. 松永宏明, 尾本きよか, 中山雄司, 鯉淵晴美, 藤井康友, 谷口信行: 甲状腺未分化癌との鑑別を要した胸腺癌直接浸潤の一例, 第49回日本甲状腺学会, 高松, 2006年11月2-4日. (日本内分泌学会雑誌82 (2): 307, 2006)
275. 尾本きよか, 谷口信行, 伊東紘一, 川崎博明, 松平広紀, 秋山いわき, 水沼洋文, 穂積康夫: 乳腺用3Dスキャナによる乳腺腫瘍の自動抽出および3次元画像表示の検討. 第14回日本乳癌学会総会, 金沢, 2006年7月7-8日. (抄録集P307)
276. 尾本きよか, 豊島千絵子, 穂積康夫, 永井秀雄, 松永宏明, 中山雄司, 谷口信行: 甲状腺機能結節(AFTN)の超音波像. 第49回日本甲状腺学会, 高松, 2006年11月2-4日 (日本内分泌学会雑誌82 (2): 307, 2006)
277. 高野隆一, 谷口信行, ウールトウヤシュウマルジャウ, 紺野啓, 藤井康友, 尾本きよか, 鯉淵晴美, 黒崎仁寛, 伊東紘一: 速度profile法を用いたヒト腎血流の測定. 第79回日本超音波医学会学術集会 (シンポジウム9 超音波腎臓病学の今日), 大阪, 2006年5月26-28日. (超音波医学33: Supplement 163, 2006.)
278. 長谷川英之, 金井 浩, 倉島 寛行, ウールトヤア・シュウマルジャウ, 谷口 信行, 伊東 紘一: 8-16MHz

- 超音波による末梢動脈の厚み変化の計測 超音波医学33巻Suppl. Page S303(2006.04)
279. 黒崎仁寛, 松永 宏明, 鯉淵 晴美, 紺野 啓, 高野 隆一, 藤井 康友, 尾本 きよか, **谷口 信行**, 森 雅人, 市橋 光: 自然消退した先天性多発性血管腫症の1例 日本超音波医学会関東甲信越地方会学術集会抄録集 18回 Page72(2006.10)
 280. 松本 浩一, 篠崎 泰久, **谷口 信行**, 草間 幹夫: 口腔内専用探触子を用いた超音波診断に関する研究 日本口腔外科学会雑誌52巻Suppl. Page39(2006.09)
 281. 松本 浩一, 篠崎 泰久, 小佐野仁志, 神部芳則, **谷口 信行**, 草間 幹夫: 口腔疾患の鑑別診断精度向上のための口腔内専用超音波探触子の開発 日本口腔外科学会雑誌53巻Suppl. 117, 2006.
 282. **谷口信行**: 最近の超音波検査の新しい手法について. 第53回日本臨床検査医学会学術集会 [教育講演], 弘前市, 2006年11月10日.
 283. **谷口信行**: 血管壁硬化性変化の弾性計測法の開発と臨床応用に関する研究. 第53回日本臨床検査医学会学術集会 [学術推進プロジェクト セッション], 弘前市, 2006年11月11日.
 284. Omoto, K., **Taniguchi, N.**, Itoh, K., Hozumi, Y.: New sentinel node detection method combining contrast-enhanced US and dye guidance: An animal study. The 11th Congress of the World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology, Seoul, Korea, May 28 - June 1, 2006 (Ultrasound Med Biol. 32(5S): 244, 2006).
 285. 鯉淵晴美, 林 俊治, 藤井康友, 紺野 啓, 高野隆一, 尾本きよか, 黒崎仁寛, 竹 夏樹, 山田俊幸, **谷口信行**: 超音波探触子の細菌学的汚染状況. 第54回臨床検査医学会総会, 大阪, 2007年11月23-25日. (臨床病理 55(補): 175, 2007)
 286. 鯉淵晴美, 林 俊治, 藤井康友, 黒崎仁寛, 松永宏明, 高野隆一, 紺野 啓, 尾本きよか, **谷口信行**: 超音波探触子の細菌汚染調査. 第80回日本超音波医学会, 鹿児島, 2007年18-20日. (超音波医学, 34 Suppl.: S293, 2007)
 287. 紺野 啓, 石田秀明, 高野隆一, 藤井康友, 尾本きよか, 鯉淵晴美, 黒崎仁寛, 松永宏明, 渋谷友美, **谷口信行**: コンピュータ・シミュレーションによるUS画像の歪みに関する検討. 第80回日本超音波医学会, 鹿児島, 2007年18-20日. (超音波医学 34 Suppl, 2007)
 288. 大澤正明, **谷口 信行**, 尾本 きよか, 桑田 知之, 宮澤 義, 高山 智司: 3Dボディーマークの下肢への応用 超音波医学(1346-1176)34巻Suppl. S623, 2007.
 289. Shuumarjav Uurtuya, 伊東 紘一, **谷口 信行**, 河野 幹彦, 山田 俊幸, Nyamdavaa Khurelbaatar: 日本人と蒙古人間の弾性パラメーターによる動脈硬化の比較(Comparison of atherosclerosis by elasticity parameter between Japanese and Mongolian) 第54回臨床検査医学会総会, 大阪, 2007年11月. (臨床病理55(補): 73, 2007.)
 290. Fujii, Y., **Taniguchi, N.**, Koibuchi, H., Yasuda, Y., Nagai, H.: Compressibility Assessment of Affected Bowel in Sonographic Diagnosis of Gastrointestinal Lymphoma. 2006 AIUM annual convention. New York, NY, USA, March 15-19, 2007. (p S195)
 291. Koibuchi, H., Hayashi, S., Fujii, Y., Konno, K., Takano, R., Omoto, K., **Taniguchi, N.**: Risk of bacterial transmission by ultrasonographic probes・The 8th Asian Federation Societies for Ultrasound in Medicine and Biology, Bangkok, Thailand, November 12-16, 2007.
 292. 竹 夏樹, 黒崎仁寛, 鯉淵晴美, 藤井康友, 高野隆一, 紺野啓, 尾本きよか, **谷口信行**: 副甲状腺腺腫による原発性副甲状腺機能亢進症の3例 日本超音波医学会関東甲信越地方会第19回学術集会抄録集 Page82(2007.11)
 293. 松永宏明, 尾本きよか, 竹 夏樹, 石橋和久, 中山雄司, **谷口信行**: 超音波が診断に有用であった甲状腺悪性リンパ腫の4例 日本内分泌学会雑誌83巻2号: 362, 2007.
 294. 歌野 健一, 中田和佳, 小林茂, 黒崎仁寛, 鯉淵晴美, 尾本きよか, **谷口信行**: 異所性胸腺と考えられた右頸部腫瘍の1例 日本超音波医学会関東甲信越地方会第19回学術集会抄録集 Page82(2007.11)
 295. 竹 夏樹, 松永 宏明, 中山 雄司, 鯉淵 晴美, 藤井 康友, 高野 隆一, 紺野 啓, 尾本 きよか, **谷口 信行**: 腺腫様甲状腺腫の経過観察中に嚢胞内放線菌感染症をきたした1例 日本内分泌学会雑誌83(2):

- 349, 2007.
296. 篠崎 泰久, 松本 浩一, 松村 俊夫, 星 健太郎, 伊藤 弘人, 野口 忠秀, 神部 芳則, 小佐野 仁志, 草間 幹夫, **谷口 信行**: 頬粘膜および舌扁平上皮癌の超音波診断 歯科放射線47 (1-4): 105, 2008.
297. **Taniguchi, N.**, Shuumarjav, U.: NECK ARTERIAL STENOSIS. 6th Balkan society of radiology, Workshop II: NECK ARTERIAL STENOSIS, Vrnjacka Spa, Serbia, Nov, 18-20, 2008.
298. **Taniguchi, N.**, Shuumarjav, U.: CAROTID AND VERTEBRAL US: HOW TO DEMONSTRATE. 6th Balkan society of radiology, in *Workshop II: NECK ARTERIAL STENOSIS*, Vrnjacka Spa, Serbia, Nov, 18-20, 2008.
299. 橘内 洋, 佐藤正和, 入江喬介, 飯島高志, 守屋 正, 伊東紘一, 横山 卓, 紺野 啓, **谷口信行**: 細径ファイバーを用いた100MHz帯超音波伝送の検討. 日本超音波医学会第81回学術集会, 神戸, 2008年5月. (超音波医学第35巻増刊号)
300. 紺野 啓, 石田秀明, 高野隆一, 藤井康友, 鯉淵晴美, 竹 夏樹, **谷口信行**: いわゆる環境音速がBモード画像に与える影響について —コンピュータ・シミュレーションによる検討—. 日本超音波医学会第81回学術集会, 神戸, 2008年5月. (超音波医学第35巻増刊号)
301. 桑田知之, 松原茂樹, 大沢正明, 紺野 啓, **谷口信行**, 鈴木光明: 経膈式自動追従型3Dボディマーキングシステムの応用: 学生教育の場面で. 日本超音波医学会第81回学術集会, 神戸, 2008年5月. (超音波医学第35巻増刊号)
302. 吉沢昌純, 入江喬介, 伊東紘一, 横山 卓, 紺野 啓, **谷口信行**, 守屋 正: 干渉型音響インピーダンス計測法による腎断面画像. 日本超音波医学会第81回学術集会, 神戸, 2008年5月. (超音波医学第35巻増刊号)
303. 入江喬介, 佐藤正和, 飯島高志, 守屋正, 伊東紘一, 横山 卓, 紺野 啓, **谷口信行**: 細径ファイバーを用いた100MHz帯超音波伝送の検討. 第82回日本超音波医学会, 東京, 2009年5月22-24日. (超音波医学 36 (Suppl), S304, 2009.)
304. **谷口 信行**: 超音波検査と安全対策 超音波検査業務の安全管理について 第82回日本超音波医学会, 東京, 2009年5月22-24日. (超音波医学 36 (Suppl), S230, 2009.)
305. 川越光世, 紺野 啓, 鯉淵晴美, 竹内有葉, 大澤正明, 倉井順子, 中澤成公, 宮澤義, 嶋田 勇, **谷口信行**: 甲状腺炎を契機に診断された大動脈炎症候群の一例. 第18回栃木県超音波懇話会, 宇都宮, 2009年6月5日.
306. 鯉淵晴美, 林 俊治, 藤井康友, 紺野啓, 尾本きよか, **谷口信行**: 超音波探触子が細菌を伝搬する危険性について. 第82回日本超音波医学会, 東京, 2009年5月22-24日. (超音波医学suppl, S296, 2009)
307. 紺野 啓, 鯉淵晴美, 藤井康友, **谷口信行**, 石田秀明: Velocity Vector Imagingを用いた肝の動き評価の試み. 第82回日本超音波医学会, 東京, 2009年5月22-24日. (超音波医学36(Suppl), S401, 2009.)
308. 紺野 啓, 鯉淵晴美, 桃谷孝之, 四元 茂, **谷口信行**: 門脈血行動態異常に伴う良性肝腫瘍性病変についての検討. 第82回日本超音波医学会, 東京, 2009年5月22-24日. (超音波医学36(Suppl), S360, 2009.)
309. 宮本倫聡, 小谷和彦, 野牛宏晃, 鯉淵晴美, 藤井康友, 紺野啓, 山田俊幸, 石橋俊, **谷口信行**: 2型糖尿病における心電図RR間隔変動係数と頸動脈硬化の関連. 第56回日本臨床検査医学会学術集会, 札幌, 2009年8月28日. (日本臨床検査医学会誌, 57 (補), S211, 2009)
310. 尾本きよか, 松永宏明, 竹夏樹, 穂積康夫, 竹原めぐみ, 尾本和, 塩沢幹夫, 水沼洋文, **谷口信行**, 河野幹彦: 造影超音波画像による乳癌センチネルリンパ節同定法の研究. 第17回日本乳癌学会総会, 東京, 2009年7月3-4日. (抄録集 297)
311. **谷口信行**: 超音波の安全管理. 超音波医学会第28回中部地方会, 名古屋, 2009年6月14日.
312. 吉澤昌純, 川畑宏貴, 江本龍二, 入江喬介, 伊東紘一, 横山 卓, 紺野 啓, **谷口信行**, 守屋 正: 干渉型音

- 響インピーダンス計測法による穿刺型超音波顕微鏡用振動走査法. 第82回日本超音波医学会, 東京, 2009年5月22-24日. (超音波医学36(Suppl), S293, 2009.)
313. Kotani, K., Yamada, T., **Taniguchi, N.**, Kawano, M., Sakurabayashi, I.: Effect of lifestyle modifications on a new oxidized low-density lipoprotein marker, serum amyloid A-LDL, in asymptomatic subjects with primary dyslipidemia. 2009 Annual meeting of the American Association for Clinical Chemistry (AACC), Chicago, USA, Jul 21, 2009.
314. **Taniguchi, N.** : Ultrasonography of the carotid and vertebral arteries -How to examine-. AFSUMB Workshop, Jakarta, Indonesia, Nov 5, 2009.
315. 江本龍二, 吉澤昌純, 川畑宏貴, 藤井康友, 入江喬介, **谷口信行** : 超音波干渉法を用いた音響インピーダンス差分イメージングシステムによる皮膚表面画像. 第83回日本超音波医学会, 京都, 2010年5月29-31日. (超音波医学 37巻Suppl : S471, 2010.)
316. 入江喬介, 佐藤正和, 田川憲男, 守屋正, 吉澤昌純, 飯島高志, 伊東紘一, 横山 卓, 紺野 啓, **谷口信行** : 細径ファイバーを用いた100MHz帯超音波伝送による画像化の検討. 第83回日本超音波医学会, 京都, 2010年5月29-31日. (超音波医学 37巻Suppl : S348, 2010.)
317. 鯉淵晴美, 小谷和彦, 藤井康友, 紺野啓, 松永宏明, 宮本倫聡, **谷口信行** : 超音波探触子のアルコール消毒における耐性の研究. 第83回日本超音波医学会, 京都, 2010年5月29-31日. (超音波医学 37巻Suppl. : S412, 2010.)
318. 紺野 啓, 鯉淵晴美, 藤井康友, 松永宏明, 高橋純子, **谷口信行**, 石田秀明 : 門脈血流障害に伴う代償性変化 門脈血流減少と肝腫瘍様変化. 第83回日本超音波医学会, 京都, 2010年5月29-31日. (超音波医学 37巻Suppl.: S388, 2010.)
319. 松永宏明, 宮本倫聡, 小形幸代, 鯉淵晴美, 藤井康友, 紺野啓, 尾本きよか, **谷口信行**, 西野宏, 藤井博文 : 直腸癌による転移性甲状腺癌の1例. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第22回学術集会, 東京, 2010年10月30日 (抄録集Page116)
320. 宮本倫聡, 小谷和彦, 松永宏明, 鯉淵晴美, 藤井康友, 紺野 啓, 山田俊幸, 石俊, **谷口信行** : 総頸動脈の血管径と動脈硬化指標との関連. 第57回日本臨床病臨床検査医学会総会, 東京, 2010年9月10日. (理58巻補冊 : 113, 2010.)
321. 尾本きよか, 河野幹彦, 松永宏明, **谷口信行**, 桜木雅子, 関根理, 蓬原一茂, 小西文雄 : ソナゾイド(超音波造影剤)を用いた造影超音波法による乳癌のセンチネルリンパ節同定法. 第46回日本医学放射線学会秋季臨床大会, 横浜, 2010年9月18-20日. (抄録集(0048-0428) S500-S501, 2010.)
322. 桜木雅子, 尾本きよか, 関根 理, 蓬原一茂, 小西文雄, **谷口信行** : ソナゾイドを用いた超音波造影法による乳癌センチネルリンパ節の術前マーキング. 第83回日本超音波医学会, 京都, 2010年5月29-31日. (超音波医学 37巻Suppl.: S177, 2010.)
323. 鈴木浩之, **谷口信行**, 尾本きよか, 松村 誠, 森 秀明, 関根智紀, 種村 正, 高橋正美, 森田 大, 酒井一博 : アンケートによる超音波診断装置及び検査環境に関する検討. 第83回日本超音波医学会, 京都, 2010年5月29-31日. (超音波医学 37巻Suppl.: S413, 2010.)
324. **谷口信行** : [シンポジウム] 様々な医療現場における臨床検査と医療安全管理 : 生理機能検査の特殊性と医療安全—特に超音波検査業務の安全管理—. 第57回日本臨床検査学会, 東京, 2010年9月11日.
325. Kotani, K., Yamada, S., Yamada, T., **Taniguchi, N.**, Sakurabayashi, I.: The effects of lifestyle modification treatment on the serum oxidized lipoprotein(a) levels in obese women: a comparison with native lipoprotein(a). 2010 Annual meeting of the American Association for Clinical Chemistry, Anaheim, July, 2010. (Clin Chem : Suppl, 2010)
326. 入江喬介, 田川憲男, 田邊将之, 佐藤正和, 守屋正, 吉澤昌純, 伊東紘一, 横山卓, 熊谷秀規, **谷口信行** : 石英ファイバーを用いた100MHz帯超音波伝送. 日本超音波医学会第84回学術集会, 東京, 2011年5月27-29日. (超音波医学38巻Suppl : S320, 2011.)
327. 紺野 啓, 藤井康友, 鯉淵晴美, 松永宏明, 倉井順子, 荻原友美菜, **谷口信行** : Venous aneurysmの超音波所見. 日本超音波医学会第84回学術集会, 東京, 2011年5月27-29日. (超音波医学第38巻

- Suppl : S498, 2011.)
328. 今野剛人, 帖地健, 俵藤正信, 藤原圭祐, 射谷和徳, 松永宏明, **谷口信行**, 安田是和: 送受独立型リニアプローブによるIn-vivo造影実験. 日本超音波医学会第84回学術集会, 東京, 2011年5月27-29日. (超音波医学第38巻Suppl : S307, 2011.)
 329. 紺野 啓, 藤井康友, 鯉淵晴美, 松永宏明, 荻原友美菜, **谷口信行**, 石田秀明: カラー Doppler における音響流の可視化について. 日本超音波医学会第84回学術集会, 東京, 2011年5月27-29日. (超音波医学第38巻Suppl : S326, 2011.)
 330. 小谷和彦, 山田俊幸, **谷口信行**: 脂質異常症患者におけるスタチン療法による血清酸化・炎症関連マーカーの挙動. 第58回日本臨床検査医学会総会. 岡山, 2011年11月19日.
 331. 松永宏明, 紺野 啓, 中澤成公, 神田美穂, 津田恭子, 宮本倫聡, 鯉淵晴美, 藤井康友, 尾本きよか, **谷口信行**: 肝脾に多発性の結節像を呈した急性骨髄性白血病髄外再発の一例. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第23回学術集会, 東京, 2011年10月30日 (抄録集Page70)
 332. **谷口信行**: シンポジウム企画「検査部門関連学会との連携」: 「日本超音波医学会の役目は何か? (他の超音波関連学会との連携)」第84回日本超音波医学会, 東京, 2011年5月29日.
 333. 柄澤浩一, 吉澤昌純, 入江喬介, 田川憲男, 伊東紘一, 横山卓, 紺野 啓, **谷口信行**, 守屋正: 穿刺型超音波顕微鏡用溶融石英棒センサの分解能向上. 日本超音波医学会第85回学術集会, 東京, 2012年5月25-27日. (超音波医学39巻増刊号 S510, 2012)
 334. 入江喬介, 長谷川智仁, 佐藤正和, 田川憲男, 守屋正, 吉澤昌純, 伊東紘一, 横山卓, 熊谷秀規, **谷口信行**: 細径ファイバーを用いた100MHz帯超音波伝送による画像化の検討. 日本超音波医学会第85回学術集会, 東京, 2012年5月25-27日. (超音波医学39巻増刊号 S350, 2012.)
 335. 神田美穂, 紺野 啓, 津田恭子, 宮本倫聡, 松永宏明, 鯉淵晴美, 藤井康友, **谷口信行**: 慢性甲状腺炎急性増悪の1例. 日本超音波医学会第24回関東甲信越地方会学術集会, さいたま市, 2012年10月20-21日.
 336. 鯉淵晴美, 紺野 啓, 尾本きよか, 神田美穂, 津田恭子, 宮本倫聡, 松永宏明, 藤井康友, **谷口信行**: 超音波検査が有用であった小児甲状腺癌の4例. 第85回日本超音波医学会, 東京, 2012年5月25-27日. (超音波医学39巻増刊号 S492, 2012)
 337. 津田恭子, 鯉淵晴美, 紺野 啓, 松永宏明, 宮本倫聡, 神田美穂, 藤井康友, **谷口信行**: 超音波検査上診断が困難であった小児甲状腺内異所性胸腺の1例. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第23回学術集会, 東京, 2011年10月30日.
 338. 鯉淵晴美, 尾本きよか, 宮下 洋, 松永宏明, **谷口信行**: 当センターにおける超音波検診とマンモグラフィ検診. 第22回日本乳がん検診学会, 沖縄, 2012年11月9-10日. (日本乳癌検診学会誌21 : 497, 2012)
 339. 紺野 啓, **谷口信行**: 生体に対する超音波照射の影響: 組織照射モデルによるin vitroの検討. 日本超音波医学会第85回学術集会, 東京, 2012年5月25-27日. (超音波医学第39巻増刊号S180, 2012)
 340. 松永宏明, 紺野 啓, 神田美穂, 津田恭子, 宮本倫聡, 鯉淵晴美, 藤井康友, **谷口信行**: 頸部におけるIgG4関連疾患の超音波像: Mikulicz病, Kuttner腫瘍とRiedel甲状腺炎. 日本超音波医学会第85回学術集会, 東京, 2012年5月25-27日. (超音波医学第39巻増刊号S502)
 341. 宮本倫聡, 小谷和彦, 津田恭子, 松永宏明, 鯉淵晴美, 藤井康友, 紺野 啓, 山田俊幸, **谷口信行**: 糖尿病患者における位相差トラッキング法による血管弾性率と心血管危険因子の蓄積に関する検討. 第59回臨床検査医学会, 京都, 2012年11月29日-12月2日. (臨床病理60巻補冊 180, 2012)
 342. 津田恭子, 紺野 啓, 神田美穂, 宮本倫聡, 松永宏明, 鯉淵晴美, 藤井康友, **谷口信行**: 側頭動脈炎の超音波所見. 日本超音波医学会第85回学術集会, 東京, 2012年5月25-27日. (超音波医学39巻増刊号S397, 2012)
 343. Fujii, Y., **Taniguchi, N.**: Gastrointestinal Ultrasound, past, present and future. AFSUMB 2012, Bali, Nov 10, 2012.
 344. Miyamoto, M., Kotani, K., Hasegawa, H., Kanai, H., Koibuchi, H., Fujii, Y., Konno, K.,

- Yamada, T., **Taniguchi, N.**: The relationship between arterial wall elasticity by the phased tracking method and vascular manifestations in type 2 diabetes mellitus patients. The 12th International Congress of the Asian Society of Clinical Pathology and Laboratory Medicine. Kyoto, Nov 29-Dec 2, 2012.
345. 石黒保直, 笹沼英紀, 安田是和, **谷口信行**, 新田尚隆, 秋山いわき: 超音波造影剤投与下のウサギ心臓における音響放射力インパルス (ARFI: Acoustic Radiation Force Impulse) の心電図波形に与える影響についての検討. 日本超音波医学会 基礎技術研究会, 札幌, 2013年8月2日.
346. 鯉淵晴美, 小谷和彦, 紺野 啓, 津田恭子, 宮本倫聡, 山本さやか, 山田俊幸, **谷口信行**: 超音波検査室の細菌学的汚染調査. 第60回日本臨床検査医学会学術集会, 神戸, 2013年10月31日-11月3日. (臨床病理 60 補冊 185)
347. 鯉淵晴美, 津田恭子, 紺野 啓, 小谷和彦, 藤井康友, 神田美穂, 宮本倫聡, 松永宏明, **谷口信行**: プロテックスの探触子消毒に対する効果判定. 日本超音波医学会第86回学術集会, 大阪, 2013年5月24-26日. (超音波医学 40 suppl S 636, 2013.)
348. 鯉淵晴美, 津田恭子, 紺野 啓, 小谷和彦, 藤井康友, 神田美穂, 宮本倫聡, 松永宏明, **谷口信行**: プロテックスの探触子消毒に対する効果判定. 第38回日本超音波検査学会学術集会, 愛媛, 2013年6月14-16日.
349. 紺野 啓, 津田恭子, 鯉淵晴美, 宮本倫聡, 神田美穂, **谷口信行**: 超音波による脂肪肝の診断: その現状と新指標 fine echo texture の可能性について. 日本超音波医学会第86回学術集会, 大阪, 2013年5月24-26日. (超音波医学 40 suppl 515, 2013)
350. 紺野 啓, 津田恭子, 宮本倫聡, 鯉淵晴美, 山本さやか, **谷口信行**: 腎・泌尿器領域の臨床検査を考える — 医師の立場から — (シンポジウム). 第60回日本臨床検査医学会学術集会, 神戸, 2013年10月31日-11月3日.
351. 新田尚隆, 石黒保直, 笹沼英紀, 安田是和, **谷口信行**, 秋山いわき: 超音波照射による生体組織の安全性評価 — 動物実験用システム —. 日本超音波医学会 基礎技術研究会, 福岡, 2013年7月29日-30日.
352. 瀬川達也, 吉澤昌純, 入江喬介, 伊東紘一, 田川憲男, 横山 卓, 紺野 啓, **谷口信行**, 守屋 正: 40MHz帯干渉型音響インピーダンス計測法による凹凸画像の評価. 日本超音波医学会第86回学術集会, 大阪, 2013年5月24-26日. (超音波医学 40 suppl 633, 2013)
353. **谷口信行**: 生理機能検査: 超音波検査 — 見つかる所見の解釈について —. (シンポジウム: 未病社会の診断技術の進化) 第20回日本未病システム学会, 東京, 2013年11月10日.
354. 津田恭子, 紺野 啓, 神田美穂, 宮本倫聡, 鯉淵晴美, 武井ひろみ, 大澤正明, **谷口信行**: 肝静脈ガス血症の超音波所見・第86回日本超音波学会総会, 2013.
355. Kotani K., Yamada S., Yamada T., **Taniguchi N.**, Sakurabayashi I.: The association between the ratio of oxidized lipoprotein(a) to lipoprotein(a) and endothelial function in patients with diabetes mellitus. 2013 Annual meeting of the American Association for Clinical Chemistry (AACC). Jul 30-Aug 1, 2013, Huston, USA.
356. Yamakoshi Y., Kotani K., **Taniguchi N.**, Sunaguchi N.: Characterization of skin capillaries in flow mediated dilation using optical sensor with pressurization mechanism. The 10th International Congress on Coronary Artery Disease. Oct 13-16, 2013, Florence, Italy.
357. 林田直美, 今泉美彩, 志村浩己, 大久保礼由, 浅利 靖, 二川原健, 緑川早苗, 小谷和彦, 中路重之, 大津留晶, 赤水尚史, 貴田岡正史, 鈴木眞一, **谷口信行**, 山下俊一, 高村 昇: 甲状腺超音波検査と偶発甲状腺癌小児の甲状腺超音波検査における有所見率 3県調査の結果. 第87回日本内分泌学会学術大会, 福岡, 2014年4月25日. (日本内分泌学会雑誌 90(2), 486, 2014)
358. 林田直美, 今泉美彩, 志村浩己, 大久保礼由, 浅利 靖, 二川原健, 緑川早苗, 小谷和彦, 中路重之, 大津留晶, 赤水尚史, 貴田岡正史, 鈴木眞一, **谷口信行**, 山下俊一, 高村昇: 【シンポジウム 甲状腺・副甲状腺1小児甲状腺結節の超音波診断】3県の有所見率調査の結果について. 日本超音波医学会第87回学術集会,

- 横浜, 2014年5月9-10日. (超音波医学 41 Suppl. S354, 2014.)
359. 紺野 啓, 宮本恭子, 宮本倫聡, 鯉渕晴美, 谷口信行: 門脈血流障害に伴う代償変化(3): CTPV非形成例について. 日本超音波医学会第87回学術集会, 横浜, 2014年5月9-10日. (超音波医学 41 Suppl. S584, 2014.)
360. 宮本恭子, 紺野 啓, 山本さやか, 宮本倫聡, 鯉渕晴美, 谷口信行: 結核性リンパ節炎の超音波所見と穿刺吸引細胞診の実態についての検討. 日本超音波医学会第87回学術集会, 横浜, 2014年5月9-10日. (超音波医学 41 Suppl. S670, 2014)
361. 谷口信行: 【シンポジウム 日本心エコー図学会共同企画日本超音波医学会と日本心エコー図学会: どう棲み分ける?】日本超音波医学会における医工連携・多領域連携. 日本超音波医学会第87回学術集会, 横浜, 2014年5月9-10日. (超音波医学 41 Suppl. S180, 2014)
362. 吉澤昌純, 瀬川達也, 入江喬介, 田川憲男, 伊東紘一, 紺野啓, 谷口信行, 守屋 正: 穿刺型超音波顕微鏡用超音波干渉法による位相差画像の事例研究. 日本超音波医学会第87回学術集会, 横浜, 2014年5月9-10日. (超音波医学 41 Suppl. S712, 2014)
363. Ishiguro Y, Sasanuma H, Nitta N, Taniguchi N, Ogata Y, Yasuda Y, Akiyama I: The effect of ultrasound with acoustic radiation force impulse (ARFI) on the rabbit heart under the exposure of ultrasound contrast agent; perfluorobutane. AFSUMB, Kuala Lumpur, Malaysia, Oct. 30-31, 2014.
364. Kotani K, Mashiba S, Ueda M, Taniguchi N, Yamada T.: The association between smoking and serum oxidized high-density lipoprotein levels in a general male population. 2014 Annual meeting of the American Association for Clinical Chemistry (AACC). Jul 27-31, 2014, Chicago, USA.
365. Taniguchi N.: [Workshop] Thyroid US findings in Japanese children: in three areas study. AFSUMB, Malaysia, Nov. 1, 2014.
366. 赤井一揮, 高橋敦, 新田尚隆, 石黒保直, 笹沼英紀, 谷口信行, 秋山いわき, 生体への超音波熱的作用のマイクロバブルによる増強について. 日本音響学会2015年春季研究発表会 (2015.3) 中央大学理工学部 (後楽園キャンパス)
367. 赤井一揮, 高橋 敦, 新田尚隆, 石黒保直, 谷口信行, 秋山いわき: 造影剤投与下における超音波照射が生体熱的作用に与える影響について. 日本超音波医学会第88回学術集会. 東京, 2015年5月22-24日. ((日超医誌 42 (Suppl): S499, 2015.))
368. 藍原雅一, 土谷実穂, 安藤純一, 鈴木賢治, 松本哲也, 棚木庸公, 谷口信行, 小谷和彦, 梶井英治: 検査データの一元化. 第54回日本医療・病院管理学会学術総会, 福岡, 2015年11月5~6日 (日本医療・病院管理学会誌, 52(補), 160, 2015).
369. 林田直美, 今泉美彩, 志村浩己, 大久保礼由, 浅利靖, 二川原健, 緑川早苗, 小谷和彦, 中路重之, 大津留晶, 赤水尚史, 貴田岡正史, 鈴木眞一, 高村昇, 山下俊一, 谷口信行: 甲状腺超音波検診における過剰診断 3 県調査と過剰診断. 第35回日本乳腺甲状腺超音波医学, 岩手, 2015年9月19~20日 (乳腺甲状腺超音波医学, 4(4), 44, 2015).
370. 石黒保直, 新田尚隆, 赤井一輝, 高山法也, 小形幸代, 笹沼英紀, 安田是和, 谷口信行, 秋山いわき: ウサギ心臓における, 超音波造影剤投与下の音響放射力インパルス (ARFI: Acoustic Radiation Force Impulse) による期外収縮発現についての検討. 日本超音波医学会第88回学術集会, パネルディスカッション「超音波はどこまで安全か」, 東京, 2015年5月22-24日.
371. 門脇弘子, 早瀬俊幸, 船本健一, 宮内 優, 谷口信行: 2次元超音波計測融合血流解析における上流端流速推定手法の実血管形状による検証. 日本流体力学会年会, 東京, 2015年9月26日.
372. 鯉渕晴美, 藤井康友, 平井義一, 山田俊幸, 小谷和彦, 紺野 啓, 宮本恭子, 谷口信行: 超音波エネルギーが細菌のバイオフィーム破壊に及ぼす影響. 第88回日本超音波医学会学術集会, 東京, 2015年5月22日~24日.
373. 鯉渕晴美, 山田俊幸, 藤井康友, 小谷和彦, 紺野啓, 谷口信行: Staphylococcus epidermisのバイオフィ

- ルム作成方法と超音波エネルギーがバイオフィルムに及ぼす影響. 第62回日本臨床検査医学会学術集会, 岐阜, 2015年11月19~22日 (臨床病理, 63: S142, 2015).
374. 紺野 啓, 高山法也, 神田美穂, 山本さやか, 宮本恭子, 宮本倫聡, 鯉渕晴美, **谷口信行**: 不規則脂肪肝における肝実質エコーテクスチャの解析. 日本超音波医学会第88回学術集会. 東京, 2015年5月22-24日.
375. 窓岩清治, 大森 司, 坂田洋一, 室井一男, 山田俊幸, **谷口信行**, 村田 満: 造血幹細胞移植における血液凝固第XIII因子の動態に関する研究. 第62回日本臨床検査医学会学術集会, 岐阜, 2015年11月21日.
376. Kotani, K., Mashiba, S., Ueda, M., **Taniguchi, N.**, Yamada, T. : A serum oxidized high-density lipoprotein marker and its association with metabolic syndrome in males. American Association for Clinical Chemistry (AACC), Atlanta, USA, Jul 26~30, 2015.
377. 赤坂和美, 工藤正俊, 飯島尋子, 上原麻理子, 斎藤明子, 椎名 毅, 高野真澄, **谷口信行**, 畠 二郎, 平井 都始子, 古川まどか, 山口 匡: 日本超音波医学会男女共同参画委員会 アンケート調査報告. 日本超音波医学会第89回学術集会, 京都, 2016年5月27-29日. (日超医誌 43 : S208, 2016.)
378. 林田直美, 今泉美彩, 志村浩己, 大久保礼由, 浅利 靖, 二川原 健, 緑川早苗, 小谷和彦, 中路重之, 大津留 晶, 赤水尚史, 貴田岡正史, 鈴木眞一, 高村 昇, 山下俊一, **谷口信行**: 3県の有所見率調査の結果について. 日本超音波医学会第89回学術集会, 京都, 2016年5月27-29日. (日超医誌 43 : S432, 2016.)
379. 石黒保直, 新田尚隆, 赤井 一輝, 高野わかな, 高山法也, 小形幸代, 笹沼英紀, 安田是和, **谷口信行**, 秋山 いわき: 音響放射力インパルス (ARFI) を伴う超音波と期外収縮. 日本超音波医学会第89回学術集会, 京都, 2016年5月27-29日. (日超医誌 43 : S235, 2016.)
380. 岩津 好隆, 小谷和彦, 長田太助, 黒尾 誠, **谷口信行**, 山田俊幸: 慢性腎臓病における尿沈査と尿細管障害の関連性—予備的検討. 第63回日本臨床検査医学会学術集会, 神戸, 2016年9月4日 (臨床病理 64(Suppl) : 8-28, 2016.)
381. 神田美穂, **谷口信行**: 超音波検査が有用であった脾神経内分泌腫瘍の肝転移の一例. 日超音波医学会関東甲信越地方会, 東京, 2016年10月23日.
382. 川畑智拓, 濱住俊太郎, 田川憲男, 入江喬介, 小林明広, 藤井康友, **谷口信行**: 3Dイメージングを目的とする超音波探触子の向き計測に関する検討. 日本超音波医学会第89回学術集会, 京都, 2016年5月27-29日. (日超医誌 43 (Suppl) : S768, 2016.)
383. 鯉渕晴美, 山田俊幸, 藤井康友, 紺野 啓, 小谷和彦, 山本さやか, **谷口信行**: 超音波エネルギーが細菌のバイオフィルムに及ぼす影響 第2報. 日本超音波医学会第89回学術集会, 京都, 2016年5月27-29日. (日超医誌 43 (Suppl) : S536, 2016.)
384. 紺野 啓, 鯉渕晴美, 山本さやか, 宮本恭子, **谷口信行**: 小児型甲状腺嚢胞長期観察例の超音波所見. 日本超音波医学会第89回学術集会, 京都, 2016年5月27-29日. (日超医誌 43 (Suppl) : S834, 2016.)
385. 新田 尚隆, 石黒保直, 赤井一揮, 笹沼英紀, **谷口信行**, 高野わかな, 秋山 いわき: 音響放射力を伴う超音波による生体組織の温度上昇. 日本超音波医学会第89回学術集会, 京都, 2016年5月27-29日. (日超医誌 43 (Suppl) : S235, 2016.)
386. 鈴木浩之, 鈴木一弥, 関根智紀, **谷口信行**: 超音波検査者が安全で健康的に働くための提言の普及啓発活動. 日本超音波医学会第89回学術集会, 京都, 2016年5月27-29日. (日超医誌 43 (Suppl) : S236, 2016.)
387. 鈴木一弥, 鈴木浩之, 茂木伸之, 関根智紀, **谷口信行**: 超音波検査者が健康で安全・快適に働く環境整備のための今後の課題. 日本超音波医学会第89回学術集会, 京都, 2016年5月27-29日. (日超医誌 43 (Suppl) : S236, 2016.)
388. 高野わかな, 赤井一揮, 石黒保直, **谷口信行**, 新田尚隆, 秋山いわき: 骨表面組織における超音波照射による温度上昇について. 日本超音波医学会第89回学術集会, 京都, 2016年5月27-29日. (日超医

- 誌 43 (Suppl) : S557, 2016.)
389. 山本さやか, 紺野 啓, 与那覇 翔, 金子松五, 鯉渕晴美, **谷口信行**: 甲状腺穿刺吸引細胞診後に甲状腺のびまん性腫脹をみとめた一例. 日本超音波医学会第28回関東甲信越地方会学術集会, 東京, 2016年10月22-23日.
390. 与那覇 翔, 紺野 啓, 金子松五, 山本さやか, 宮本恭子, 鯉渕晴美, **谷口信行**: 四肢に発症した木村病の一例. 日本超音波医学会第28回関東甲信越地方会学術集会, 東京, 2016年10月22-23日.
391. Takayama, N., Ishiguro, Y., **Taniguchi, N.**, Takano, W., Sasanuma, H., Nitta, N., Akiyama, I.: The effect of ultrasound with acoustic radiation force on rabbit lung tissue: Preliminary study. 48th Annual Scientific Meeting of the British Medical Ultrasound Society, York, UK, Dec 7-9, 2016.
392. 岩津好隆, 小谷和彦, 長田太助, **谷口信行**, 山田俊幸: 腎疾患に合併する甲状腺機能低下と尿蛋白, 脂質代謝, 腎循環との関連性. 第64回日本臨床検査医学会学術総会, 京都, 2017年11月16日-29日.(臨床病理65(補冊); 133, 2017).
393. 鯉渕晴美, 藤井康友, 望月 剛, 紺野 啓, 山田俊幸, 山本さやか, **谷口信行**: 超音波エネルギーが細菌のバイオフィームに及ぼす影響. 日本超音波医学会第29回関東甲信越地方会, 東京, 2017年11月11日-12日.
394. 鯉渕晴美, 藤井康友, 佐藤祐介, 望月 剛, 小谷和彦, 山田俊幸, 山本さやか, 岩津好隆, 紺野 啓, **谷口信行**: 超音波エネルギーが細菌のバイオフィームに及ぼす影響. 第64回日本臨床検査医学会学術総会, 京都, 2017年11月16日-19日.(臨床病理65(補冊); 209, 2017.)
395. Koibuchi H, Fujii Y, Sato Y, Mochizuki T, Konno K, Cui L, Yamada T, **Taniguchi, N.**: Inhibitory effect of ultrasonic irradiation on bacterial biofilm formation International Conference on Biomedical Ultrasound, HonKong, December 3-4, 2017.
396. 金谷 裕司, 笹沼 秀幸, 飯島 裕生, 竹下 克志, 紺野 啓, **谷口信行**: セン断波を可視化させた新たなエラストグラフィによる弾性評価. 日本肩関節学会抄録集44回: 220, 2017.
397. Sasanuma H, Takayama N, Rifu K, Takano W, Ishiguro Y, **Taniguchi, N.**, Lefora K A, Akiyama I.: The Effect of Ultrasound with Acoustic Radiation Force Impulse on the Lung: A Preliminary Study in Rabbits. International Congress on Ultrasonics, Hawaii, 2017.
398. Takayama N, Sasanuma H, Rifu K, Ishiguro Y, Akiyama I, Takano W, **Taniguchi, N.**: The effect of ultrasound with acoustic radiation force on rabbit lung tissue. Balkan congress of Radiology, Budapest, 2017.
399. 伊賀賢一, 金谷裕司, 紺野 啓, 竹下克志, **谷口信行**, 佐藤威弘, 山越芳樹: カラー Doppler 断波映像法の加振周波数の低周波化による生体侵入深さの改善. 第91回日本超音波医学会学術集会, 神戸, 2018年6月8-10日. (超音波医学45: S576, 2018)
400. 岩津好隆, 小谷和彦, 黒尾 誠, 長田太助, 山本さやか, 鯉渕晴美, 紺野 啓, **谷口信行**, 山田俊幸: 慢性腎臓病におけるリン吸着薬が血清無機リン値と血漿CPP値に与える影響を比較する. 第65回日本臨床検査医学会学術集会, 東京, 2018年11月15日~18日. (臨床病理 66: S132, 2018)
401. 亀田 徹, 神山直久, 金山侑子, 小林英夫, **谷口信行**: 超音波装置の設定がBライン及びBライン状エコーの描出に与える影響. 第91回日本超音波医学会学術集会, 神戸, 2018年6月8-10日. (超音波医学45: S593, 2018)
402. 亀井亮平, 澤幡美千瑠, 古川原春菜, 中山雅之, 中村好一, 山田俊幸, **谷口信行**, 萩原 弘一: 本院における肺非結核性抗酸菌症のリスク因子保有率の検討. 日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌38巻サプリメント号: 69, 2018.
403. 金谷裕司, 紺野 啓, 竹下克志, **谷口信行**, 山越芳樹: CDSWIによる僧帽筋・棘上筋・上腕二頭筋・上腕筋の筋弾性測定値の信頼性. 第91回日本超音波医学会学術集会, 神戸, 2018年6月8-10日.
404. 鯉渕 晴美, 藤井 康友, 佐藤 祐介, 望月 剛, 山田俊幸, 紺野 啓, 崔 龍洙, **谷口信行**: 表皮ブドウ球菌が産生するバイオフィームに対する超音波照射の影響. 第5回基礎技術研究会, 千葉, 2018年12月13日.

405. 鯉淵晴美, 藤井康友, 佐藤祐介, 望月 剛, 山田俊幸, 山本さやか, 紺野 啓, 谷口信行: 超音波エネルギーが細菌のバイオフィーム形成阻害に及ぼす影響. 第91回日本超音波医学会学術集会, 神戸, 2018年6月8-10日. (超音波医学45: S573, 2018)
406. 紺野 啓, 山本さやか, 鯉淵晴美, 谷口信行: セン断波伝搬速度計測の実態と伝搬状態可視化による精度向上効果についての検討. 第91回日本超音波医学会学術集会, 神戸, 2018年6月8-10日. (超音波医学45: S699, 2018)
407. 倉品 渉, 金谷裕司, 飯島裕生, 笹沼秀幸, 紺野 啓, 谷口信行, 山越芳樹, 竹下克志: 上腕二頭筋のせん断波伝搬速度測定における至適関節角度の検討— CDSWI(Color Doppler shear wave imaging)法を用いて—. 第30回日本超音波整形外科学会, 山形, 2018年7月7-8日.
408. 倉品 渉, 金谷裕司, 飯島裕生, 笹沼秀幸, 紺野 啓, 谷口信行, 山越芳樹, 竹下克志: 骨格筋の弾性評価におけるプローブ圧によるせん断波伝搬速度の違い—Color Doppler shear wave imagingでの新しい評価—. 第23回日本理学療法基礎学会, 京都, 2018年12月15-16日.
409. 中山 希, 金谷裕司, 紺野 啓, 谷口信行, 堀口悠希, 山越芳樹: カラー Doppler せん断波映像法による骨格筋の伝播速度計測系. 第91回日本超音波医学会学術集会, 神戸, 2018年6月8-10日.
410. 利府数馬, 笹沼英紀, 高山法也, 高野わかな, 石黒保直, 小形幸代, 秋山いわき, 谷口信行: 造影剤投与後の音響放射力インパルスを伴う超音波照射による期外収縮の誘発. 第91回日本超音波医学会学術集会, 神戸, 2018年6月8-10日. (超音波医学45: S210, 2018)
411. 高山法也, 笹沼英紀, 利府数馬, 高野わかな, 石黒保直, 秋山いわき, 谷口信行: 音響放射力インパルスが肺に及ぼす影響—ウサギを用いた動物実験—. 第91回日本超音波医学会学術集会, 神戸, 2018年6月8-10日. (超音波医学45: S210, 2018)
412. 若松弘之, 鯉淵晴美, 岩津好隆, 山本さやか, 谷口信行, 山田俊幸: 自治医大附属病院におけるM蛋白検出法変更の影響<免疫電気泳動法から免疫固定法への移行. 第65回日本臨床検査医学会学術集会 東京, 2018年11月16日. (臨床病理 66: S187, 2018)
413. Koibuchi H, Fujii Y, Sato'o Y, Mochizuki T, Yamada T, Taniguchi N: Repeated short-time US irradiation can inhibit formation of the biofilm produced by Staphylococcus epidermidis. The 13th Congress of the Asian Federation of Societies for Ultrasound in Medicine and Biology. Seoul, Korea, May 23-26, 2018.
414. Takayama N, Sasanuma H, K. Rifu K, Furuya M, Lefor A.K., Akiyama I, Taniguchi N: Lung Hemorrhage Induced by Acoustic Radiation Force Impulse Elastography: A preliminary study in rabbits. 30th Euroson congress of the EFSUMB, Poznan, Poland, Sep 9, 2018.
415. 谷口信行: 小児甲状腺超音波検査検診と甲状腺癌 原発事故後8年を経過して. 超音波検査技術44巻 Suppl.: S67, 2019.
416. 吉住直子, 澤幡美千瑠, 亀井亮平, 佐多将史, 古川原春菜, 中山雅之, 山田俊幸, 谷口信行, 坂東政司, 萩原弘一: 当院で診断した悪性腫瘍合併肺Mycobacterium avium complex(MAC)症例の臨床的検討. 日本呼吸器学会誌8巻増刊: 231, 2019.
417. 堀口悠希, 金谷裕司, 倉品 渉, 紺野 啓, 谷口信行, 中山 希, 小久保大輔, 山越芳樹: 連続せん断波エラストグラフィによる上腕二頭筋のせん断波伝搬速度計測. 日本超音波医学会第92回学術集会, 東京, 2019年5月24-26日. (超音波医学46: S578, 2019)
418. 岩津好隆, 黒尾 誠, 小谷和彦, 長田太助, 山本さやか, 鯉淵晴美, 紺野 啓, 谷口信行, 山田俊幸: 慢性腎臓病における尿細管リンおよび尿酸排泄と尿細管障害の関係 結晶化と腎障害の関係. 第66回日本臨床検査医学会学術集会 岡山, 2019年11月21日-24日. (臨床病理 67: S272, 2019)
419. 岩津好隆, 武藤重明, 三浦 裕, 岩津加奈, 椎崎和弘, 黒尾 誠, 山田俊幸, 谷口信行, 長田太助: DOCA/食塩高血圧ラットにおける腎障害に対するフィンゴリモドの短期投与の効果. 第62回日本腎臓学会学術総会, 名古屋, 2019年6月21日-23日. (日腎会誌61(3): 366, 2019.)
420. 柿沼 藍, 荒川まい, 鯉淵晴美, 中里恵理香, 木村由美子, 大澤正明, 山本さやか, 紺野 啓, 谷口信行: 超音波ゲルの細菌学的汚染調査 日本超音波医学会関東甲信越地方会第31回学術集会, 東京, 2019年

10月19-20日.

421. 鯉渕晴美, 藤井康友, 紺野 啓, **谷口信行**: 医学生の超音波教育における携帯型エコーの有用性 —医学教育2023年問題を見据えて—. 日本超音波医学会第92回学術集会, 東京, 2019年5月24-26日. (超音波医学46: S194, 2019)
422. 鯉渕晴美, 藤井康友, 紺野 啓, 山本さやか, **谷口信行**, 山田俊幸: 医学生および初期研修医の超音波診断学教育における携帯型超音波診断装置の有用性. 日本臨床検査医学会第66回学術集会, 岡山, 2019年11月21-24日. (臨床病理 67: S225, 2019)
423. 鯉渕晴美, 藤井康友, 望月 剛, 紺野 啓, **谷口信行**: 低出力超音波パルス治療器を利用したカテーテル関連バイオフィルム血流感染症の新規予防法の開発. 超音波治療研究会, 東京, 2019年12月7日.
424. 紺野 啓, 鯉渕晴美, 山本さやか, **谷口信行**: 臨床検査部における研修医のための腹部超音波教育: 系統的超音波研修とPOCUS研修. 日本超音波医学会第92回学術集会, 東京, 2019年5月24-26日. (超音波医学46: S317, 2019)
425. 紺野 啓, 鯉渕晴美, 山本さやか, **谷口信行**: 慢性肝疾患超音波検査のtips and tricks. 日本超音波医学会第92回学術集会, 東京, 2019年5月24-26日. (超音波医学46: S178, 2019)
426. 利府数馬, 笹沼英紀, 高山法也, 古屋元秀, 石黒保直, 小形 幸代, 秋山いわき, **谷口信行**: 造影剤投与後の音響放射力インパルスに伴う超音波照射による期外収縮の誘発. 日本超音波医学会第92回学術集会, 東京, 2019年5月24-26日. (超音波医学46: S537, 2019)
427. 高山法也, 笹沼英紀, 利府数馬, 古屋元秀, 新田尚隆, 石黒保直, 秋山いわき, **谷口信行**: 音響放射力インパルスによるウサギの肺損傷について —臨床使用条件下での検討—. 日本超音波医学会第92回学術集会, 東京, 2019年5月24-26日. (超音波医学46: S552, 2019)
428. 若松弘之, 大内 輝, 篠澤洋太郎, 千田彰一, 岡崎幸生, 山田俊幸, **谷口信行**: 当院院内健診での循環器疾患の発見動機(6症例の報告). 第47回日本総合健診医学会, 横浜, 2019年2月2日.
429. 山本さやか, 紺野 啓, 鯉渕晴美, **谷口信行**: 超音波で甲状腺病変を観察し得たLangerhans細胞組織球症の一例. 日本超音波医学会第31回関東甲信越地方会学術集会, 東京, 2019年10月19-20日.
430. 荒川まい, 柿沼 藍, 鯉渕晴美, 大澤正明, 中里恵梨香, 木村由美子, 佐々木一雅, 紺野 啓, 山田俊幸, **谷口信行**: 超音波ゲル内での細菌生存率に関する検討(会議録). 第93 回日本超音波医学会学術集会, 仙台 (Web開催), 2020年12月2-4日. (超音波医学47: S216, 2020.)
431. 原田健右, 鯉渕晴美, 藤井康友, 紺野 啓, 山本さやか, 山田俊幸, **谷口信行**: 医学生 of 超音波診断学教育における携帯型超音波診断装置の有用性(続報)(会議録). 第93 回日本超音波医学会学術集会, 仙台 (Web開催), 2020年12月2-4日. (超音波医学 47: S568, 2020.)
432. 原田健右, 紺野 啓, 鯉渕晴美, 山本さやか, 山田俊幸, **谷口信行**: 超音波検査にて診断し得た良性対称性脂肪腫症(Madelung病)の1例(会議録/症例報告). 第 93 回日本超音波医学会学術集会, 仙台 (Web開催), 2020年12月2-4日. (超音波医学47: S561, 2020.)
433. 岩津好隆, 小谷和彦, 山本さやか, 鯉渕晴美, 紺野 啓, **谷口信行**, 山田俊幸: 慢性腎臓病における尿沈渣の臨床的意義(会議録). 第67 回日本臨床検査医学会学術集会盛岡 2020年11月19-21日. (臨床病理 68: S276, 2020.)
434. 鯉渕晴美, 紺野 啓, 山本さやか, **谷口信行**, 山田俊幸: COVID-19拡大時における当院超音波検査室での感染対策 現状と今後の課題(会議録). 第67回日本臨床検査医学会学術集会, 盛岡, 2020年11月19-21日. (臨床病理68: S221, 2020.)
435. 小久保大輔, 堀口悠希, 金谷裕司, 倉品 渉, 紺野 啓, **谷口信行**, 山越 芳樹: 骨格筋をモデルとした体表加振で励起されるせん断波の伝播解析. 日本超音波医学会第93回学術集会, 仙台 (Web開催), 2020年12月2-4日. (超音波医学47: S486, 2020.)
436. 紺野 啓, 山本さやか, 鯉渕晴美, 原田健右, **谷口信行**: Shear wave elastography (SWE) における呼吸調節による予圧効果(会議録). 第93 回日本超音波医学会, 仙台 (Web開催), 2020年12月2-4日. (超音波医学 47: S267, 2020.)
437. 金谷裕司, 渡邊英明, 竹下克志, 紺野 啓, **谷口信行**: 整復が必要な踵骨骨折に対する超音波ガイド下ブ

- ロックの有効性. 日本超音波医学会第93回学術集会, 仙台 (Web開催), 2020年12月2-4日.
438. 白沢有理沙, 伊賀賢一, 田中愛理, 金谷裕司, 倉品 渉, 紺野 啓, 谷口信行, 山越芳樹: 連続せん断波映像法の誤差要因と精度向上. 第93 回日本超音波医学会学術集会, 仙台 (Web開催), 2020年12月2-4日. (超音波医学 47: S498, 2020.)
439. 田中愛理, 伊賀賢一, 白沢有理沙, 金谷裕司, 倉品 渉, 紺野 啓, 谷口信行, 山越芳樹: 連続せん断波映像法におけるせん断波伝播図の活用. 第93 回日本超音波医学会学術集会, 仙台 (Web開催), 2020年12月2-4日. (超音波医学 47: S497, 2020.)
440. 渡邊英明, 竹下克志, 紺野 啓, 谷口信行: 整復が必要な踵骨骨折に対する超音波ガイド下ブロックの有用性. 第93 回日本超音波医学会, 仙台 (Web開催), 2020年12月2-4日. (超音波医学 47: S499, 2020.)
441. 山本さやか, 鯉淵晴美, 谷口信行: 当院における小児の甲状腺超音波検査に関する検討. 第45回日本乳腺甲状腺超音波医学会 (Web開催) 2020年9月19-20 日. (日本乳腺甲状腺超音波医学会誌9(4): 133, 2020.)
442. 鯉淵晴美, 紺野 啓, 亀田 徹, 山本さやか, 多田大和, 尾本きよか, 山田俊幸, 谷口信行: SARS-CoV-2感染拡大時における当院超音波検査室での取り組み. 日本超音波医学会第94回学術集会, 神戸, 2021年5月22-24日. (超音波医学48: S602, 2021)
443. 紺野 啓, 多田大和, 山本さやか, 鯉淵晴美, 亀田 徹, 谷口信行: エラストグラフィの使い道 超音波エラストグラフィ精度管理における問題点の抽出. 日本超音波医学会第94回学術集会, 神戸, 2021年5月22-24日. (超音波医学48: S288, 2021.)
444. 多田大和, 紺野 啓, 中荒井彬恵, 山本さやか, 亀田 徹, 鯉淵晴美, 谷口信行: 充実性腫瘍を疑われた腹部内臓動脈瘤の1例. 日本超音波医学会第94回学術集会, 神戸, 2021年5月22-24日. (超音波医学48: S695, 2021)

C) 著書, 総説

1. 伊東紘一, 谷口信行: 超音波診断入門講座(1) 基礎知識. 日本医事新報 ジュニア版 No.271 April 18-21, 1988.
2. 谷口信行, 伊東紘一: 超音波診断入門講座(2) 腹部(1). 日本医事新報 ジュニア版 No.272 May 18-20 1988.
3. 谷口信行, 伊東紘一: 超音波診断入門講座(3) 腹部(2). 日本医事新報 ジュニア版 No.273 June 18-20 1988.
4. 谷口信行, 伊東紘一: 超音波診断入門講座(4) 腹部(3). 日本医事新報 ジュニア版 No.274 July 18-20 1988.
5. 谷口信行, 伊東紘一: 超音波診断入門講座(5) 腹部(4). 日本医事新報 ジュニア版No.275 August. September 18-20 1988.
6. 谷口信行, 伊東紘一: 超音波診断入門講座(6) 腹部(5). 日本医事新報 ジュニア版No.276 October 18-20 1988.
7. 谷口信行, 伊東紘一: 超音波診断入門講座(7) 腹部(6). 日本医事新報 ジュニア版 No.277 November 18-20 1988.
8. 谷口信行, 伊東紘一: 超音波診断入門講座(8) 腹部(7). 日本医事新報 ジュニア版No.278 December 18-20 1988.
9. 谷口信行, 伊東紘一: 超音波診断入門講座(9) 腹部(8). 日本医事新報 ジュニア版No.279 January 18-20 1989.
10. 伊東紘一, 谷口信行: 超音波診断入門講座(10) 乳腺. 日本医事新報 ジュニア版 No.280 February 18-20 1989.
11. 伊東紘一, 谷口信行: 超音波診断入門講座(11) 甲状腺. 日本医事新報 ジュニア版 No.281 April 18-20 1989.
12. 谷口信行, 伊東紘一: 筋疾患への超音波診断の可能性. 臨床検査 32(4): 465-466 1988.
13. 谷口信行, 伊東紘一: 各科のための超音波検査(1) 脂肪肝. 臨床検査MOOK 33: 21-23, 1989. 金原出版
14. 谷口信行, 伊東紘一: 臓器の描出法 ―計測法と正常値ついて―. 臨床成人病 21(8): 1365-1369, 1991.
15. 谷口信行, 伊東紘一: わかりやすいエコー法の臨床 頸部疾患 ―顎下腺, 耳下腺, リンパ節など― Medicina 28(11): 449-454 1991.
16. 谷口信行, 伊東紘一: 画像診断 ―その技術をめぐって ―総論: 見やすい超音波画像を記録するには― Medical Technology 20(3): 206-210, 1992.
17. 谷口信行, 伊東紘一: 疾患別診断の実際 ―胆石, 胆嚢炎― INNERVISION 7(10): 36-40, 1992.
18. 谷口信行: 医学生のための超音波演習 伊東紘一編, 南江堂, 1992.
19. 谷口信行: 超音波検査ノート 伊東紘一, 谷口信行, 中村みちる共著, 南江堂, 1992.
20. 谷口信行, 伊東紘一: 超音波ガイド下穿刺技術. 臨床検査 37: 13-16, 1993.
21. 谷口信行, 伊東紘一: 画像ガイド下穿刺 (睪). 画像診断 14:816-818, 1993
22. 谷口信行: ドブタミン負荷心エコーの臨床的意義. 臨床検査 37: 697-698, 1993.
23. 谷口信行, 伊東紘一: 睪生検. 臨床と研究 70(7): 2076-2079, 1993.
24. 谷口信行, 伊東紘一: 組織性状診断の現況とその臨床応用. 臨床検査 38 (12): 1253-1257, 1994.
25. 谷口信行, 伊東紘一: 腹部超音波解剖. 救急医学19(3): 254-260, 1995.
26. 谷口信行, 伊東紘一: 副腎・後腹膜 解剖学・超音波解剖, 腎と泌尿器科 超音波医学, 渡辺決, 大江弘編, 45-51, 1995. 南江堂. 東京

27. 谷口信行 : Editorial よりよい学会誌をめざして (Editorial) Jpn J Med Ultrasonics 22(6): 435-37, 1995.
28. 川井夫規子, 伊東紘一, 谷口信行, 王 怡: 減衰. Innervision (11.11) : 33-36.1996.
29. 谷口信行 : 尿路結石・水腎症. 臨床医 22(6) : 749-752. 1996.
30. 谷口信行 : 自動車と超音波検査. (Editorial) Jpn J Med Ultrasonics 23(4) : 269-270. 1996 .
31. 谷口信行, 伊東紘一: 生体内部を診る超音波. Clinical Engineering 7 (4) : 295-299, 1996.
32. 谷口信行, 伊東紘一, 中村みちる, 横田京子: 腹腔内血流の超音波のよる評価. 小児科診療 59 (4) : 657-664, 1996.
33. 谷口信行, 伊東 紘一: 超音波検査 最近の進歩 組織性状診断の現況とその臨床応用: 臨床検査 38巻 12号 1253-1257, 1994.
34. 谷口信行, 伊東 紘一: 救急領域における腹部超音波診断マニュアル 腹部超音波解剖救急医学 19巻 3号, 254-260, 1995.
35. 谷口信行, 伊東紘一, 王怡, 川井夫規子, 矢田宏: 超音波像によるテクスチャ解析. 同自世紀行列を用いた内部エコーの検討 INNERVISION (11.11) : 49-52, 1996.
36. 川井夫規子, 伊東紘一, 谷口信行他: 超音波新次元 減衰 特に周波数依存減衰(FDA)を中心に INNERVISION (11.11) : 33-36, 1996.
37. 谷口信行 : 腹部エコーの読み方 尿路結石・水腎症 臨床医22 (6) 749-752,1996.
38. 谷口信行, 伊東 紘一: 生体内部を診る超音波.Clinical Engineering 7 (4) : 295-299.1996.
39. 谷口信行, 王 怡: カラーDプラ法を用いた症例について—腹部・体表臓器を中心に—. 映像情報 MEDICAL 22 (11) : 1321-1323, 1996.
40. 川井夫規子, 大林民典, 伊東紘一, 谷口信行 : 末梢血管の超音波検査 臨床検査 41(11) : 1457-61. 1997.
41. 谷口信行 : 論文の著作権について. (Editorial) J Med Ultrasonics 24(5) : 751, 1997.
42. 谷口信行 : 脳血管での微少血栓の検出. 臨床検査 41(11) : 1483. 1997.
43. 谷口信行 : From readers: 日本整形外科超音波研究会会誌 9 (1) : 52, 1997.
44. 古川政樹, 斎藤泰博, 谷口信行 : Letter to the Editor. J Med Ultrasonics 25(6) : 707. 1998.
45. 谷口信行 : 学会誌の方向 (Editorial) J Med Ultrasonics 25(2) : 85-86, 1998.
46. 谷口信行 : 社会と活力 (Editorial) J Med Ultrasonics 25(9), 935-936, 1998.
47. 谷口信行 : 検査データを読みきる-症例編- Medical Technology 27 (3) : 293-295, 1999.
48. 谷口信行, 伊東紘一: 頸動脈エコー Lab Clin Pract 17(1): 26-28, 1999.
49. 谷口信行 : 腹部超音波解剖-1 総論. 救急医学23 (1) : 99-101, 1999.
50. 谷口信行 : 腹部超音波解剖-2 肝臓. 救急医学23 (2) : 243-246, 1999.
51. 谷口信行 : 腹部超音波解剖-3 胆嚢・胆管. 救急医学23 (4) : 489-491, 1999.
52. 重田浩一郎, 谷口信行 : 腹部超音波解剖-4 脾臓. 救急医学23 (6) : 705-708, 1999.
53. 重田浩一郎, 谷口信行 : 腹部超音波解剖-5 脾臓・門脈. 救急医学23 (7) : 865-867, 1999.
54. 重田浩一郎, 谷口信行 : 腹部超音波解剖-6 腎臓・副腎. 救急医学23 (9) : 1112-1118, 1999.
55. 重田浩一郎, 谷口信行 : 腹部超音波解剖-7 消化管. 救急医学23 (11) : 1651-1657, 1999.
56. 重田浩一郎, 谷口信行 : 腹部超音波解剖-8 腹部大血管及びその分岐. 救急医学23(12):1783-1787, 1999.
57. 重田浩一郎, 谷口信行 : 腹部超音波解剖-9 膀胱・前立腺 救急医学23 (13) : 1919-1923, 1999.
58. 谷口信行 : 画像の記録と保存—雑感— (Editorial) J Med Ultrasonics 26(8) : 925-927, 1999.
59. 谷口信行, 伊東紘一: 腹部・体表領域における最新超音波診断 (Sequoia Ultrasound Systemによる) エレクトロニクスの臨床 —最新の超音波— 超音波特集: 11-16, 1999.
60. 重田浩一郎, 谷口信行 : 腹部超音波解剖-10 子宮・卵巣 救急医学24 (1) : 109-112, 2000.
61. 谷口信行 : 超音波診断装置のデジタル技術の進歩. Clinical Engineering 11(6): 498-502, 2000.
62. 谷口信行 : 超音波映像の診断・治療への応用 新超音波医学1 医用超音波の基礎日本超音波医学会

- 編 医学書院 東京 124-127.2000
63. **谷口信行**, 伊東紘一: エコー法の新たな展開 音響組織特性. *Medicina* 37 (11) :370-373, 2000
 64. **谷口信行**, 伊東紘一: 組織性状診断. *映像情報Medical* 32 (12) :1236-1240, 2000.
 65. 尾本きよか, **谷口信行**, 伊東紘一: 超音波 3 次元画像を用いた乳腺腫瘍の良悪性自動診断. *映像情報Medical* 32 (12) :1256-1260, 2000.
 66. 尾本きよか, **谷口信行**, 伊東紘一: 画像検査 *Medical Technology* 28 (13) :1472-1473, 2000.
 67. **谷口信行**: 検査にとってのアナログとデジタル. (Editorial) *J Med Ultrasonics* 27(8) :1029-1030, 2000.
 68. 伊東紘一, 林輝美, **谷口信行**, 伊藤喜久(編): 超音波検査の技術と臨床. *臨床検査 増刊号45(11)*, 医学書院, 2001.
 69. 尾本きよか, **谷口信行**, 伊東紘一: マスター 3 次元超音波—乳腺疾患に対する 3 次元超音波—. *メジカルビュー社*, 208-216, 2001.
 70. 重田浩一郎, **谷口信行**, 伊東紘一: ドプラ法による血流速度, 量を計測するときの注意点. *臨床検査 増刊号45(11)*: 1491, 2001.
 71. 重田浩一郎, **谷口信行**, 伊東紘一: 断層像で径を計測するときの注意点. *臨床検査 増刊号45(11)*: 1492, 2001.
 72. **谷口信行**: 超音波装置のデジタル化の進歩と数年後. *小児科* 42 (3) :340-344, 2001.
 73. **谷口信行**: 超音波技術の次の10年間. (Editorial) *J Med Ultrasonics* 28(5) :J757-758, 2001.
 74. **谷口信行**: 動脈硬化症. *臨床検査 増刊号 45 (11)*:1403-1407, 2001.
 75. **谷口信行**: RF信号を用いた距離計測. *臨床検査 増刊号 45 (11)*:1493, 2001.
 76. **谷口信行**: 超音波による定性的血流評価法: 超音波医学TEXT 血管・血流超音波医学 伊東紘一, 平田経雄編 医歯薬出版 東京 pp 37-42, 2002.
 77. **谷口信行**: 超音波による定量的血流評価法: 超音波医学TEXT 血管・血流超音波医学 伊東紘一, 平田経雄編 医歯薬出版 東京 pp 43-50, 2002.
 78. **谷口信行**: 血流計測法の比較: 超音波医学TEXT 血管・血流超音波医学 伊東紘一, 平田経雄編 医歯薬出版 東京 pp 51-61, 2002.
 79. **谷口信行**: 肝外門脈および脾臓の血流: 超音波医学TEXT 血管・血流超音波医学 伊東紘一, 平田経雄編 医歯薬出版 東京 pp 151-159, 2002.
 80. **谷口信行**: 腹部大動脈とその分岐・血流: 超音波医学TEXT 血管・血流超音波医学 伊東紘一, 平田経雄編 医歯薬出版 東京 pp 174-186, 2002.
 81. **谷口信行**: 運動器血流: 超音波医学TEXT 血管・血流超音波医学 伊東紘一, 平田経雄編 医歯薬出版 東京 pp 250-252, 2002.
 82. **谷口信行**: 専門医から一般医へのメッセージ *臨床検査医学(超音波) 月刊地域医療*: 675-679. 2002
 83. **谷口信行**, 伊東紘一: 超音波検査への検査技師のかかわり —社団法人日本超音波医学会認定検査士制度— *臨床検査* 46 (13) :1681-1682, 2002.
 84. **谷口信行**: 看護・医学事典(第6判)(分担執筆) 中西 睦子, 大石 実編 医学書院, 2002.
 85. 藤井康友, **谷口信行**, 伊東紘一: 肝のテクスチャ解析 —RF信号の包絡振幅ヒストグラム解析法を用いた検討—. *日本医用画像工学会誌*21 (2) :117-121, 2003.
 86. 小野倫子, **谷口信行**, 伊東紘一: 下肢深部静脈血栓症の超音波検査法. *映像情報メディカル*35 (6) :476-482, 2003.
 87. **谷口信行**: 医学教育の改革. 裏表紙 *Modern Media*, 49(3), 2003.
 88. **谷口信行**, 伊東紘一: 神経鞘腫. *Derma. No79*: 67-70, 2003.
 89. **谷口信行**, 小野 倫子, 伊東 紘一: 臨床生理検査の最先端 深部静脈血栓症: *臨床病理*51 (8) 761-

- 769, 2003.
90. 谷口信行：医学大事典 分担執筆 総編集：伊藤 正男，井村 裕夫，高久史磨，医学書院 2003年4月発行.
 91. 谷口信行：検査室でのリスクマネジメント. Lab News臨床検査部, Apr vol 22 pp 1-2, 2003.
 92. 谷口信行：今後10年後の超音波の方向：月刊新医療 No. 341: 96-98, 2003.
 93. 谷口信行：研修医のための外来や救急で行う心エコー 特集にあたって. レジデントノート 5 (3) :16-17, 2003.
 94. 谷口信行：研修医のための外来や救急で行う心エコー 心エコーをどう検査するか，どう上達するか. レジデントノート 5 (3) :18-22, 2003.
 95. 谷口信行：研修医のための日常診療に欠かせない腹部エコー 特集にあたって. レジデントノート 5 (4) :14-15, 2003.
 96. 谷口信行：意識障害と腹痛を主訴として来院した54歳男性. 日本医事新報ジュニア版 428：33-41, 2003.
 97. 谷口信行，伊東紘一：末梢血管の動脈硬化，映像情報メディカル 35 (6)：470-475, 2003.
 98. 小野倫子，谷口信行，伊東紘一：下肢深部静脈血栓症の超音波検査法：映像情報メディカル 35 (6)：476-482, 2003.
 99. 谷口信行，小野倫子，伊東紘一：深部静脈血栓症. 臨床病理 51 (8)：761-769, 2003.
 100. 藤井康友，谷口信行：テクスチャ解析法を用いた新しい肝画像. 別冊・医学のあゆみ 超音波医学最前線, 74-78, 2004.
 101. 尾本きよか，谷口信行：三次元超音波. Medicina: 41 (2)：202, 2004.
 102. 谷口信行：超音波遠隔診断. Medicina 41 (2)：203, 2004.
 103. 谷口信行：臨床検査，超音波のアーチファクト 1 48 (1)：4-7, 2004.
 104. 谷口信行：臨床検査，超音波のアーチファクト 2 48 (2)：116-118, 2004.
 105. 谷口信行：臨床検査，超音波：画像と用語 48 (3)：248-250, 2004.
 106. 谷口信行：RCPCによる臨床検査データのトレーニング. 日本医事新報社vol. 2: 127-138, 2005.
 107. 豊辻智則，谷口信行，小野倫子，大澤正明，伊東紘一：喫煙による血管の硬さの検討. 超音波テクノ 17(3)：61-64, 2005.
 108. 谷口信行，松本 浩一，草間 幹夫：超音波が可能にする臨床最前線 口腔・皮膚領域の超音波検査. 新医療32 (5) :52-53, 2005.
 109. 近藤祐二，谷口信行：画像情報・波形情報の解析法 超音波カラードプラ法とその画像解析アルゴリズム 臨床検査49 (12)：1563-1569, 2005.
 110. 谷口信行，藤井康友，伊東紘一：音響組織特性の現状と展望. 映像情報メディカル, 38(3). 370-373, 2006.
 111. 谷口信行：教授就任のあいさつ. 自治医科大学医学部同窓会報第36号 p8, 2006.
 112. 谷口信行，桑田知之：超音波検査にかかわる新技術 検査と技術 34 (11)：1039-43増刊号, 2006.
 113. 谷口信行：編集後記 超音波医学 33 (4)：537, 2006.
 114. 谷口信行：編集後記 超音波医学 33 (5)：618, 2006.
 115. 谷口信行：編集後記 超音波医学 33 (6)：742, 2006.
 116. 谷口信行：胆石が疑われたときに受ける検査. 「ラボ」 337 (1), 2007.
 117. 松永 宏明，尾本 きよか，谷口信行：動脈疾患 頸部動脈の超音波検査の手順と描出法 臨床検査51 (3)：251-256, 2007.
 118. 谷口信行：血管の超音波検査—技術の進歩を振り返って 臨床検査 51 (3)：235-3236 2007.
 119. 紺野 啓，谷口信行：放射線医科学 —生体と放射線・電磁波・超音波— 学会出版センター：133-135, 2007.
 120. 高野 隆一，竹 夏樹，谷口信行：【一般医のためのエコー活用法】VI.末梢血管 頸動脈・椎骨動脈.

- Medicina 44 (12): 428-434, 2007.
121. 田中幸子, 西上和宏, **谷口信行**, 松尾 汎, 平井都始子, 金田 智, 小笠原正文, 佐藤 洋, 戸出浩之 (日本超音波医学会用語・診断基準委員会): 下肢深部静脈血栓症の標準的超音波診断法 超音波医学 35 (1): 35-44, 2008.
 122. 千田彰一, **谷口信行**, 飯島尋子, 石蔵文信, 小林浩一, 斉藤明子, 佐藤 洋, 関根智紀, 竹中 克, 山本一博, 日本超音波医学会検査業務の安全管理のためのワーキンググループ: 検査業務の安全管理についてのアンケート結果と提. 超音波医学 35 (1) 45-67, 2008.
 123. **谷口信行**: 30周年によせて一変革の中で更なる発展を一21世紀の健やかな未来のために 30th anniversary 30周年のあゆみ 財団法人栃木県保健衛生事業団 p27 2007
 124. 紺野 啓, **谷口信行**: 腎臓超音波検査のノウハウ. 成人病と生活習慣病38: 775-762, 2008.
 125. **谷口信行**: 大学の図書館は必要なくなるか—図書館の現状—. 超音波医学 36 (1): 1-2, 2009.
 126. 鈴木 章史, 関根 良介, 横山 卓, 杉山 照幸, 岡崎 洋雄, 小形 幸代, 間中 一至, 熊谷 秀規, 中山 雅之, 江橋 正浩, 小島 正幸, 伊東 紘一, 片岡 秀樹, 大津 秀穂, 薄井 尊信, **谷口信行**, 尾本 きよか, 亀崎 豊美: 小型ユビキタス超音波検査診断装置のへき地・地域医療ならびに救急医療における効果と問題点に関する研究. 映像情報Medical 41 (2): 198-207, 2009.
 127. **谷口信行**: 編集後記. 超音波医学 36(1, 2, 3, 4, 5, 6), 2009.
 128. 松井芳夫, **谷口信行**, 荻尾七臣, 小嶋 巖: 【臨床検査の新展開】新しい動脈硬化指標としての血圧脈波検査 医療機器学 80 (4): 343-349, 2010.
 129. **谷口信行**: 看護大事典(第2版) 総編集: 和田 攻/南 裕子/小峰 光博. 発行 2010年3月 分担執筆
 130. **谷口信行**: 第26回日本乳腺甲状腺超音波診断会議. Uメール (宇都宮観光コンベンション協会) 22: 6, 2011.
 131. 小形幸代, 市田 勝, **谷口信行**: 内科医に必要な検査の基本的読み方 心エコーの読み方を教えてください 非専門医に知ってほしいこと レジデントノート12 (14): 2406-2413, 2011.
 132. **谷口信行**: 超音波検査におけるリスクマネジメント 臨床検査55 (7): 667-672, 2011.
 133. **谷口信行**: 様々な医療現場における臨床検査と医療安全管理 生理検査の特殊性と医療安全 特に超音波検査業務の安全管理 臨床病理59 (3): 305-308, 2011.
 134. 紺野 啓, **谷口信行**: 腹部超音波検査up-to-date】腹部超音波スクリーニング 臨床消化器内科26 (9): 1197-1203, 2011.
 135. 家入 蒼生夫, 石井 重利, **谷口信行**, 福嶋 稔, 中澤 堅次, 村野 俊一, 栃木県臨床検査精度管理委員会: 栃木県臨床検査精度管理事業から見た県内臨床検査の現状と問題点 栃木県医学会々誌 41: 13-18, 2011.
 136. 紺野 啓, **谷口信行**: 肝臓の組織弾性評. SRL宝函 32 (4): 47-49, 2012.
 137. 小形 幸代, **谷口信行**: 生理機能検査の現状と新たな展開 早期動脈硬化における血管機能検査の現状と新たな展開. 臨床病理60 (9): 887-894, 2012.
 138. **谷口信行**, 尾本きよか, 松村 誠, 森 秀明, 関根智紀, 種村 正, 鈴木浩之, 高橋正美, 森田 大, 酒井一博, 鈴木一弥, 茂木伸之 (社団法人日本超音波医学会機器及び安全に関する委員会): 超音波検査者が安全・快適で健康的に働くための提言 ダイジェスト 超音波医学39 (6): 649-658. 2012.
 139. 宮本倫聡, 小谷和彦, **谷口信行**: 【生理機能検査からみえる糖尿病合併症】糖尿病と関係する脳血管障害について 頸動脈超音波検査の臨床的意義. 臨床検査 58 (6): 731-739, 2014.
 140. 小形幸代, **谷口信行**: 循環器, 頸動脈エコー検査の判読のポイント—観察の重要性. 検査診断学への展望, 南江堂, 2013.
 141. **谷口信行**, 大澤正明: 総論 超音波像と病理組織像の関連. 検査と技術42 (10): 920-926, 2014.
 142. 亀田 徹, **谷口信行**: 急性期診療におけるpoint-of-care ultrasonography. 日本救急医学会雑誌26 (4): 91-104, 2015.
 143. 小形幸代, **谷口信行**: 内科医に必要な検査の基本的読み方 心エコーの読み方を教えてください 非

- 専門医に知ってほしいこと. レジデントノート18 (8): 1427-1434, 2016.
144. 紺野 啓, 谷口信行: 超音波による診断. 大西武雄 (監修) 新版 放射線医科学 ―生体と放射線・電磁波・超音波―. 医療科学社, 東京, pp165-167, 2016
 145. 亀田 徹, 谷口信行: 総論 ICUにおける超音波診断の役割 Point-of-Care Ultrasonography (POCUS). Intensivist 9 (1): 15-27, 2017.
 146. 亀田 徹, 谷口信行: 救急の場面でのpoint-of-care ultrasound(POCUS) POCUSは救急やプライマリケアの現場に新たな価値を提示できるか? Vita 34 (2): 42-49, 2017.
 147. 谷口信行: POCUSの実際 いつでも, どこでも, 何にでも 総論 POCUSの歩みと将来展望. INNERVISION 32 (3): 28-29, 2017.
 148. 石黒保直, 谷口信行: どうすれば超音波の生物学的作用に関する実験ができるか(その6) 生体に超音波を照射する 動物実験. 超音波医学44 (3): 271-273, 2017.
 149. 亀田 徹, 小林英夫, 山田博胤, 谷口信行: Bラインを用いたpoint-of-care超音波による心原性肺水腫の評価. 超音波医学 45 (2): 125-135, 2018.
 150. 鯉淵晴美, 谷口信行: 超音波検査と感染制御. 内科医のためのちょいあてエコー POCUSのススメ. Medicina, 55: 1913-17, 2018.
 151. 谷口信行: POCUSの普及と教育: 学会・研究会の取り組み. 超音波医学 46 (1): 47 -50, 2019.
 152. 亀田徹, 小谷和彦, 谷口信行: Point-of-Care ultrasound(POCUS): 在宅医療やへき地医療での活躍. 医療と検査機器・試薬 43 (6): 575-581, 2020.
 153. 小形 幸代, 谷口信行: 【臨床検査の考え方と進め方】(第3章)疾患編検査法と診断 循環器疾患. Medical Practice(0910-1551)38巻臨増 Page138-147, 2021

D) 講演

海外

1. **Taniguchi N.** : Basic skill in abdominal ultrasound. Hands-on course of Hong Kong Society of the Gastroenterology. Hong Kong, Sep.1-2, 1999.
2. **Taniguchi N.**: WI Round Table in Tokyo. ET measurements on long axis and short axis view Tokyo International Forum, Mar 25, 2003.
3. **Taniguchi N.** : Automatic Transducer Location System 中日超声新技术興新進展研討会 上海 Fudan University April 15 2006.
4. **Taniguchi N.** : Vascular Ultrasonography of the Neck. 中日超声新技术興新進展研討会. 上海, Fudan University, Dec 2nd, 2006.
5. **Taniguchi N.** : Introduction of Japan Society of Ultrasound in Medicine. Memorial of One hundred Years History of Huashan Hospital. 上海Fudan University May 5 2007.
6. **Taniguchi N.** : Thyroid ultrasonography. Fudan University, China. Dec 2, 2007.
7. **Taniguchi N.** : To make reliable measurement - effects of the scale factor and transducer damage. Fudan University. Fudan University, China. Dec 2, 2007.
8. **Taniguchi N.** and Shuumarjav Uurtuya: NECK ARTERIAL STENOSIS (invited faculty lecture) 6th Balkan Congress of Radiology, in Serbia Nov 20th, 2008
9. **Taniguchi N.** : CAROTID AND VERTEBRAL US: HOW TO DEMONSTRATE (live-demonstration) 6th Balkan Congress of Radiology, in Serbia Nov 20th, 2008
10. **Taniguchi N.** : Ultrasonography of the Carotid and Vertebral Arteries. AFSUMB Workshop 2009 in Jakarta Nov 5 2009
11. **Taniguchi N.** : (lectures 1): Ultrasonography of the neck arteries. (lectures 2): Ultrasonographic evaluation of Gastrointestinal Tract. (lectures 3): Ultrasonography of the Spleen. AFSUMB Workshop 2010 in Mongolia Aug 5 2010.
12. **Taniguchi N.** : (lectures 1): Errors of velocity measurements using Doppler method . (lectures 2): Gastrointestinal Ultrasonography. AFSUMB Workshop 2011 in Bali Nov 19 2010
13. Fujii, Y, **Taniguchi N.** : Gastrointestinal Ultrasound, past, present and future. AFSUMB 2012 in Bali Nov 10 2012
14. **Taniguchi N.**, Sasanuma H. : 2017 China-Japan Medical Ultrasonics Symposium. Oct 19, 2017 Fudan University
15. **Taniguchi N.** : The screening of thyroid cancer in Fukushima children after Fukushima Nuclear Power Plant accident
16. Sasanuma H, **Taniguchi N.**: How to manage of animal study: Acoustic Radiation force impulse. Zhengzhou University China-Japan Medical Ultrasonics Symposium, Zhengzhou, Oct 20, 2017
17. **Taniguchi N.**: The screening of thyroid cancer in Fukushima children after Fukushima Nuclear Power Plant accident. Fudan University China-Japan Medical Ultrasonics Symposium, Fudan, Oct 19, 2017.
18. **Taniguchi N.**: The screening of thyroid cancer in Fukushima children after Fukushima Nuclear Power Plant accident. Zhengzhou University China-Japan Medical Ultrasonics Symposium, Zhengzhou, Oct 20, 2017.

国内

1. **谷口信行**，望月剛：臨床応用可能な超音波三次元装置の開発．日本超音波学会創立30周年サテライトミーティング内 YID，宇都宮，1992年5月19日
2. **谷口信行**，伊東紘一，里見元義：心，血管系の三次元表示．東京心エコー図研究会，東京，1992年11月21日．
3. **谷口信行**：総合医のための画像診断と読影のコツ．第59回臨床医学研修会，自治医科大学，1992年10月15日，
4. **谷口信行**：超音波．第55回臨床医学研修会，自治医科大学，1991年10月24日．
5. **谷口信行**：腹部血管の超音波検査．東北泌尿器超音波研究会，仙台，1992年8月22日．
6. **谷口信行**：「超音波法による呼吸器情報」横隔膜について．肺機能セミナー勉強会，東京，1993年7月．
7. **谷口信行**：超音波セミナー 鳥取県医師会主催 鳥取，1994年8月20日．
8. **谷口信行**：公開座談会「超音波医学に明日はあるか」第66回日本超音波医学会特別企画：横浜，1995年11月22-24日．
9. **谷口信行**，伊東紘一：シンポジウム「超音波ファイリングに向けて」—医用画像保存・通信の標準化と諸問題—．第66回日本超音波医学会特別企画：横浜，1995年11月22-24日．
10. **谷口信行**，伊東紘一：超音波による門脈血の流れの評価，平成8年度第3回循環器における流れの計測評価制御に関する研究会，東京，1997年1月．
11. **谷口信行**：臨床検査の情報をめぐって—どう使うインターネット—画像転送による診断支援（超音波像）．第17回臨床・衛生検査技師長研修会，自治医科大学，1997年2月20日．
12. **谷口信行**：[シンポジウム]「超音波による組織性状診断と生体計測」 周波数依存減衰の臨床での有用性．第70回日本超音波医学会研究発表会特別企画：仙台，1997年11月．
13. **谷口信行**：超音波診断の盲点と最新技術．栃木県技師会生理機能班超音波，宇都宮，1998年3月14日．
14. **谷口信行**：動脈硬化をめぐって—超音波検査を中心に—．第18回臨床・衛生検査技師長研修会，自治医科大学，1998年6月24日．
15. **谷口信行**：実地医における超音波診断「カラードプラ法」の有用性．高知県医師会第5回学術講演会，高知，1998年11月21日．
16. **谷口信行**：医療側からみた超音波医学の基礎．第83回超音波診断法講習会 社団法人日本超音波学会主催 横浜，1999年2月13日．
17. **谷口信行**：医療側からみた超音波医学の基礎．第85回超音波診断法講習会 社団法人日本超音波学会主催，札幌，1999年6月26日．
18. **谷口信行**：超音波のアーチファクトの原理と解釈 —アーチファクトは悪者か？—．第44回鳥取東部地区腹部超音波研究会，鳥取，1999年11月26日
19. **谷口信行**：パワードプラ法について．第68回島根腹部超音波研究会，松江，1999年12月16日
20. **谷口信行**：ランチョンセミナー「RF信号とその臨床応用について」，第73回日本超音波医学会特別企画：横浜，2000年5月28-30日．
21. **谷口信行**：超音波検査におけるピットフォール．第27回臨床・衛生検査技師研修会，自治医科大学，2000年6月21-23日．
22. **谷口信行**：症例討論—参加者からの症例を中心に—．第27回臨床・衛生検査技師研修会，自治医科大学，2000年6月21-23日．
23. **谷口信行**：腹部疾患でのカラードプラ法の有用性と注意点．第11回宮崎腹部超音波懇話会，宮崎，2000年7月29日．
24. **谷口信行**：超音波カラードプラ法．栃木県技師会生理機能班超音波，自治医科大学 2001年4月26日
25. **谷口信行**：ハナフィーレンズやコヒーレント法などの超音波技術とその臨床応用について．Radiology ultrasound 研究会，東京，2001年5月12日
26. **谷口信行**：腎・尿路疾患の診断治療に臨床検査の果たす役割 腎尿路疾患の画像診断（超音波検査を

- 中心に)。第28回臨床・衛生検査技師研修会，自治医科大学，2001年6月20日
27. **谷口信行**：腹部超音波検査に必要な泌尿器科の知識。第18回宮崎腹部超音波懇話会，宮崎，2002年6月8日。
 28. **谷口信行**：肝臓病の診断と検査，肝疾患の超音波検査。第29回臨床・衛生検査技師研修会，自治医科大学，2002年6月19日
 29. **谷口信行**：リスクマネジメント。第30回臨床・衛生検査技師研修会，自治医科大学，2003年6月19日。
 30. **谷口信行**：腹部領域のための超音波検査用語の再確認。鳥取県西部腹部超音波研究会，米子，2003年7月15日。
 31. **谷口信行**：[教育講演] 用語（共通）。超音波医学会第26回関西地方会，姫路，2003年8月30日。
 32. **谷口信行**：超音波を用いた血管の検査—どのように情報を捕らえて役立てているか— 第184回栃木県臨床循環器談話会，宇都宮市，2004年6月24日。
 33. **谷口信行**：超音波検査のABC。芳賀郡市医師会学術講演会，真岡市，2005年1月20日
 34. **谷口信行**：超音波による肝臓の診断。小山市医師会学術講演会，小山市，2005年6月29日。
 35. **谷口信行**：肝腫瘍の超音波像とその鑑別診断。鳥取県立中央病院講演会，鳥取市，2005年7月29日。
 36. **谷口信行**：知っておくと役立つ超音波像。自治医科大学 中国地区ブロック会議，出雲市，2005年9月10日。
 37. **谷口信行**：超音波による肝臓の診断。自治医科大学 栃木県肝臓撲滅講演会，宇都宮市，2005年12月7日。
 38. **谷口信行**：新たな超音波ボディーマークの表示法の提案。第5回自治医科大学シンポジウム，自治医大，2006年9月2日。
 39. **谷口信行**：知っておくと役立つ超音波像。第91回エコール会，久留米市，2006年9月8日。
 40. **谷口信行**：循環器・超音波医学の立場から。整形外科領域における下肢超音波セミナー，東京，2006年9月30日。
 41. **谷口信行**：一歩進んだ腹部超音波の利用。第443回鳥取県東部医師会臨床懇話会，鳥取市，2006年10月6日。
 42. **谷口信行**：超音波による頸動脈血管の意義と手技。青森県大間病院，2006年10月27日。
 43. **谷口信行**：[教育講演] 最近の超音波検査の新しい手法について。第53回日本臨床検査医学会学術集会，弘前市，2006年11月10日。
 44. **谷口信行**：[学術推進プロジェクト セッション] 血管壁硬化性変化の弾性計測法の開発と臨床応用に関する研究。第53回日本臨床検査医学会学術集会，弘前市，2006年11月11日。
 45. **谷口信行**：心血管系検査の意義—血管エコー検査を中心に—検査に必要な基礎的知識のまとめ。第33回臨床・衛生検査技師研修会，自治医大，2006年11月16日。
 46. **谷口信行**：[基調講演] IMTについて—糖尿病，一般臨床での意義について—。第5回インスリン抵抗性を考える会，東京，2007年2月24日。
 47. **谷口信行**：超音波による頸動脈の検査，甲状腺の超音波検査。小山地区医師会 生活習慣病のための超音波研修会，小山市，2007年2月25日。
 48. **谷口信行**：頸動脈の超音波検査 —臨床と計測—。第236回 阪神超音波研究会，西宮市，2007年3月3日。
 49. **谷口信行**：下肢深部静脈血栓症の標準的超音波診断法。自治医科大学 救急医学教室講演，2008年3月25日。
 50. **谷口信行**：超音波検査による動脈硬化症の評価—IMTと狭窄病変—。我孫子市医師会学術講演会，我孫子市，2008年5月20日。
 51. **谷口信行**：動脈硬化診断の決め手。第9回最新医学と明日の医療を語る会，宇都宮，2008年4月19日。
 52. **谷口信行**：医者から見た医療工学—医用超音波診断の現状と応用—。多摩TLO，2009年3月13日。
 53. **谷口信行**：[特別講演] 超音波検査業務の安全管理。超音波医学会中部地方会，2009年6月14日
 54. **谷口信行**：頸動脈エコーの実践とエビデンス。小山医師会，小山，2009年8月20日。

55. **谷口信行**：消化管の超音波検査 ―正常像から異常像まで―. 第40回日本消化器がん検診学会 中国四国地方会, 鳥取, 2010年2月6日
56. **谷口信行**：最近の超音波医学会の取り組み―雑感を交えて―. 第186回鹿児島超音波医学研究会, 鹿児島市, 2010年4月23日.
57. **谷口信行**：[第100回学術記念講演会] 超音波による動脈硬化診断の現状と未来. 函館動脈硬化懇談会, 函館市, 2010年9月3日
58. **谷口信行**：超音波検査. 青森サマーセミナー, 青森市, 2010年10月23日.
59. **谷口信行**：[成果講演] 平成23年度研究班設置「検査のための超音波診断装置及び検査環境に関する人間工学的検討」. 日本超音波医学会, 東京, 2011年5月29日.
60. **谷口信行**：[教育講演] 日本超音波医学会のCOIマネジメントについて. 日本超音波医学会, 東京, 2011年5月29日.
61. **谷口信行**：頸部に腫瘤を認めたら―超音波検査の実際. 第25回最新臨床医学を学ぶ会, 宇都宮, 2011年9月8日.
62. **谷口信行**：血管疾患と超音波検査―血管超音波検査の評価と解釈について―. 第24回関東甲信越地区臨床検査技師会, 自治医科大学 2012年9月2日.
63. **谷口信行**：腎動脈狭窄の超音波診断. 生活習慣病フォーラム2013―血管を診る&護る―, 東京, 2013年3月9日.
64. **谷口信行**：甲状腺・乳腺疾患および頸動脈硬化の超音波検査―最近の話題について―. 一関医師会学術講演会, 一関市千厩町, 2013年4月16日.
65. **谷口信行**：平成24年度甲状腺結節性疾患有所見率等調査報告―環境省平成24年度原子力災害影響調査等事業による委託業務. 第30回日本乳腺甲状腺超音波医学会, 福島, 2013年4月20日.
66. **谷口信行**：超音波の基礎. 甲状腺超音波講習会（第30回日本乳腺甲状腺超音波医学会併催）, 福島市, 2013年4月21日.
67. **谷口信行**：超音波の基礎・基本. 福島県医師会主催 甲状腺超音波講習会, 福島市, 2013年9月16日.
68. **谷口信行**：超音波専門医・検査士が知っておくべき基礎事項. 超音波医学会中国地方会, 米子, 2013年9月28日.
69. **谷口信行**：国内の3地域で行った超音波による小児甲状腺検診の調査結果について 第56回日本甲状腺学会学術集会, 和歌山市, 2013年11月18日.
70. **谷口信行**：甲状腺超音波検査結果について. 日光市平成26年度説明会, 日光市, 2014年3月25日.
71. **谷口信行**：甲状腺超音波検査結果について. 日光市平成26年度説明会, 日光市, 2014年11月9日.
72. **谷口信行**：甲状腺超音波検査について. 原安協：放射線による健康不安の軽減等に資する人材育成のための研修会, 仙台市, 2014年11月25日.
73. **谷口信行**：（1）装置と適切な画像, 記録法と用紙（2）データの扱いかたと送付方法, 画像の判定法と結果の連絡. 「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」第1回講習会, 東京, 2015年10月10日.
74. **谷口信行**：甲状腺がんと甲状腺超音波検査. 放射線の健康影響に関するセミナー, 静岡市, 2015年11月28日.
75. **谷口信行**：放射線による健康不安の軽減等に資する人材育成のための研修会プログラム（環境省）, 宇都宮市, 2015年12月8日.
76. **谷口信行**：超音波の基礎と甲状腺の超音波検査. 甲状腺超音波検査の検査従事者育成に関する講習会, 郡山市, 2015年12月13日.
77. **谷口信行**：超音波の基礎と甲状腺の超音波検査. 平成27年度福島県ふるさと・きずな維持再生支援事業「絆セミナー」, 東京, 2015年12月19日.
78. **谷口信行**：甲状腺超音波検査について. 放射線の健康影響に関する人材研修会（岩手県）, 一関市, 2016年2月6日.
79. **谷口信行**：甲状腺超音波検査について. 放射線の健康影響に関する住民セミナー, 取手市, 2016年2

月13日.

80. **谷口信行**：甲状腺超音波検査について．放射線の健康影響に関する住民向けセミナー，我孫子市，2016年2月21日．
81. **谷口信行**：甲状腺超音波検査について．コミュニケーターコーチフォローアップ研修，郡山市，2016年2月23日．
82. **谷口信行**：(1)装置と探触子，検査手順，描出方法，(2)適切な画像と記録法．「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」第2回甲状腺超音波検査講習会，東京都，2016年3月5日．
83. **谷口信行**：甲状腺超音波検査について．環境省における放射線の健康影響に関するリスクコミュニケーション事業説明及び甲状腺に係わる研修，水戸市，2016年6月22日．
84. **谷口信行**：(1)装置と探触子，検査手順，描出方法，(2)適切な画像と記録法．「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」第3回甲状腺超音波検査講習会 東京都，2016年7月8日．
85. **谷口信行**：甲状腺超音波検査について．放射線の健康影響に関する住民セミナー，茨城県城里町，2016年7月29日．
86. **谷口信行**：甲状腺超音波検査について．第1回栃木県放射線の健康影響等に関する研修会，宇都宮市，2016年8月2日．
87. **谷口信行**：甲状腺がんと甲状腺超音波検査．放射線の健康影響に関する住民セミナー，船橋市，2016年9月25日．
88. **谷口信行**：甲状腺超音波検査について．第2回栃木県放射線の健康影響等に関する研修会，宇都宮市，2016年10月25日．
89. **谷口信行**：(1)この画像はどう判断するか1，(2)この画像はどう判断するか2，(3)レポートの書き方．「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」第4回甲状腺超音波検査講習会 東京都，2016年11月12日．
90. **谷口信行**：甲状腺講習会「超音波の基礎」．福島県郡山市，2016年11月27日．
91. **谷口信行**：甲状腺検査の概要と甲状腺超音波検査のデモンストレーション．公益財団法人原子力安全協会，放射線リスクコミュニケーション研修，郡山市，2017年2月3日．
92. **谷口信行**：甲状腺超音波検査について．放射線の健康影響に関する住民セミナー，取手市，2017年3月4日．
93. **谷口信行**：甲状腺超音波検査について．生涯学習センター 放射線の健康影響に関する住民向けセミナー，塩谷町，2017年3月25日．
94. **谷口信行**：超音波の基礎．福島県医師会甲状腺講習会，郡山市，2017年7月2日．
95. **谷口信行**：(1)装置と探触子，検査手順，描出方法，(2)適切な画像と記録法．「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」第4回甲状腺超音波検査講習会 東京都，2017年9月2日．
96. **谷口信行**：甲状腺超音波検査について．第2回栃木県放射線の健康影響等に関する研修会，宇都宮市，2017年11月29日．
97. **谷口信行**：(1)この画像はどう判断するか1，(2)この画像はどう判断するか2，(3)レポートの書き方．「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」．第5回甲状腺超音波検査講習会 東京都，2017年12月9日．
98. **谷口信行**：甲状腺の基礎知識と甲状腺検査について．放射線リスクコミュニケーション研修 公益財団法人原子力安全協会，鎌ヶ谷市，2018年1月19日．
99. **谷口信行**：甲状腺の基礎知識と甲状腺検査－甲状腺超音波検査のその後－．放射線の健康影響に関する住民セミナー，取手市，2018年2月18日．
100. **谷口信行**：甲状腺超音波検査の基礎知識Ⅰ．適切な画像と記録法．「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」平成30年度第1回甲状腺超音波検査従事者講習会，東京都，2018年5月12日．
101. **谷口信行**：画像判定法とデータの扱い方．「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」平成30年度第2回甲状腺超音波検査従事者講習会，東京都，2018年9月15日．
102. **谷口信行**：甲状腺超音波検査とその現状について．放射線健康管理・健康不安対策事業（福島県外に

おける放射線に係る健康影響等に関するリスクコミュニケーション事業), 宇都宮市, 2018年11月14日.

103. 谷口信行: 甲状腺の基礎知識と甲状腺検査－甲状腺超音波検査のその後－. 放射線の健康影響に関する住民セミナー, 取手市, 2019年2月17日.
104. 谷口信行: 小児甲状腺超音波検診の現状と課題. 宇都宮, 2019年8月21日.

谷口信行教授 退任記念業績集

発行日	2022(令和4)年3月発行
発行者	自治医科大学 医学部 臨床検査医学講座 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1 TEL 0285-58-7385
印 刷	鈴木印刷株式会社 栃木県宇都宮市平出町3751-11 TEL 028-660-3555(代表)



自治医科大学

Jichi Medical University
School of Medicine
Department of Clinical Laboratory Medicine